

Ⅲ. 18歳未満の方と保護者の方を 対象とした調査

1 集計の概要

(1)配布・回収状況

18 歳未満の方と保護者の方を対象とした調査の配布・回収状況は以下のようになっています。

【配布・回収状況】

	配布数	回収数	有効回収率
18 歳未満の方と保護者の方	743	366	49. 2%

(2)障害別の集計について

18 歳未満の方と保護者の方を対象とした調査では、全体の集計に加えて、回答者を 4 つの障害に分けて分析を行っています。障害別の集計の考え方は以下の通りです。

【障害別集計の考え方】

区 分		対象となる回答者
①	身体障害	身体障害者手帳の所持者（問 4 で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方）。他の障害との重複を含む。
②	知的障害	愛の手帳の所持者（問 4 で「愛の手帳を持っている」と回答した方）。他の障害との重複を含む。
③	発達障害	問 7 で「発達障害」に○を付けた方（ただし、問 4 で「愛の手帳を持っている」と回答した方は含まない）。
④	その他の児童	児童発達支援、放課後等デイサービスなどのサービス、または、通級指導学級を利用している方のうち、上記 3 区分のいずれにも当てはまらないと回答した方（問 4 で「手帳は持っていない」と回答した方、無回答だった方）。

(3)集計項目

	項目名	掲載頁
問1	調査票の回答者	…163
問2	性別	…163
問3	年齢	…164
問4	手帳の所持状況	…165
	手帳の等級「身体障害者手帳」	…165
	手帳の等級「愛の手帳」	…166
	身体障害の種類	…166
問5	同居家族	…168
問6	家族が障害に最初に気づいた時期	…169
問7	疾患や障害の有無	…171
問8	難病・特定疾患の病名、診断を受けてからの期間	…173
問9	障害福祉サービスの対象について	…173
問10	発達障害の診断名	…174
問11	高次脳機能障害の症状	…174
問12	障害に最初に気づいた時期	…175
問13	障害に最初に気づいた時の相談相手	…177
問14	受診している医療機関	…179
問15	診療所のかかりつけ医の有無	…182
問16	医療機関の受診状況	…183
問17	介助や支援が必要なこと	…184
問18	主な介助者	…186
問19	介助者が困っていること	…187
問20	日常生活で困っていること	…190
問21	困ったときの相談相手	…193
問22	気軽に相談するために必要なこと	…196
問23	福祉情報の入手先	…198
問24	通園・通学先	…200
問25	通園生活等で困っていること（小学校入学前）	…203
問26	希望する教育機関（小学校入学前）	…205
問27	通学生活等で困っていること（学校在学中）	…207

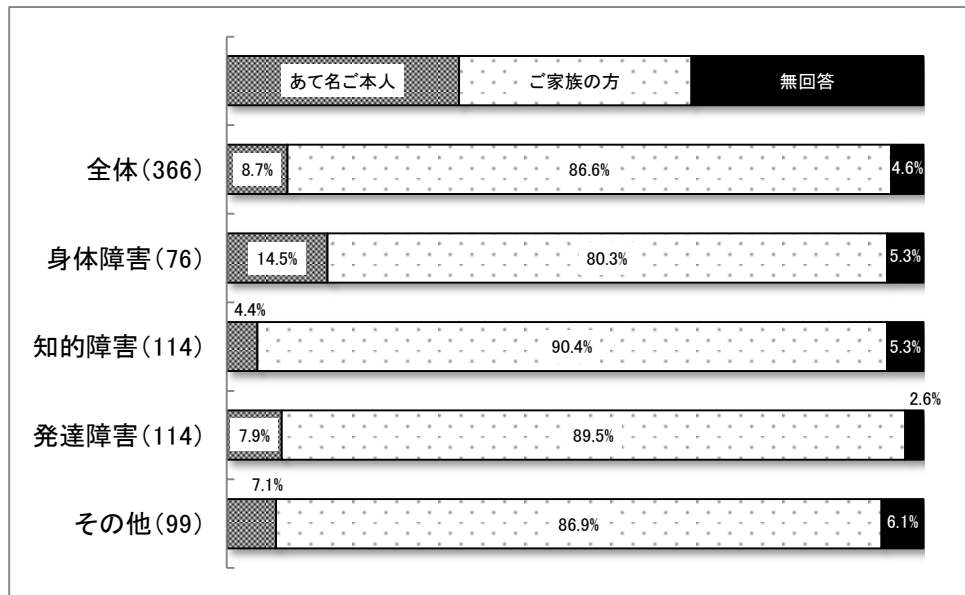
	項目名	掲載頁
問28	放課後や長期休暇中等の過ごし方	…209
問29	放課後や長期休暇中等の過ごし方の希望	…211
問30	中学校卒業後の進路希望	…213
問31	高等学校卒業後の進路希望	…215
問32	余暇の過ごし方	…217
問33	外出頻度	…220
問34	外出に関して困っていること	…221
問35	住まいに関して必要な支援	…223
問36	「こころのバリアフリー」のために必要なこと	…225
問37	①児童福祉法に基づく支援等の利用状況	…227
	② ①以外の児童のためのサービスの利用状況	…228
	③訪問系サービスの利用状況	…229
	④補装具費の支給等の利用状況	…231
	⑤地域生活支援事業の利用状況	…231
	⑥医療に関する支援の利用状況	…232
	⑦日常生活のサービスの利用状況	…233
	⑧障害福祉サービスの利用状況	…234
	⑨地域生活支援事業の利用状況	…235
	⑩就労に関する支援	…236
	⑪その他サービスの利用状況	…237
問38	サービス利用に関して困っていること	…238
問39	サービス利用計画の作成について	…239
問40	世帯の年収額	…241
問41	利用者負担について	…243
問42	災害発生時に困ることや不安なこと	…245
問43	災害に対しての備え	…247
問44	今後の生活の希望	…249
問45	重要だと思ふ施策	…250
問46	自由記述	…253

2 調査結果

(1) 調査票の回答者

問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。

全体では、「ご家族の方」が86.6%と、回答者全体の大半を占めています。障害別に見ると、身体障害で、「あて名ご本人」がやや多くなっています。

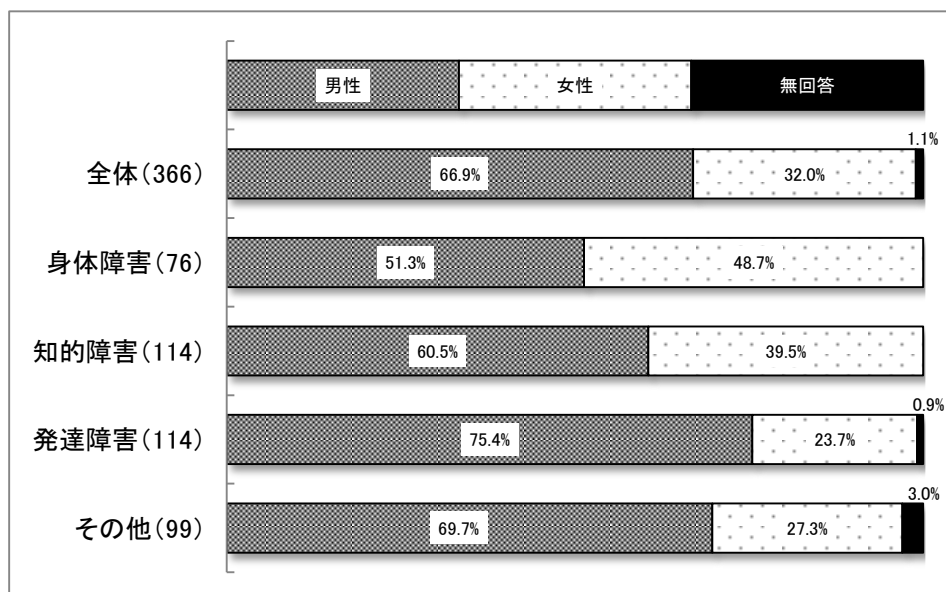


1) ご本人について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。

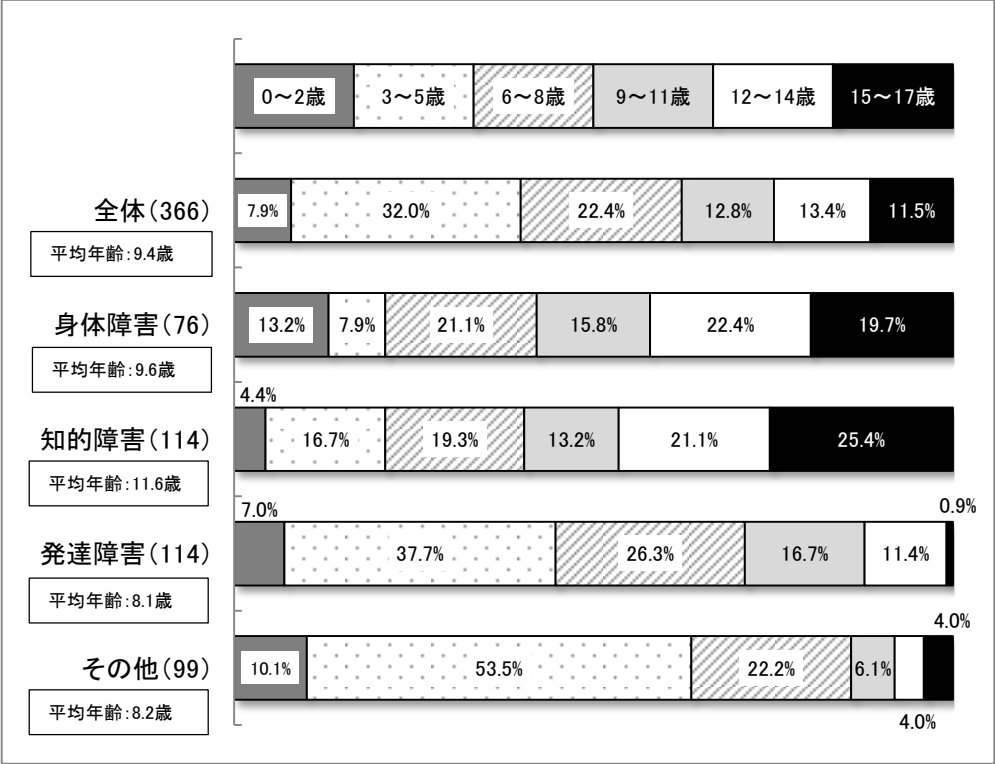
全体では、「男性」が66.9%、「女性」が32.0%となっています。



(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きます。平成25年11月1日現在の満年齢をお書きください。

全体では、「3～5歳」が32.0%と最も多く、次いで「6～8歳」が22.4%、「12～14歳」が13.4%となっています。

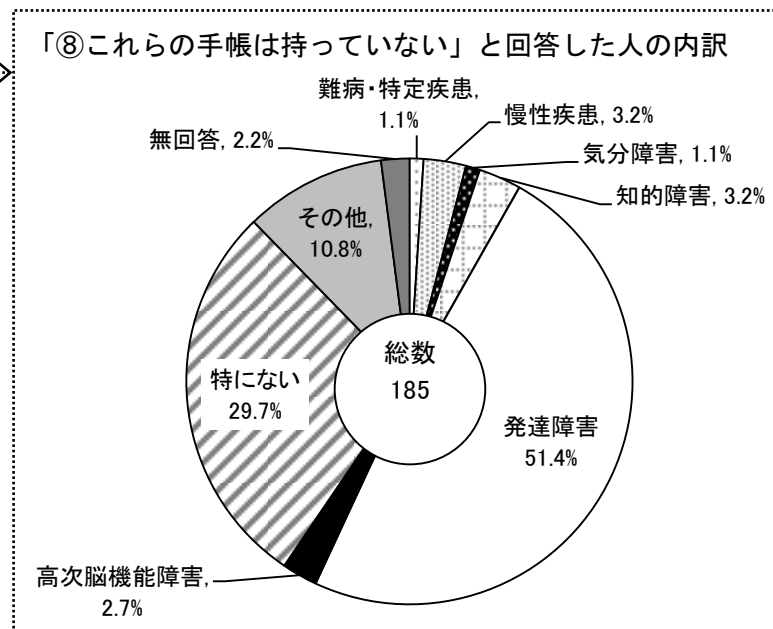
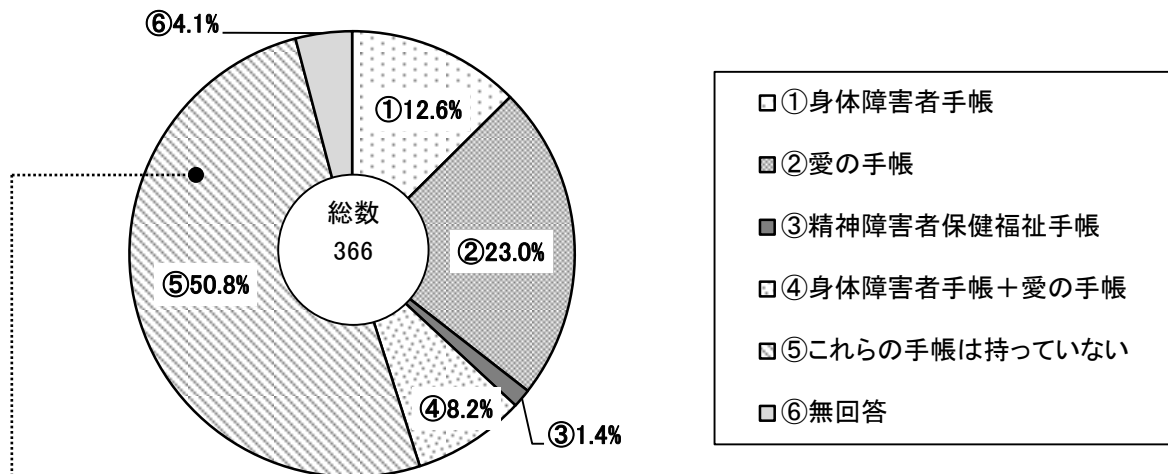


(3) 手帳の種類

問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。

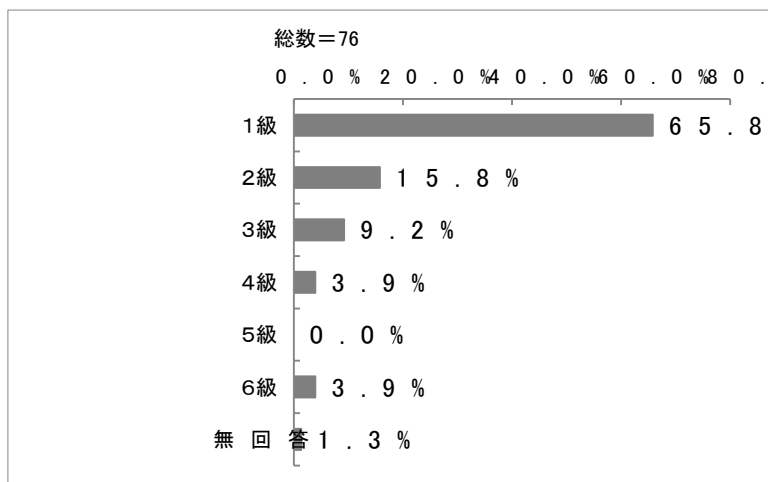
①手帳の種類

「愛の手帳」が31.2%と最も多く、次いで「身体障害者手帳」が20.8%、「精神障害者保健福祉手帳」が1.4%となっています。なお、「これらの手帳は持っていない」と回答した人は50.8%となっており、手帳を持っていない人が、全体の半数以上を占めています。



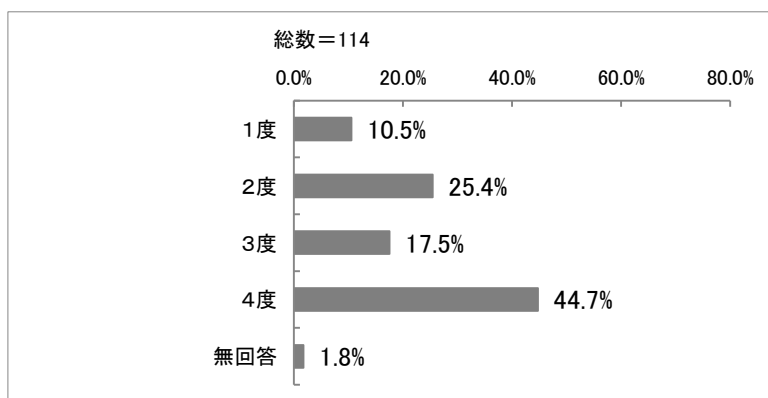
②身体障害者手帳の等級

「1 級」が 65.8%と最も多く、次いで「2 級」が 15.8%、「3 級」が 9.2%となっています。



③愛の手帳の程度

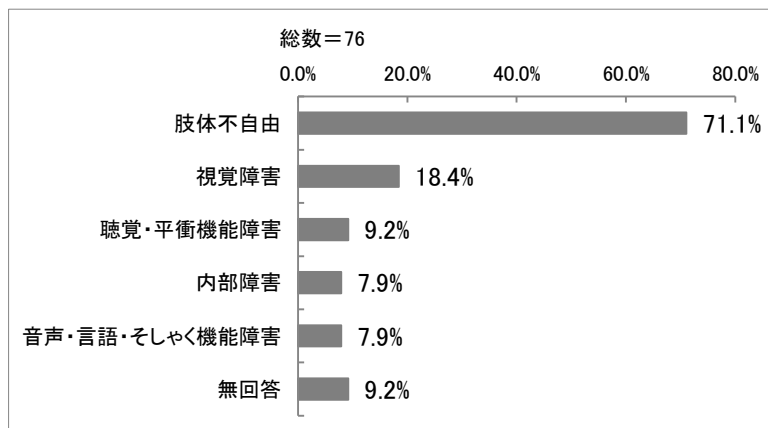
「4 度」が 44.7%と最も多く、次いで「2 度」が 25.4%、「3 度」が 17.5%となっています。



(4) 身体障害の種類

④身体障害者手帳の種類

「肢体不自由」が 71.1%と最も多く、次いで「視覚障害」が 18.4%、「聴覚・平衡機能障害」が 9.2%、「内部障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」が 7.9%となっています。



手帳の種類・等級と年齢

身体障害者手帳

	0～2歳	3～5歳	6歳以上
1級	8 16.0%	4 8.0%	38 76.0%
2級	1 8.3%	2 16.7%	9 75.0%
3級	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
4級	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%
5級	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6級	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

愛の手帳

	0～2歳	3～5歳	6歳以上	無回答
1度	1 8.3%	1 8.3%	10 83.3%	0 0.0%
2度	2 6.9%	4 13.8%	23 79.3%	0 0.0%
3度	0 0.0%	2 10.0%	18 90.0%	0 0.0%
4度	1 2.0%	7 13.7%	42 82.4%	1 2.0%
無回答	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%

身体障害の種類と年齢

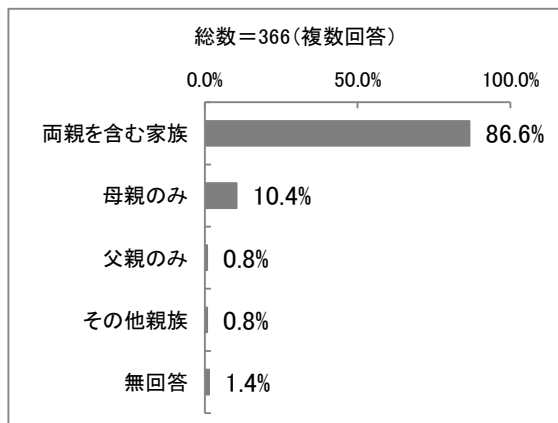
	0～2歳	3～5歳	6歳以上
肢体不自由	6 11.1%	6 11.1%	42 77.8%
音声・言語・そしゃく機能障害	0 0.0%	1 16.7%	5 83.3%
視覚障害	0 0.0%	1 14.3%	6 85.7%
聴覚・平衡機能障害	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%
内部障害	3 21.4%	0 0.0%	11 78.6%

(5) 同居家族

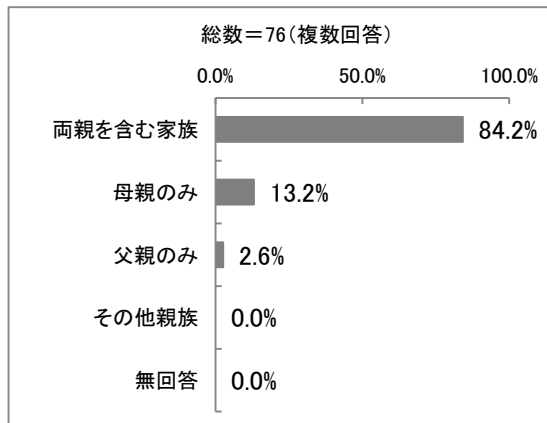
問5 あなたの同居家族をお聞きします。

全体では、「両親を含む家族」が86.6%、「母親のみ」が10.4%となっています。障害別に見ても、この傾向は変わりません。

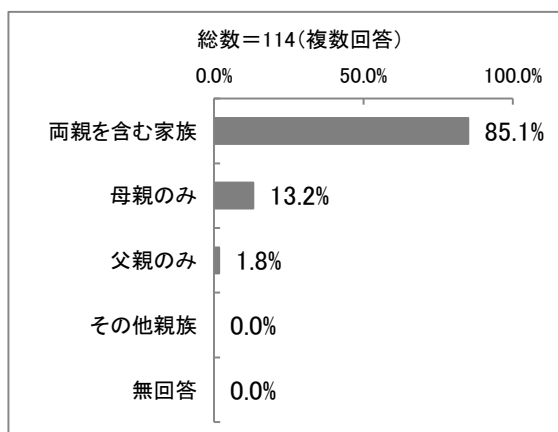
■全体



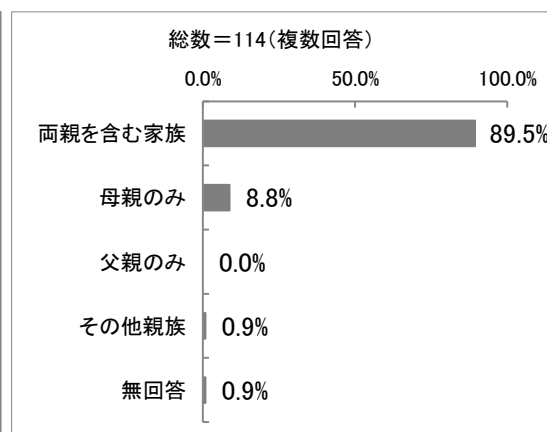
■身体障害



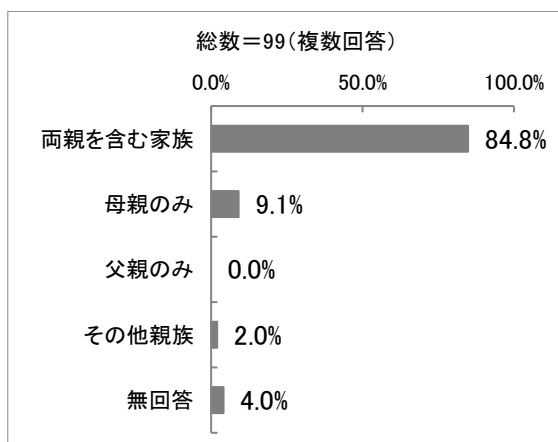
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



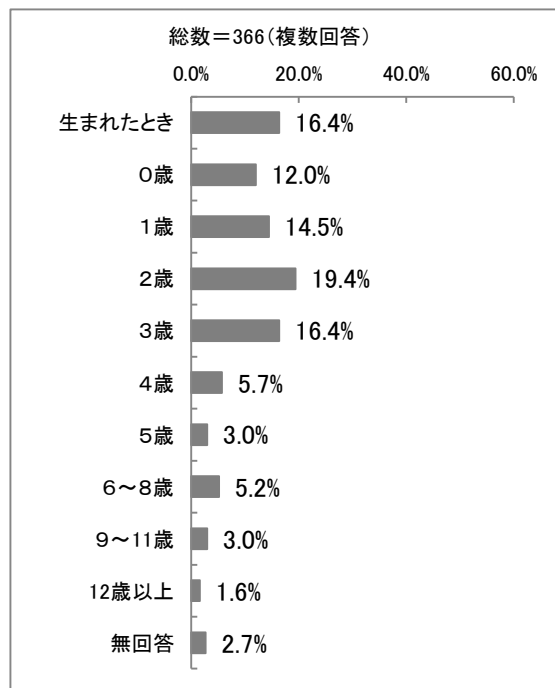
2) 障害と健康について

(1) 障害に最初に気付いた時期

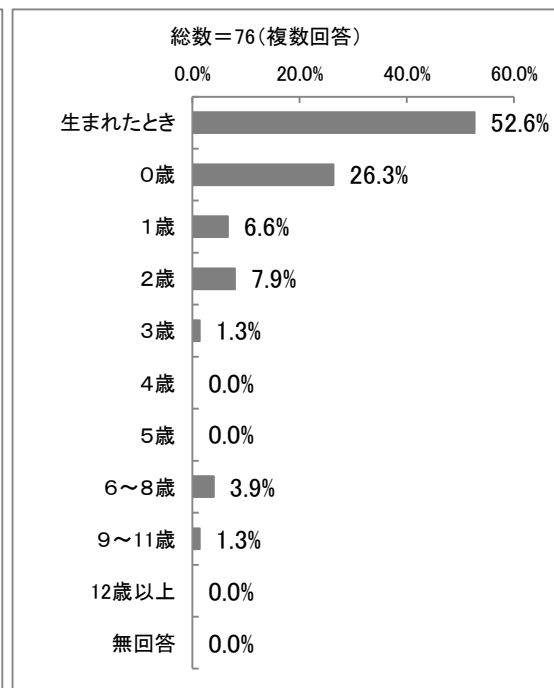
問6 あなたの障害や心身の不調について、あなたやご家族の方などが最初に気づいた時期をお聞きします。

「2歳」が19.4%、「生まれたとき」が16.4%、「3歳」が16.4%となっています。障害別に見ると、身体障害では「生まれたとき」が50%以上を占めています。

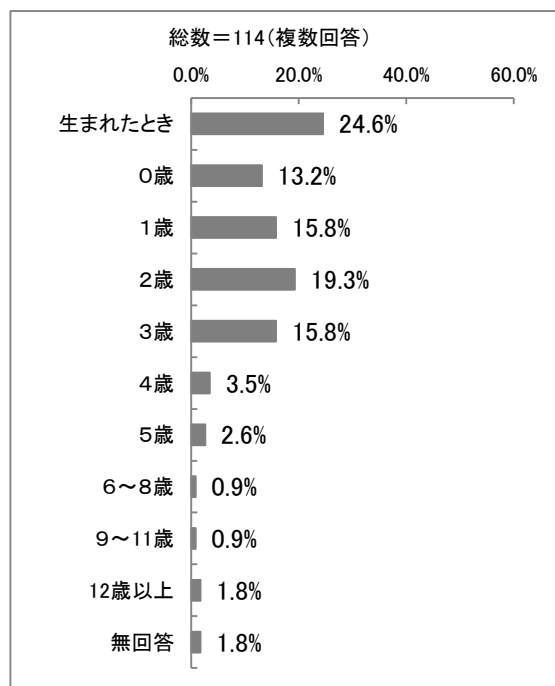
■全体



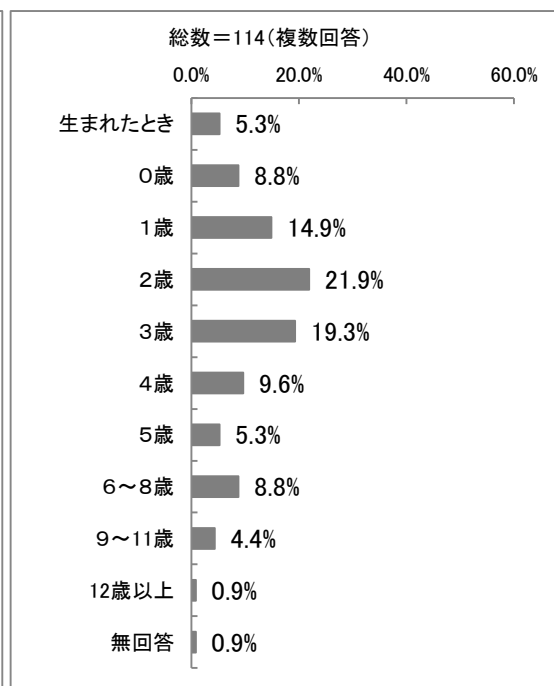
■身体障害



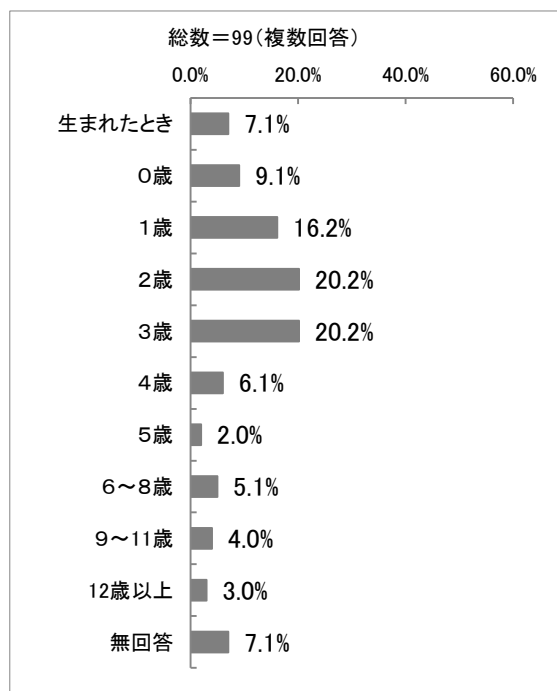
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



手帳の種類・等級と障害に気付いた時期

障害に気付いた時期別の結果を見ると、「身体障害者手帳」の「0～2歳」では、「1級」が最も多くなっています。「愛の手帳」の「3～5歳」では、「4度」が最も多くなっています。

身体障害者手帳

	生まれた時	0～2歳	3～5歳	6歳以上
1級	26 52.0%	20 40.0%	1 2.0%	3 6.0%
2級	6 50.0%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
3級	3 42.9%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%
4級	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
5級	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6級	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

愛の手帳

	生まれた時	0～2歳	3～5歳	6歳以上
1度	6 50.0%	5 41.7%	1 8.3%	0 0.0%
2度	9 31.0%	13 44.8%	7 24.1%	0 0.0%
3度	6 30.0%	11 55.0%	1 5.0%	0 0.0%
4度	7 13.7%	32 62.7%	15 29.4%	4 7.8%
無回答	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%

身体障害の種類と障害に気付いた時期

障害に気付いた時期別の結果を見ると、いずれも、「0～2歳」が多くなっています。

	生まれた時	0～2歳	3～5歳	6歳以上
肢体不自由	14 25.9%	37 68.5%	1 1.9%	2 3.7%
音声・言語・そしゃく機能障害	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
視覚障害	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	1 14.3%
聴覚・平衡機能障害	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%
内部障害	5 35.7%	8 57.1%	0 0.0%	1 7.1%

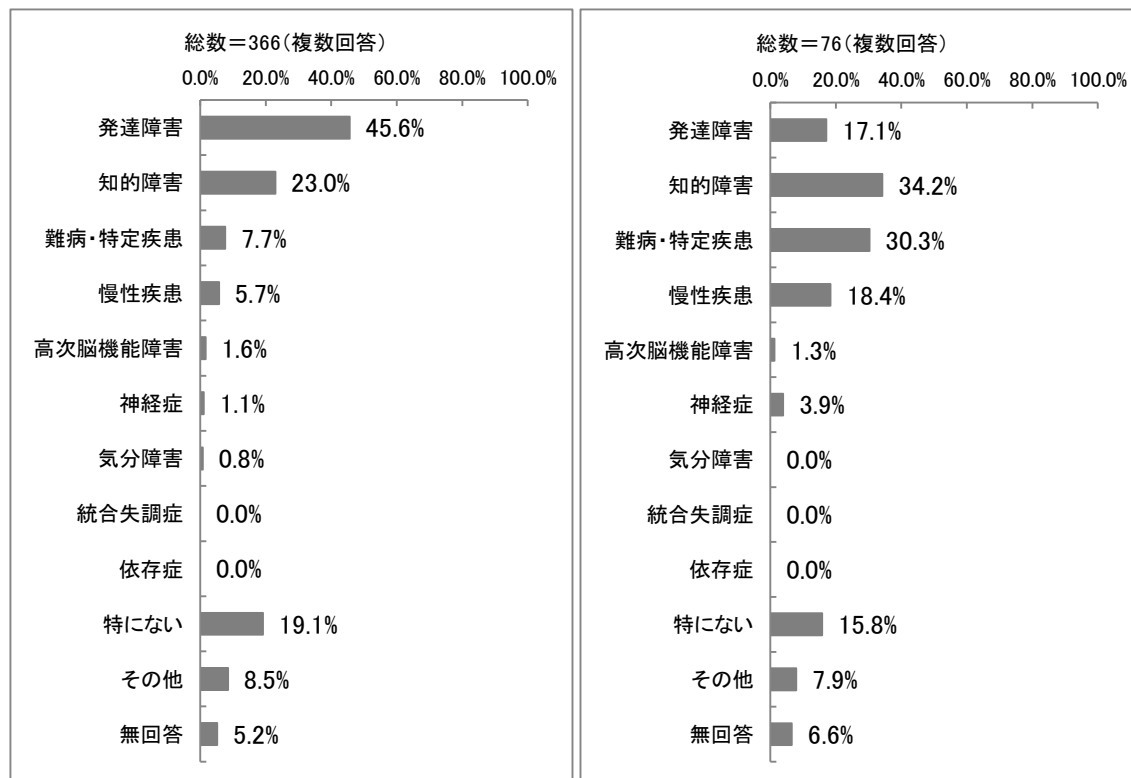
(2) 疾患や障害の有無

問7 あなたには、次の疾患や障害がありますか。

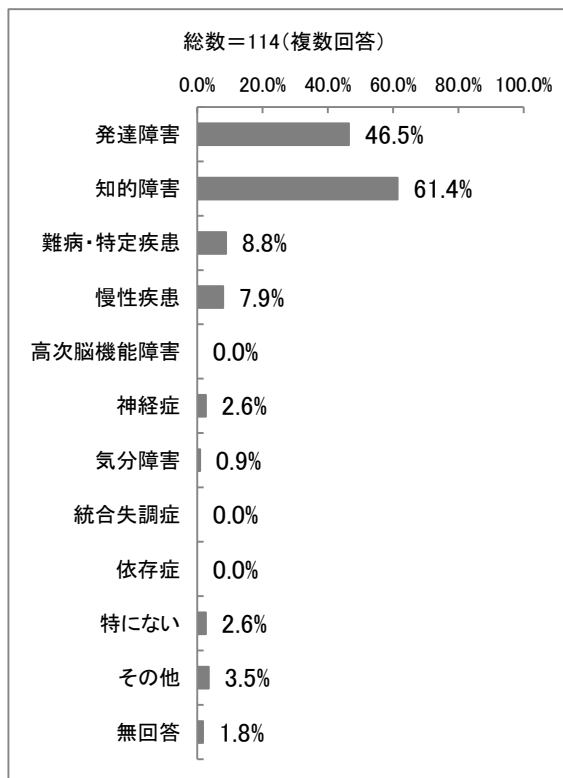
身体障害では「知的障害」が34.2%、「難病・特定疾患」が30.3%となっています。知的障害では「発達障害」が特に多くなっています。

■全体

■身体障害



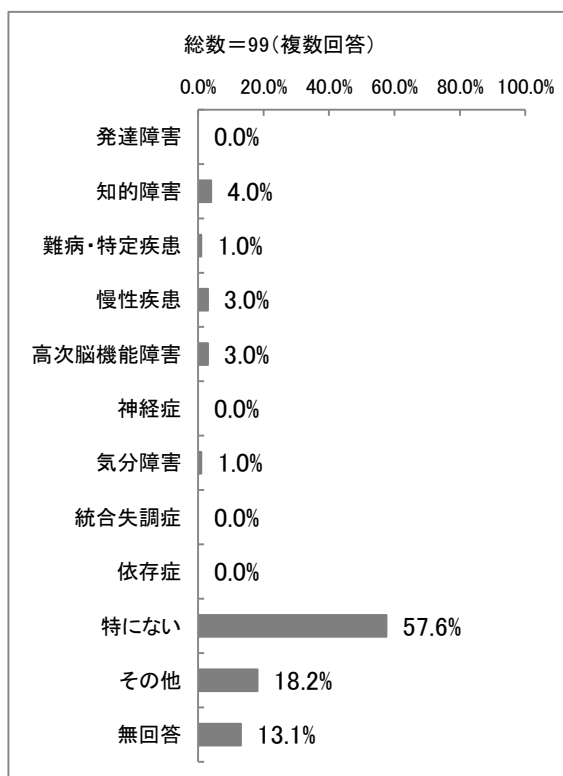
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



(3) 難病・特定疾患について

問8 問7で「難病・特定疾患」と回答された方にお聞きします。

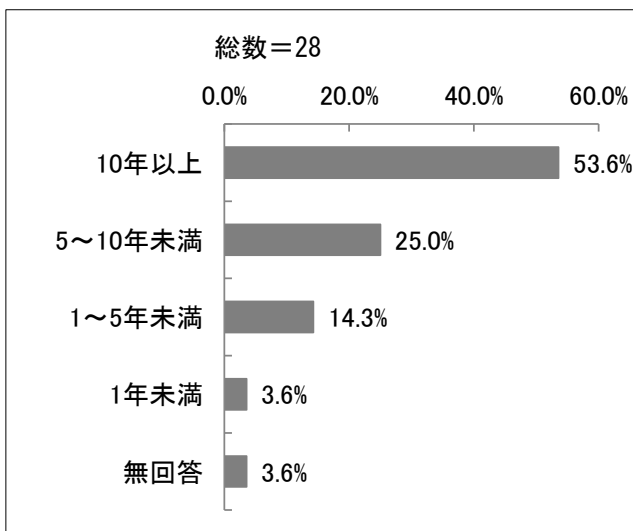
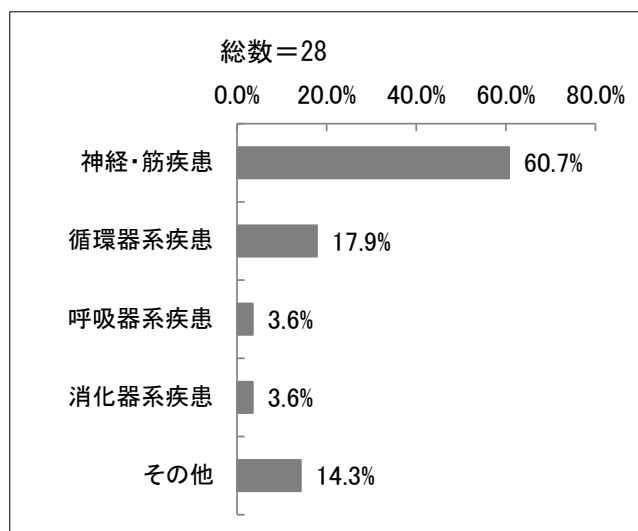
病名（東京都発行の小児慢性疾患医療費助成制度の医療券もしくは診断書に記載されている病名）等をお答え下さい。

病名は、「神経・筋疾患」が60.7%と最も多く、次いで「循環器系疾患」が17.9%となっています。

診断を受けてからの期間は、「10年以上」が53.6%と最も多くなっています。

■病名

■診断を受けてからの期間

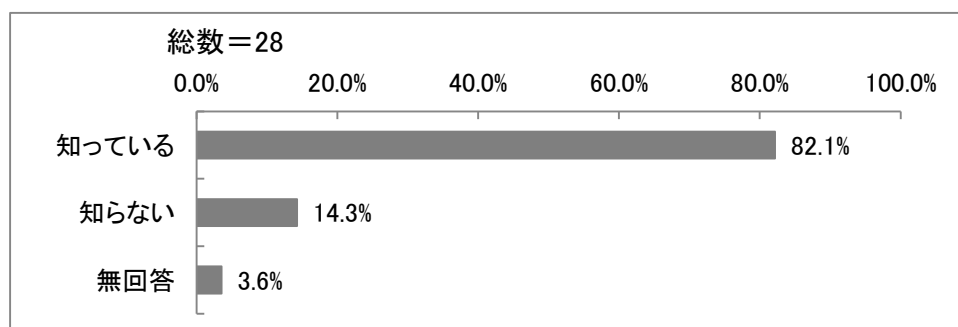


(※各疾患群に含まれる主な難病・特定疾患名については「I. 在宅の方を対象とする調査」21頁をご覧ください)

問9 問7で「難病・特定疾患」と回答された方にお聞きします。

平成25年4月から、障害福祉サービスの対象者に難病（130疾病）の方が追加されましたが、知っていますか？

「知っている」が82.1%、「知らない」が14.3%となっています。

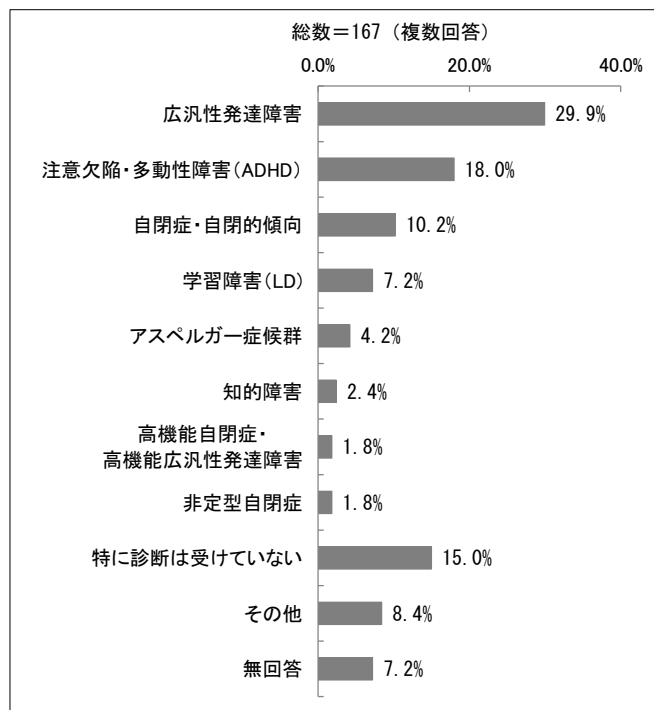


(4) 発達障害について

問 10 問7で「発達障害」と回答された方にお聞きします。 診断名をお答え下さい。

例) 広汎性発達障害、注意欠陥・多動性障害 (ADHD)、学習障害 (LD) など

「広汎性発達障害」が 29.9%と最も多く、次いで「注意欠陥・多動性障害 (ADHD)」が 18.0%、「自閉症・自閉的傾向」が 10.2%となっています。

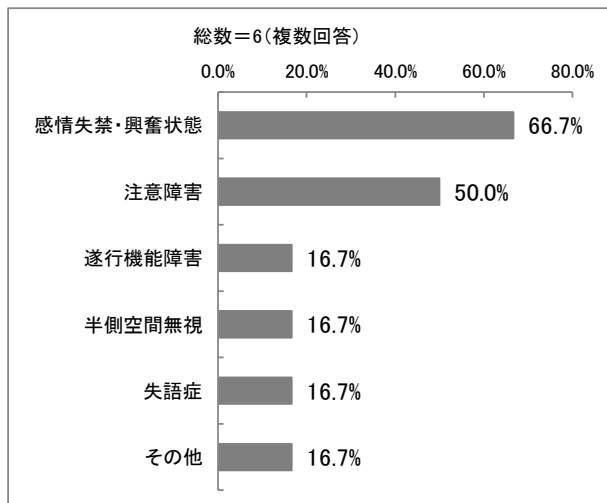


(5) 高次脳機能障害について

問 11 問7で「高次脳機能障害」と回答された方にお聞きします。

あなたには、次のような症状がありますか。

「感情失禁・興奮状態」が 66.7%、「注意障害」が 50.0%となっています。



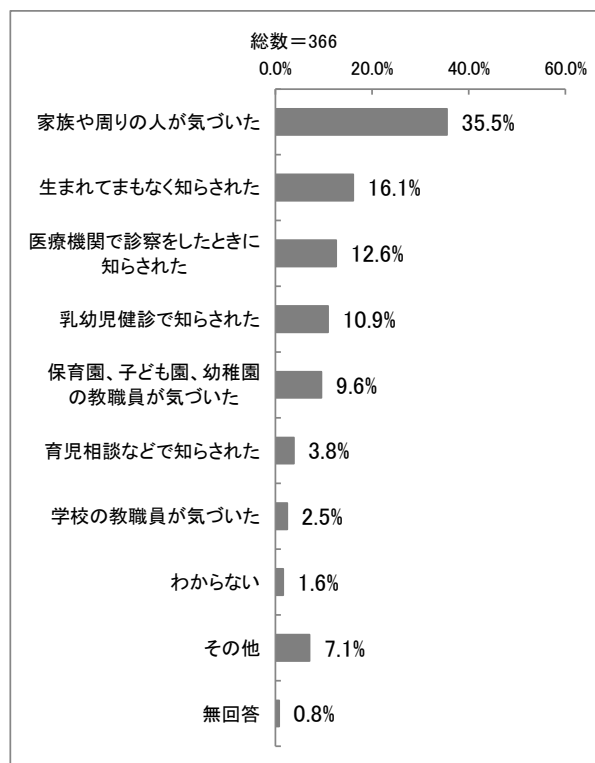
(6) 障害に最初に気付いた時期

問 12 あなたの障害や心身の不調について、はじめてわかったのは、どのようなときでしたか。

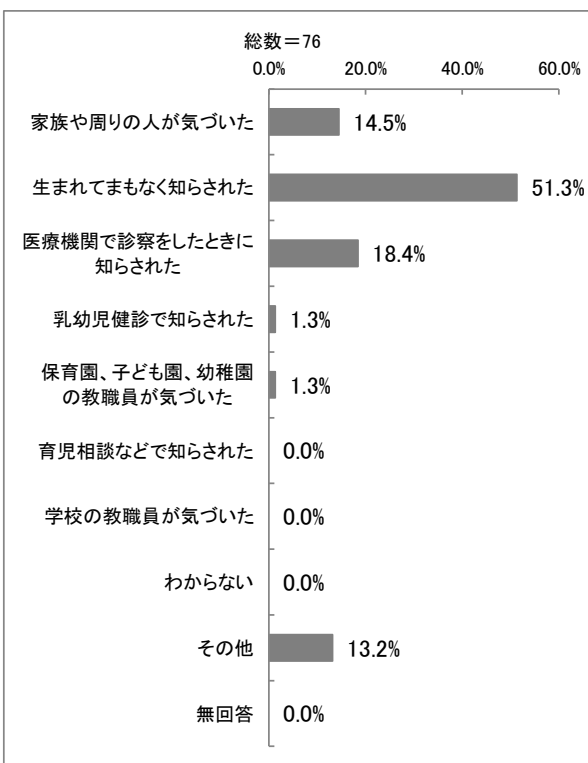
全体では、「家族や周りの人が気付いた」が 35.5%と最も多く、次いで「生まれてまもなく知らされた」が 16.1%、「医療機関で診察をしたときに知らされた」が 12.6%となっています。障害別に見ると、身体障害では、「生まれてまもなく知らされた」が特に多くなっています。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

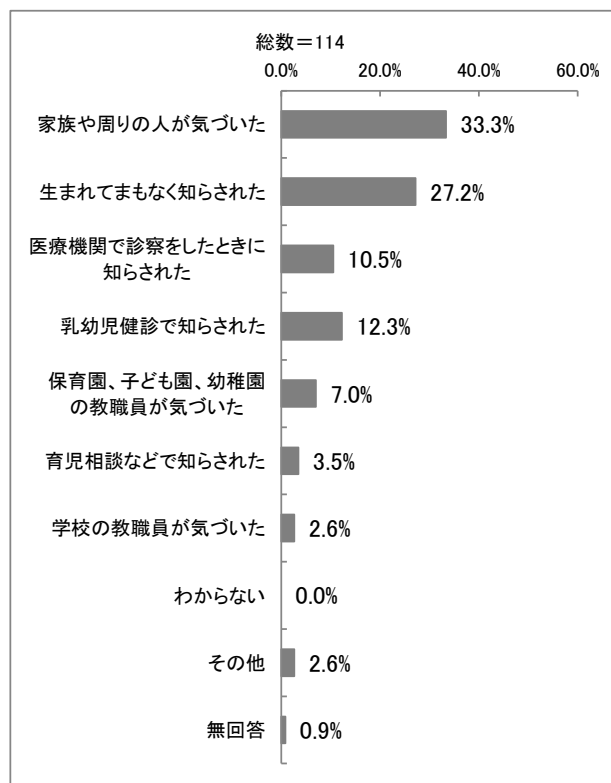
■全体



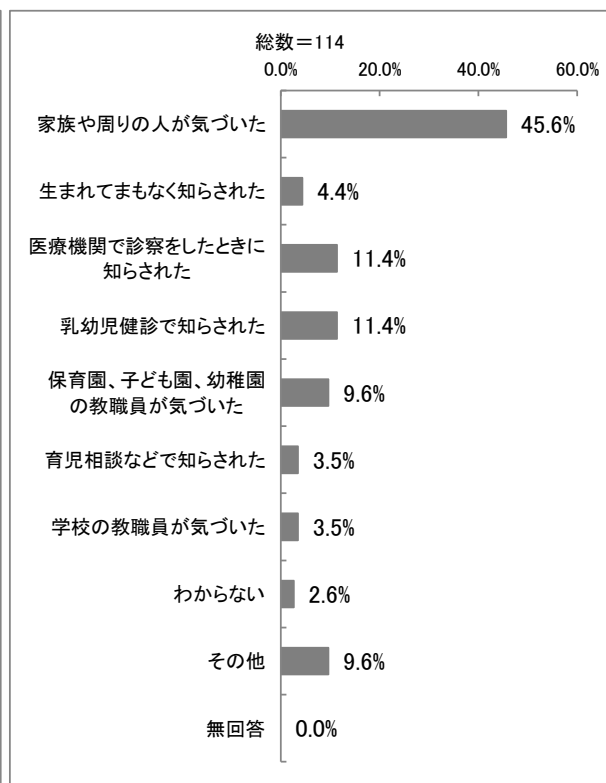
■身体障害



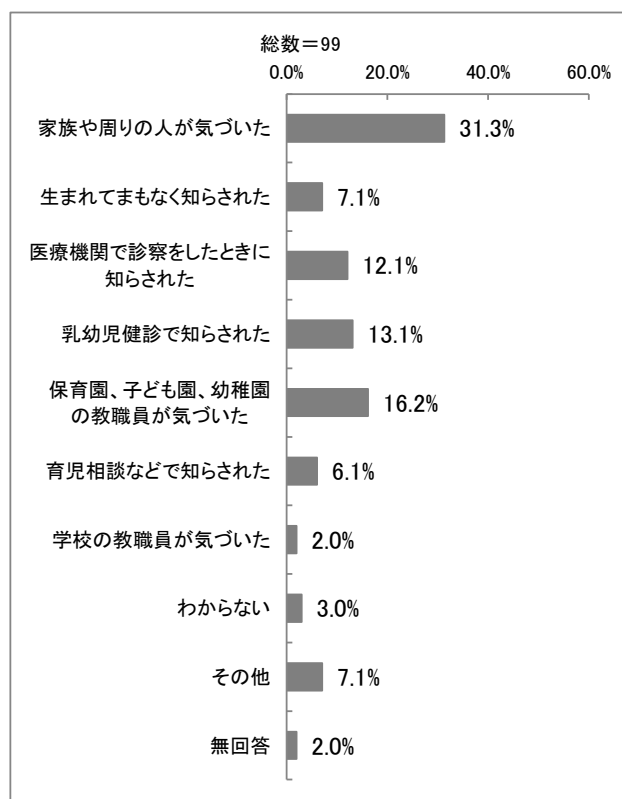
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



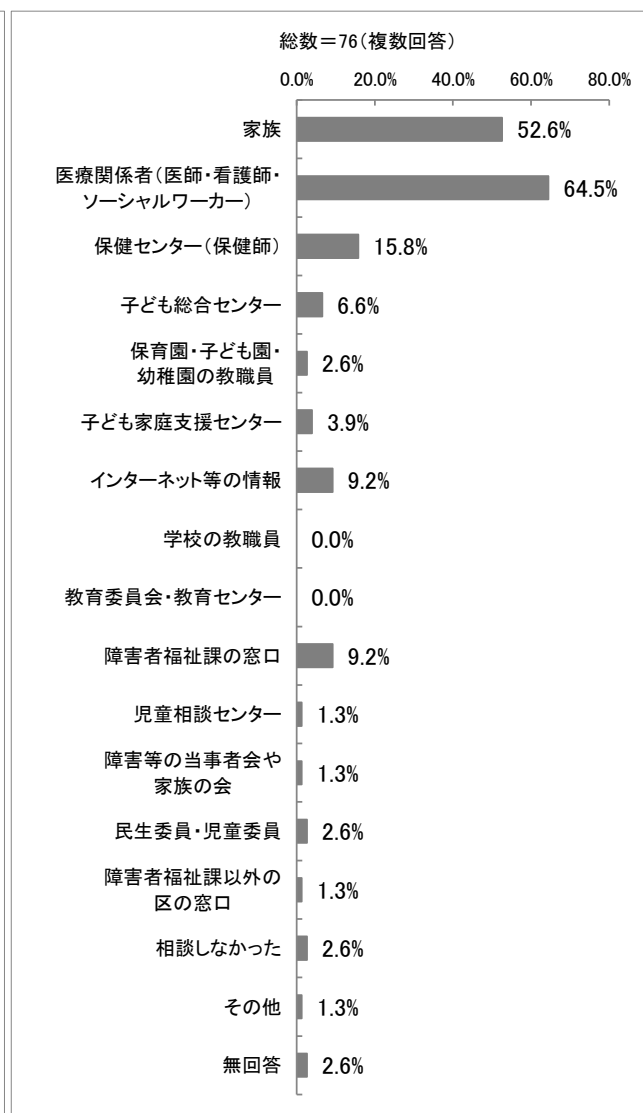
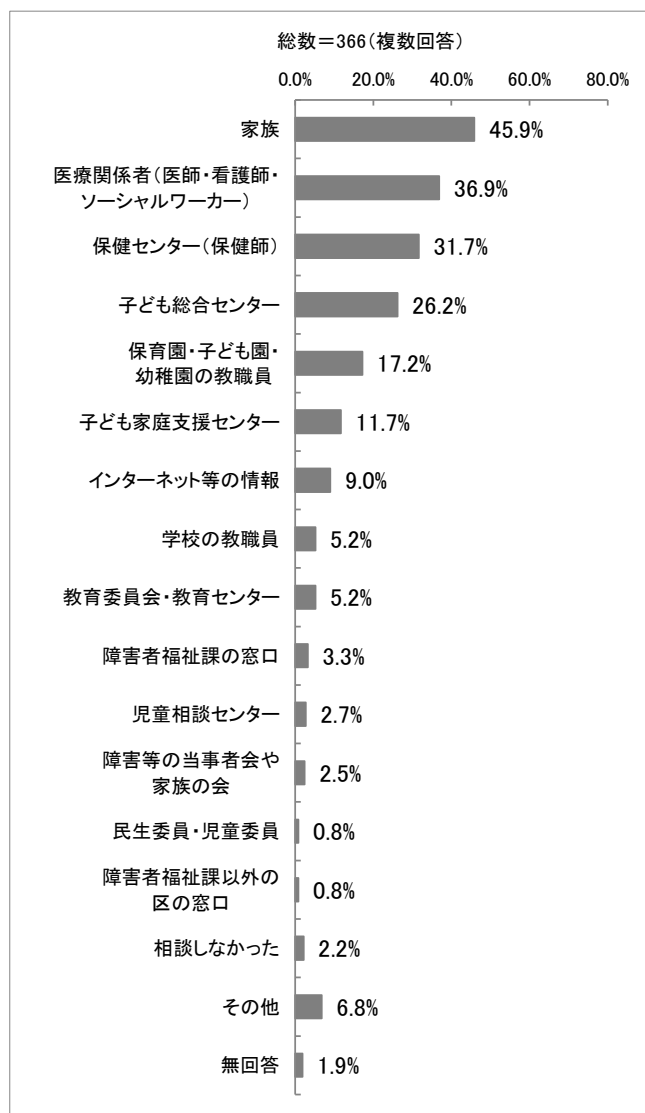
(7) 障害に気付いたときの相談相手

問 13 そのとき、誰に相談しましたか。

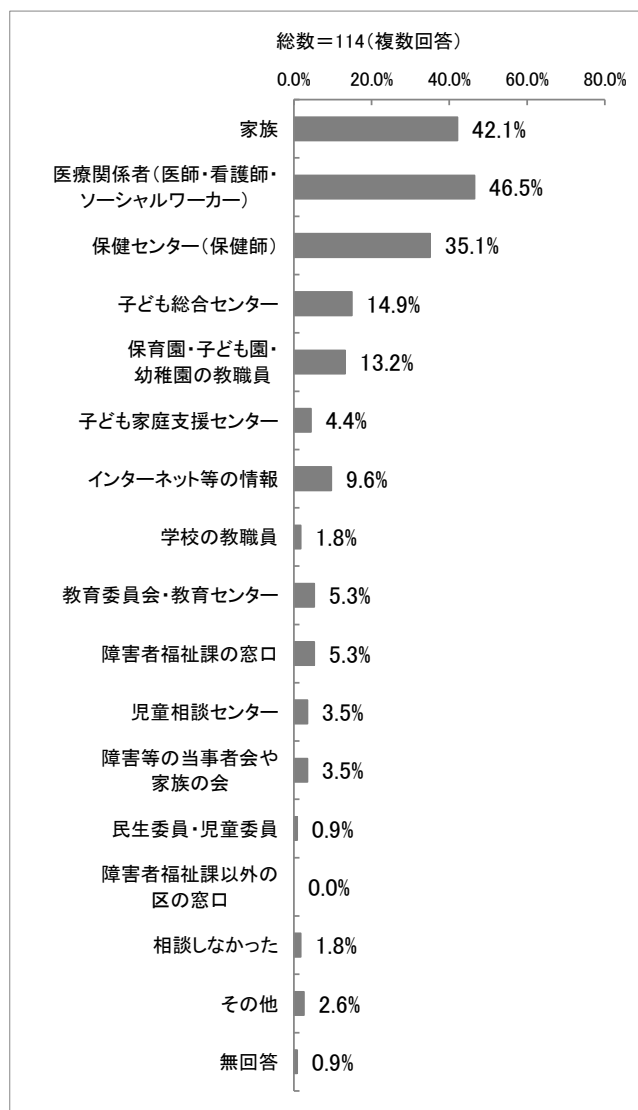
全体では、「家族」が 45.9%と最も多くなっています。身体障害では「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が最も多くなっています。2 番目に多い相談相手は、知的障害では「家族」、発達障害では「子ども総合センター」、その他児童では「保健センター（保健師）」となっています。

■全体

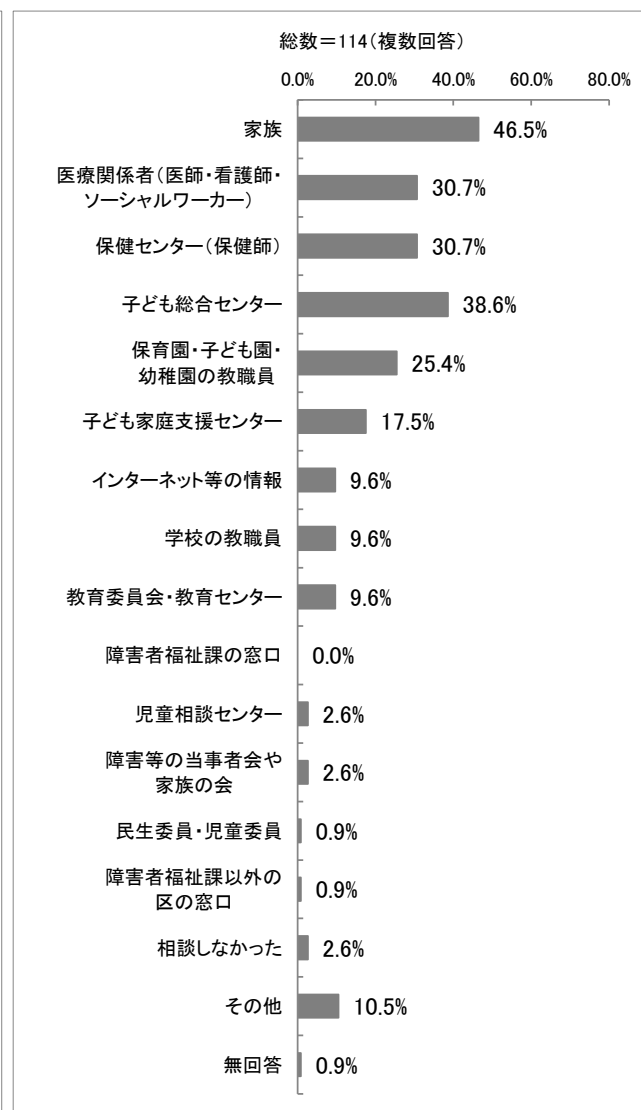
■身体障害



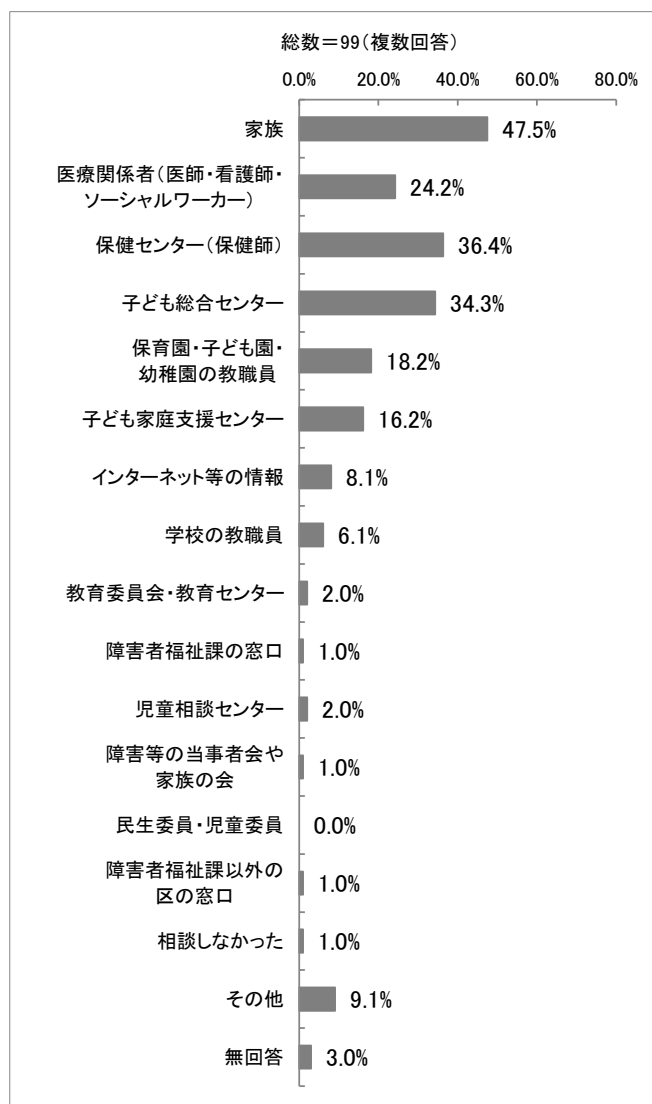
■知的障害



■発達障害



■その他の児童

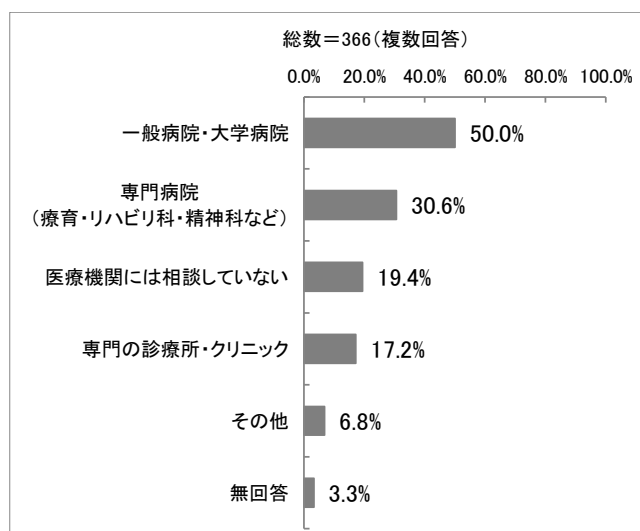


(8) 受診している医療機関

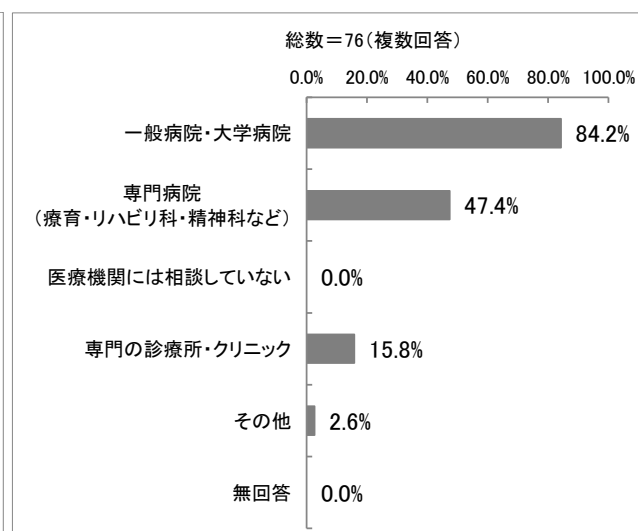
問 14 あなたは、障害や心身の不調について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。

全体では、「一般病院・大学病院」が 50.0%と最も多く、次いで「専門病院(療育・リハビリ科・精神科など)」が 30.6%、「医療機関には相談していない」が 19.4%となっています。障害別に見ると、身体障害では、「一般病院・大学病院」が、その他の児童では「医療機関には相談していない」が多くなっています。

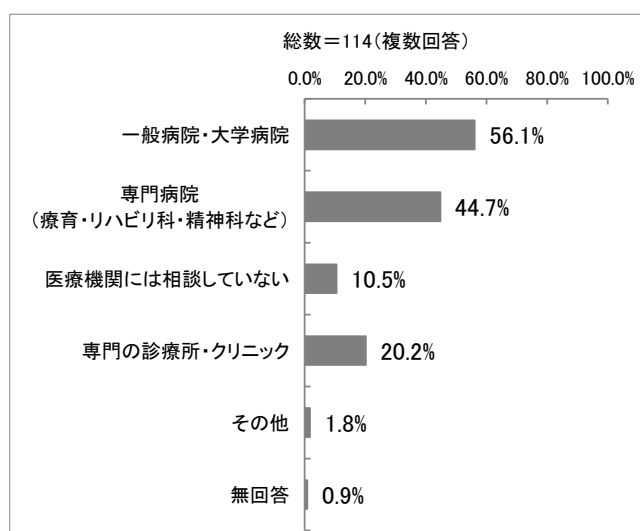
■全体



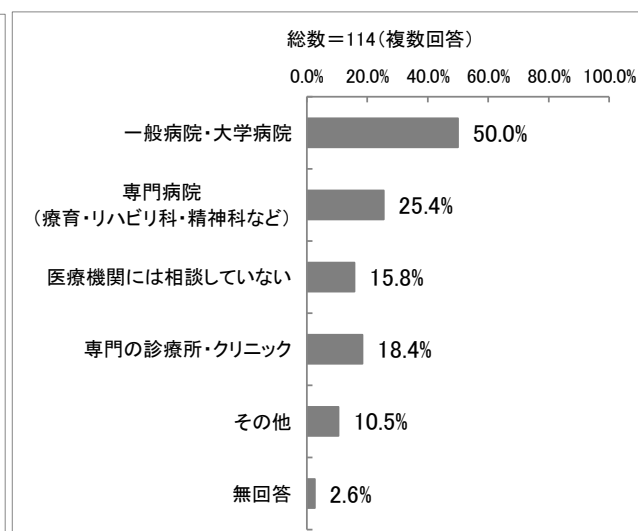
■身体障害



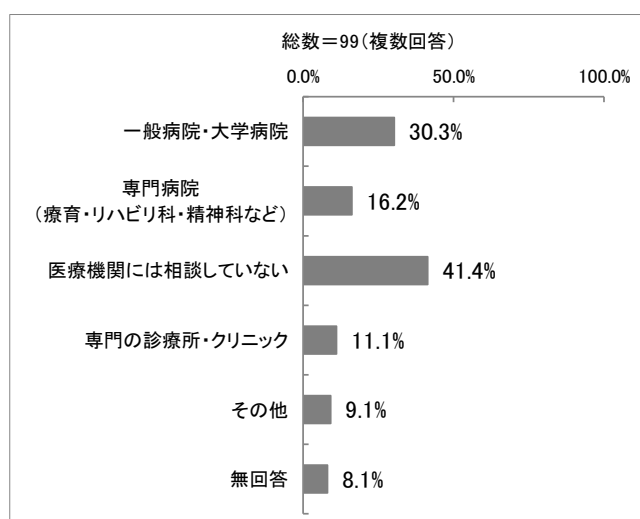
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



受診している医療機関と年齢

年代別の結果を見ると、「専門病院」では、「6歳以上」が、7割以上を占めています。また、「医療機関には相談していない」では、「3～5歳」の割合が40%以上となっています。

	0～2歳	3～5歳	6歳以上	無回答
専門の診療所・クリニック	2 3.2%	13 20.6%	46 73.0%	2 3.2%
一般病院・大学病院	20 10.9%	44 24.0%	118 64.5%	1 0.5%
専門病院 (療育・リハビリ科・精神科等)	9 8.0%	19 17.0%	84 75.0%	0 0.0%
医療機関には相談していない	2 2.8%	32 45.1%	36 50.7%	1 1.4%
その他	3 12.0%	10 40.0%	12 48.0%	0 0.0%
無回答	1 8.3%	5 41.7%	5 41.7%	1 8.3%

受診している医療機関と障害に気付いた時期

障害に気付いた時期別の結果を見ると、全ての医療機関で、「0～2歳」の受診している割合が高くなっています。

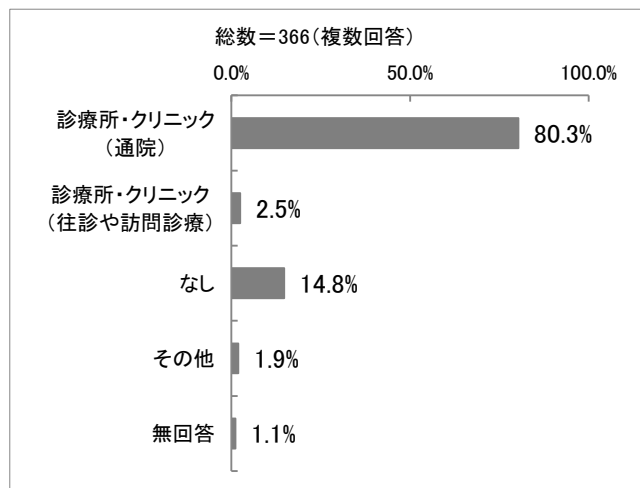
	生まれた時	0～2歳	3～5歳	6歳以上	無回答
専門の診療所・クリニック	10 15.9%	23 36.5%	21 33.3%	7 11.1%	2 3.2%
一般病院・大学病院	54 29.5%	74 40.4%	38 20.8%	13 7.1%	4 2.2%
専門病院 (療育・リハビリ科・精神科等)	23 20.5%	57 50.9%	18 16.1%	13 11.6%	1 0.9%
医療機関には相談していない	1 1.4%	39 54.9%	23 32.4%	7 9.9%	1 1.4%
その他	0 0.0%	14 56.0%	9 36.0%	2 8.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	4 33.3%	1 8.3%	3 25.0%	4 33.3%

(9) 診療所の「かかりつけ医」の有無

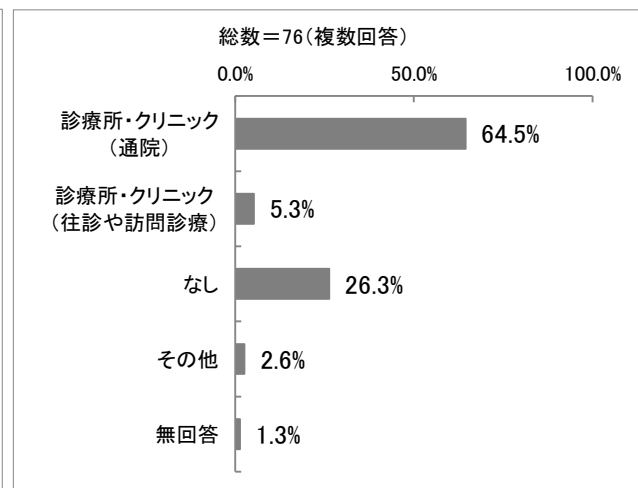
問 15 あなたは、問 14 の医療機関以外に、普段の健康や体調が悪い時（風邪など）に気軽に相談できる診療所の「かかりつけ医」がいますか。

全体では、「診療所・クリニック（通院）」が 80.3%とほとんどとなっています。

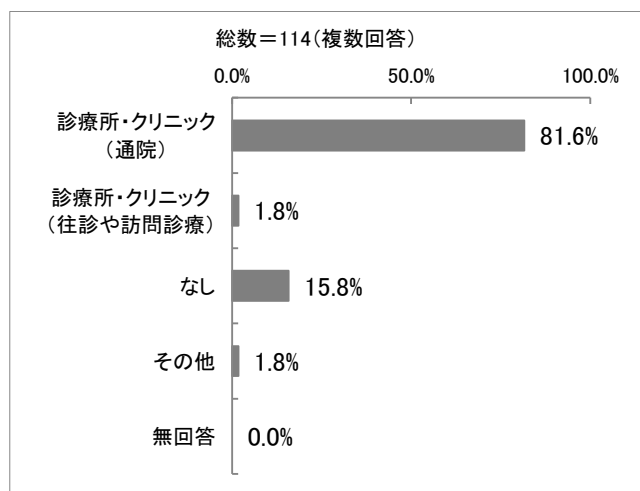
■全体



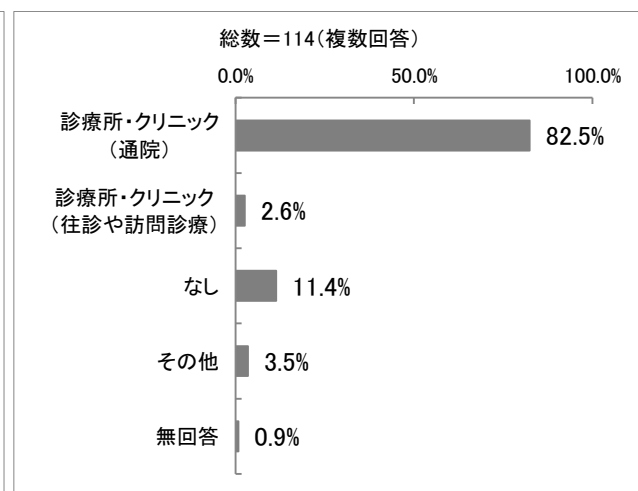
■身体障害



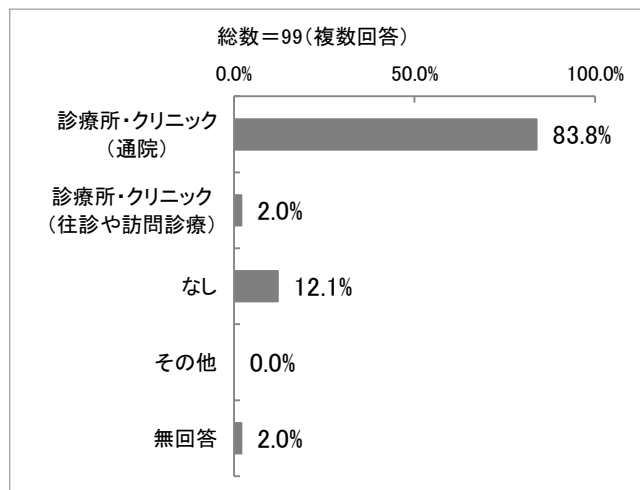
■知的障害



■発達障害



■その他の児童

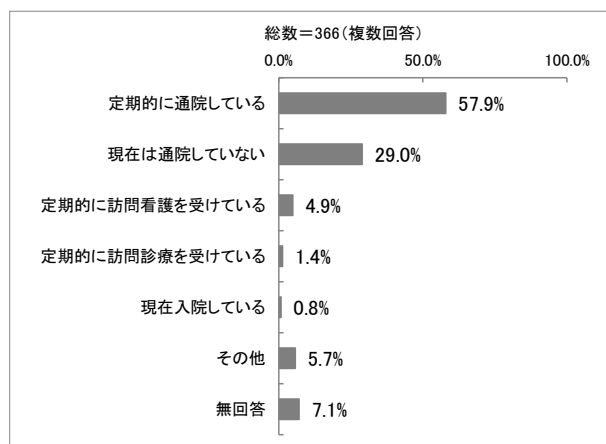


(10) 医療機関の受診状況

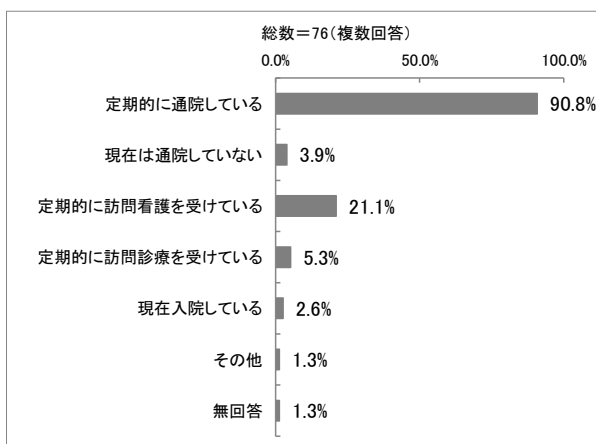
問 16 障害等について、受診状況等をお聞きします。

全体では、「定期的に通院している」が57.9%と最も多くなっています。障害別に見ると、その他の児童では「現在は通院していない」が最も多くなっています。身体障害では「定期的に訪問看護を受けている」が2番目に多くなっています。

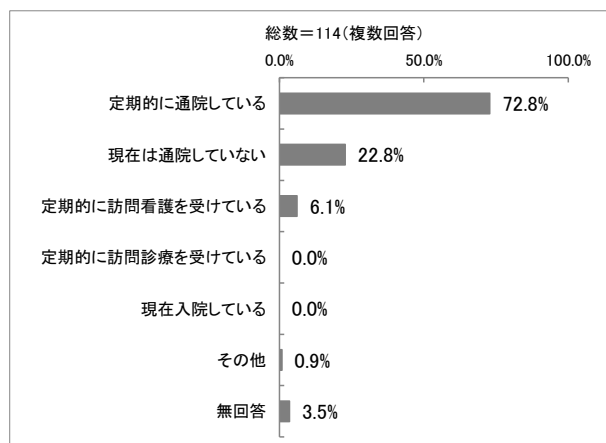
■全体



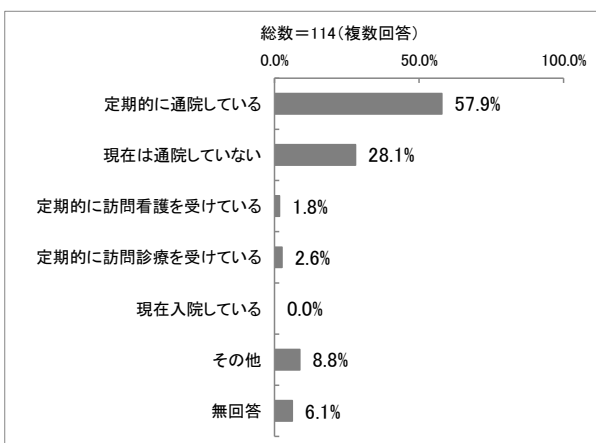
■身体障害



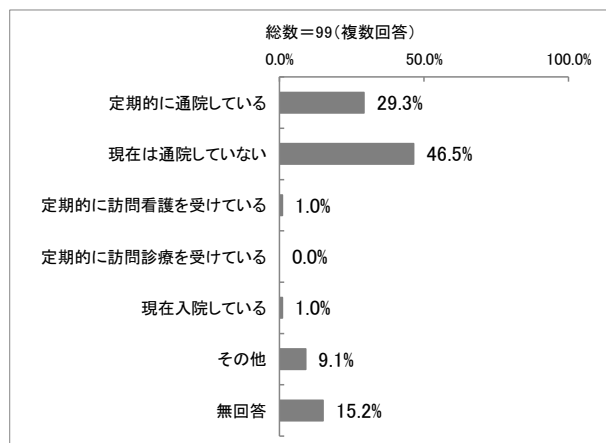
■知的障害



■発達障害



■その他の児童

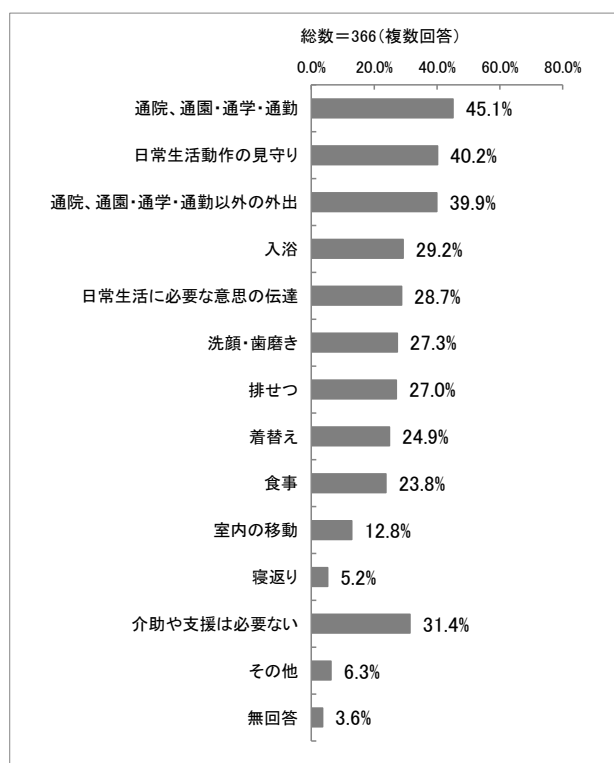


(11) 介助や支援が必要なこと

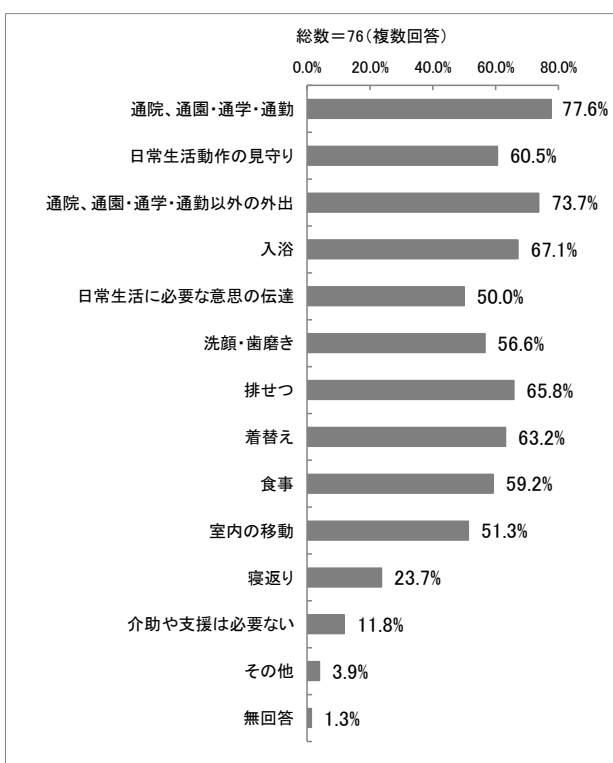
問 17 あなたは、毎日の生活の中で、どのような介助や支援が必要ですか。

全体では、「通院・通園・通学・通勤」が45.1%と最も多く、次いで「日常生活動作の見守り」が40.2%、「通院・通園・通学・通勤以外の外出」が39.9%となっています。その他の児童では「介助や支援は必要ない」が最も多くなっています。

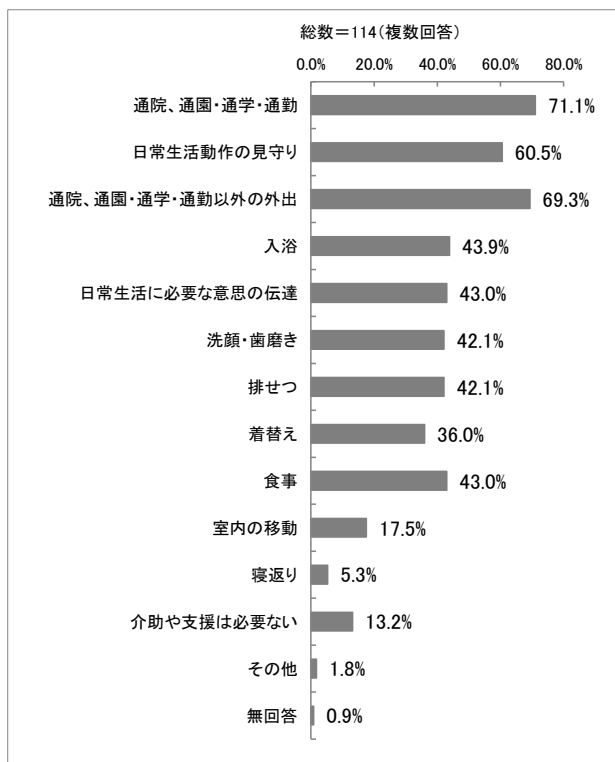
■全体



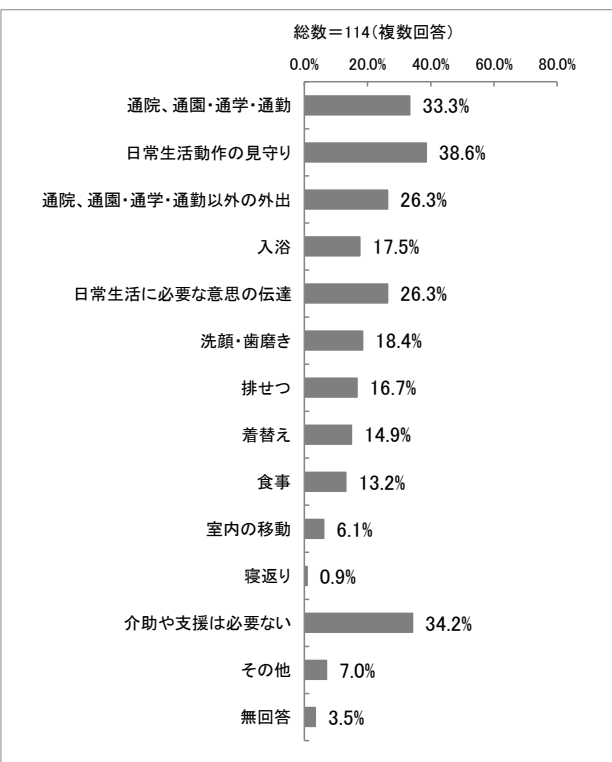
■身体障害



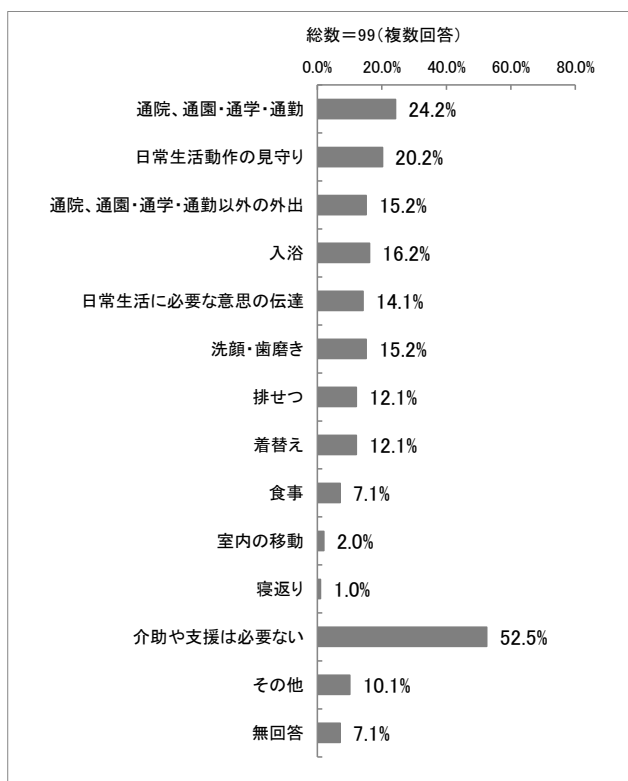
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



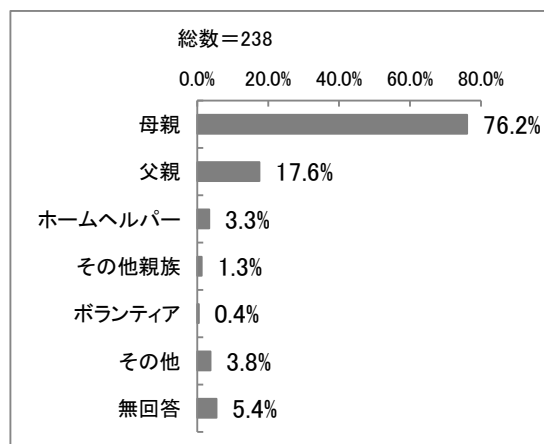
(12) 主な介助者

問 18 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方(問 17 で「介助や支援は必要ない」以外の、いずれかの項目に○を付けた方)にお聞きします。あなたを主に介助・支援している人はどなたですか。

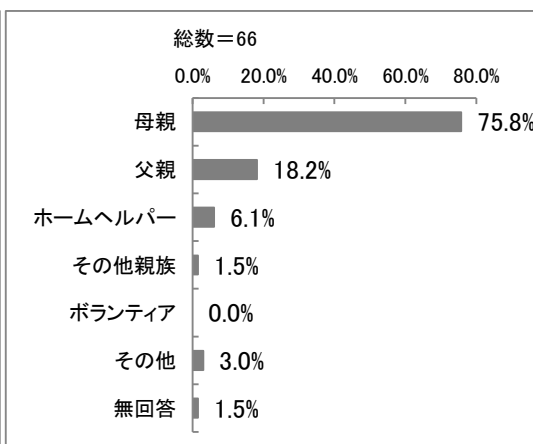
全体では、「母親」が76.2%、「父親」が17.6%、「ホームヘルパー」が3.3%となっており、両親による介助・支援を受けている人がほとんどであることがわかります。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

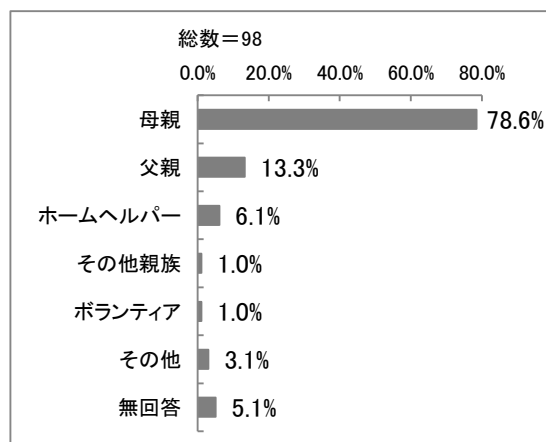
■全体



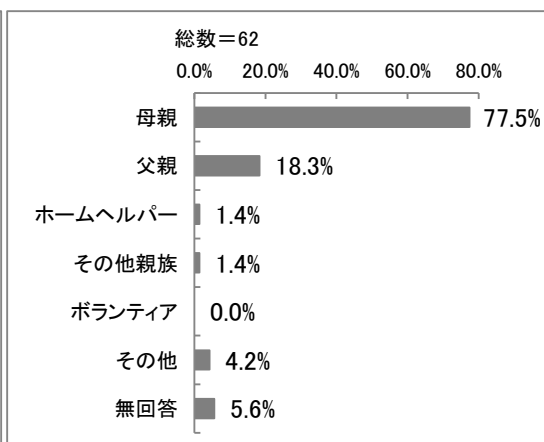
■身体障害



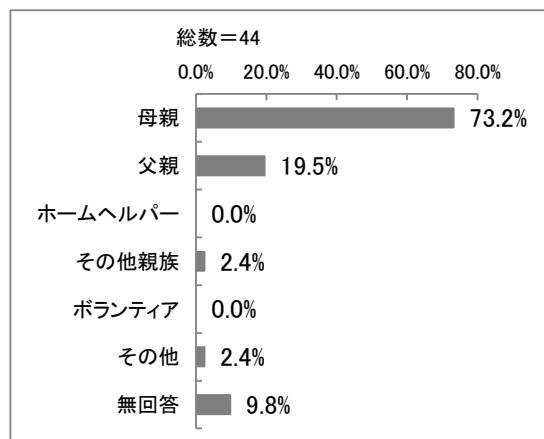
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



(13) 介助者が困っていること

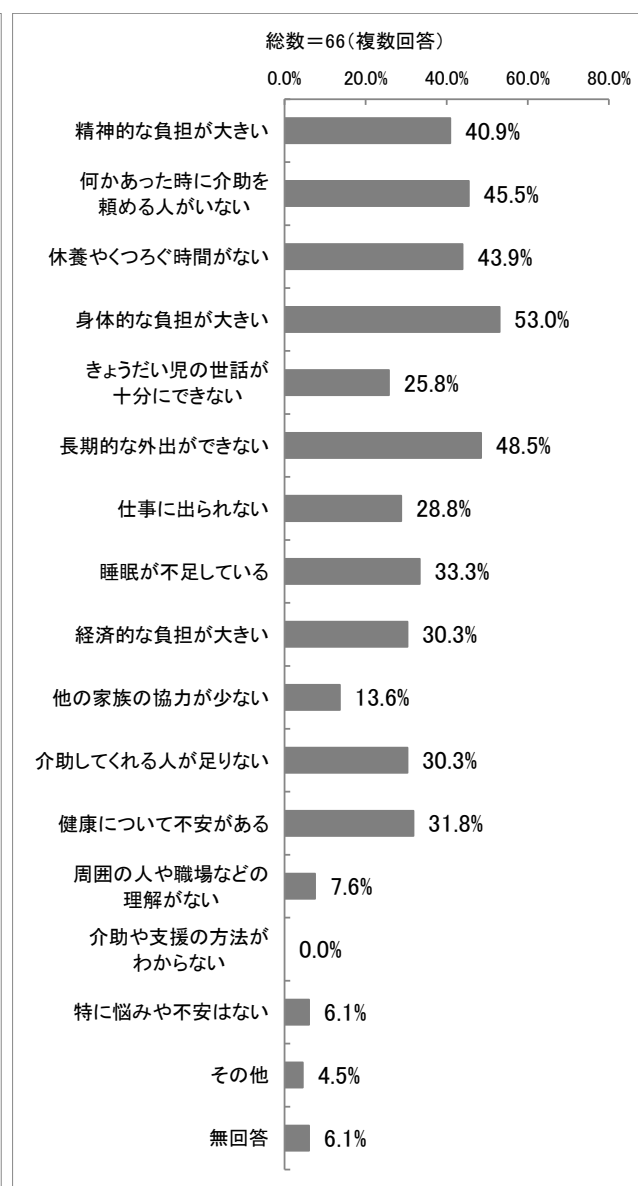
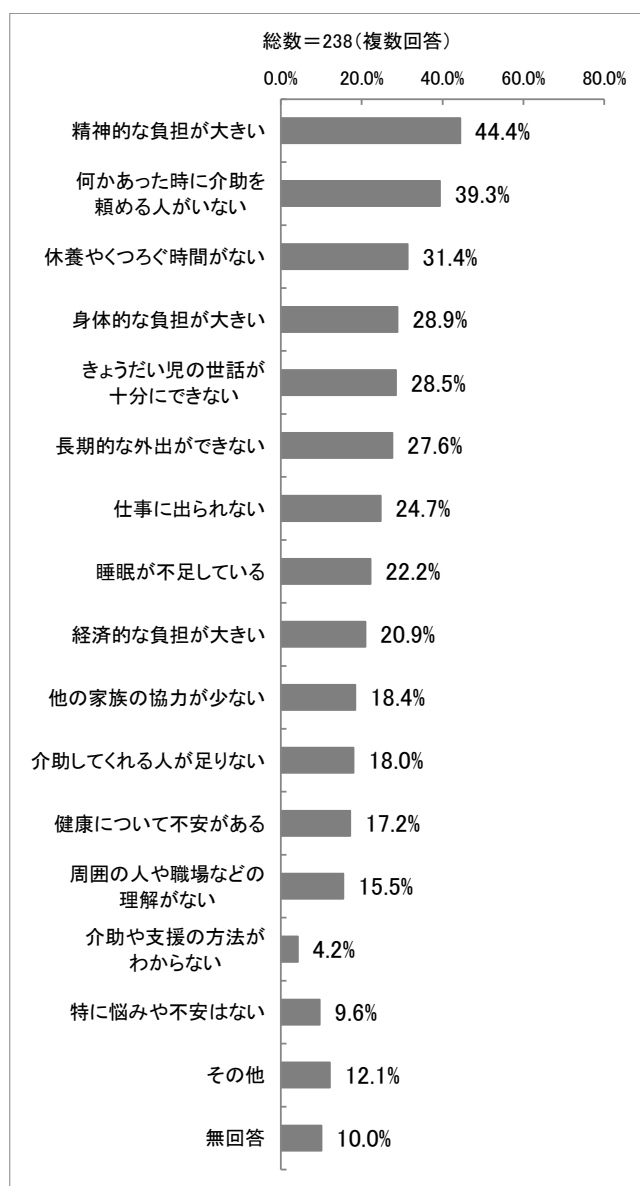
問 19 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。

主な介助者はどのような悩みや不安を抱えていますか。

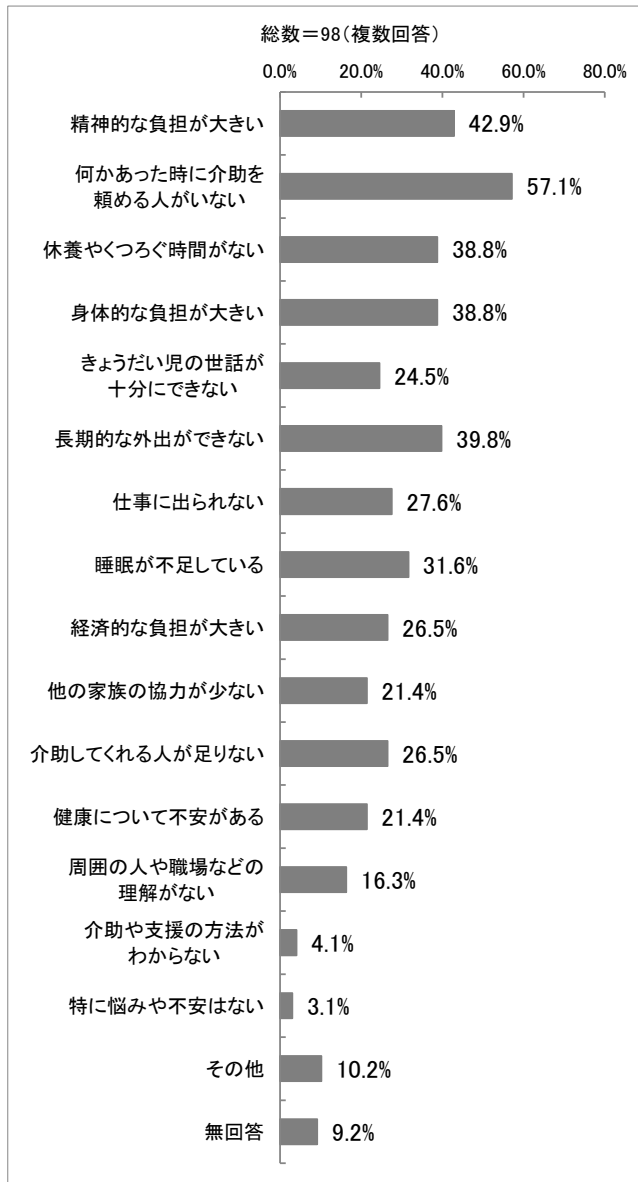
全体では、「精神的な負担が大きい」が44.4%、「何かあった時に介助を頼める人がいない」が39.3%、「休養やくつろぐ時間がない」が31.4%となっています。障害別に、最も回答の多かった項目を見ると、身体障害では「身体的な負担が大きい」、知的障害では「何かあった時に介助を頼める人がいない」、発達障害では「精神的な負担が大きい」、その他の児童では「きょうだい児の世話が十分にできない」となっています。

■全体

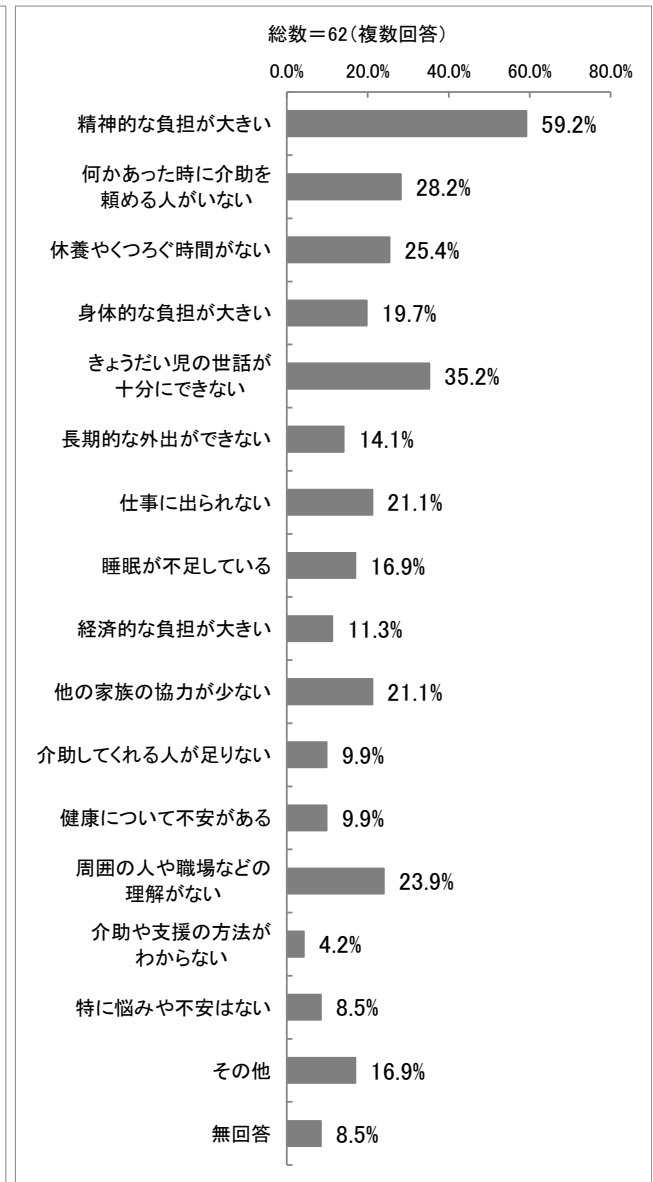
■身体障害



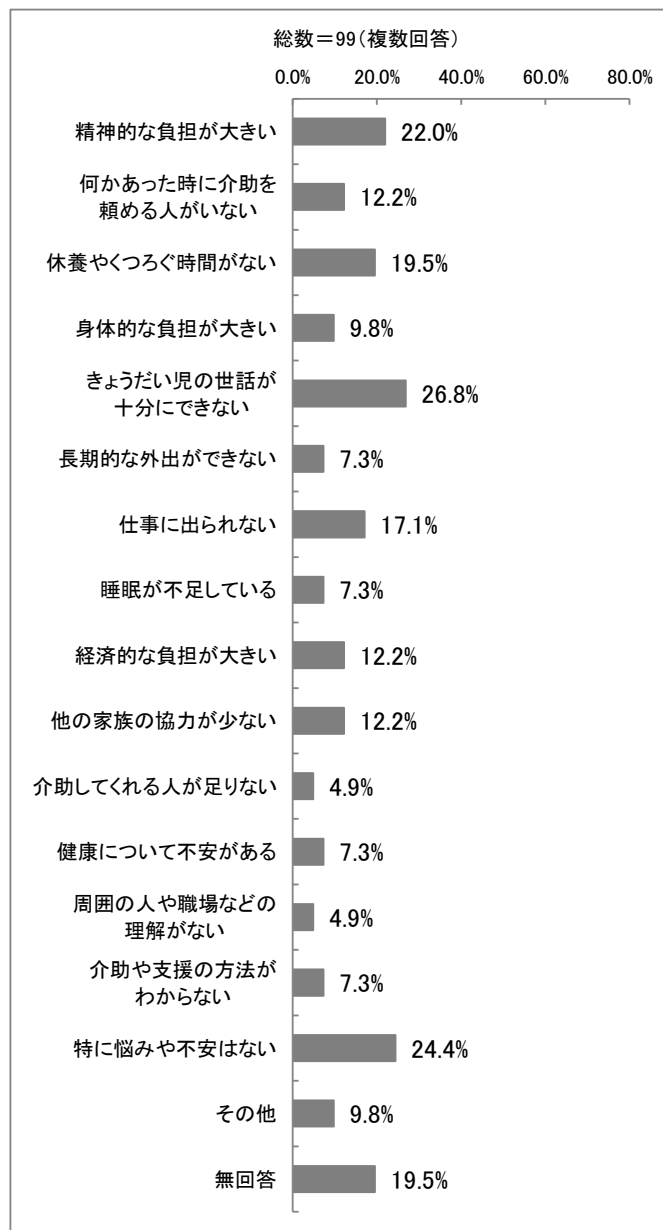
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



3) 相談や福祉の情報について

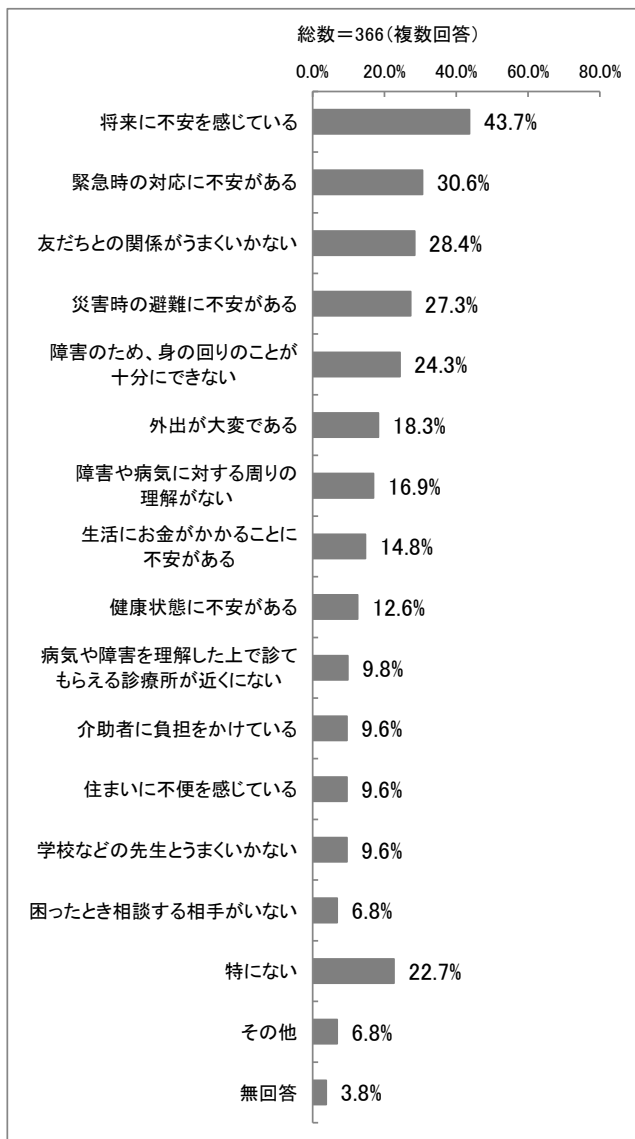
(1) 日常生活で困っていること

問 20 あなたは、日常生活で困っていることがありますか。

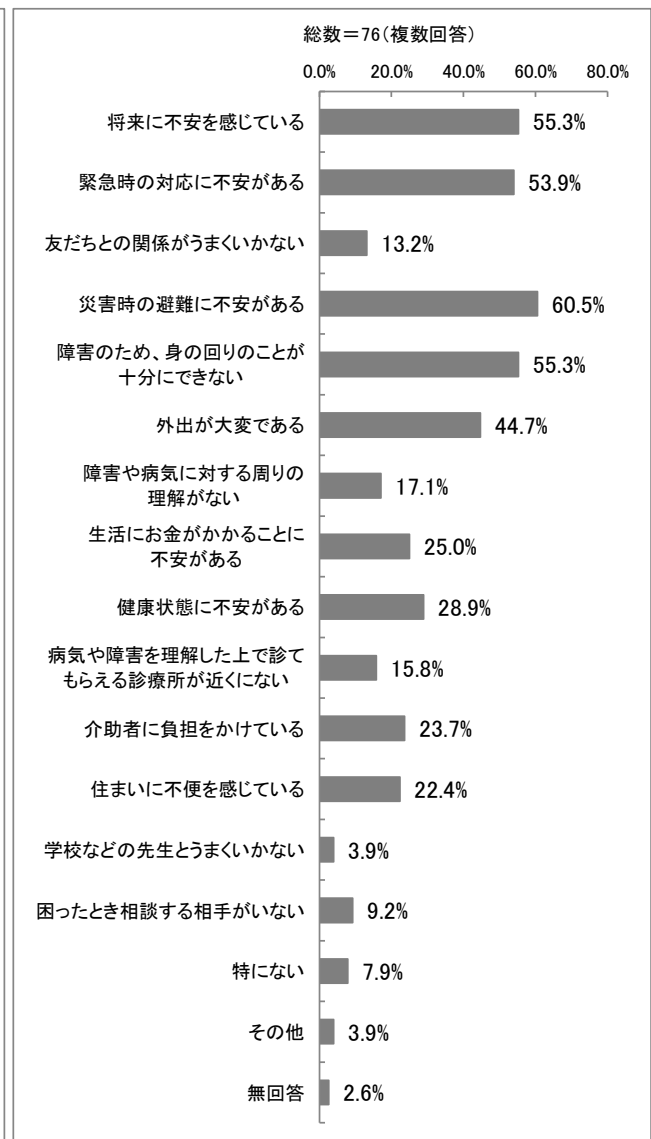
(ご家族や支援者が回答する場合でも、ご本人(お子さん)の思いをご回答ください)

全体では、「将来に不安を感じている」が 43.7%と最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が 30.6%、「友だちとの関係がうまくいかない」が 28.4%となっています。身体障害では「災害時の避難に不安がある」が最も多くなっています。

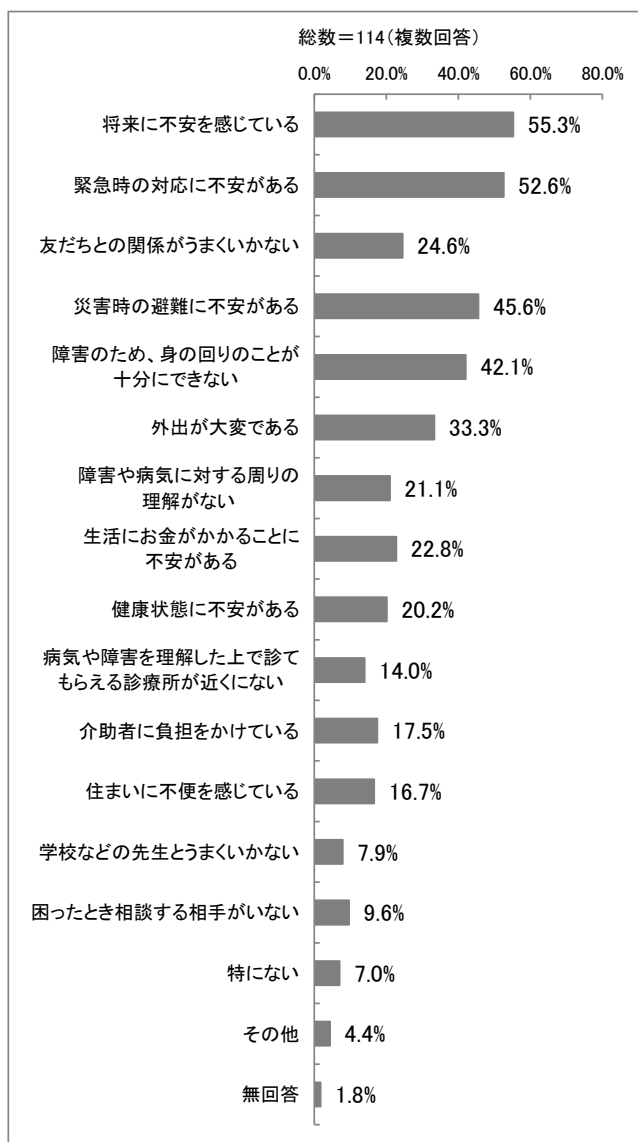
■全体



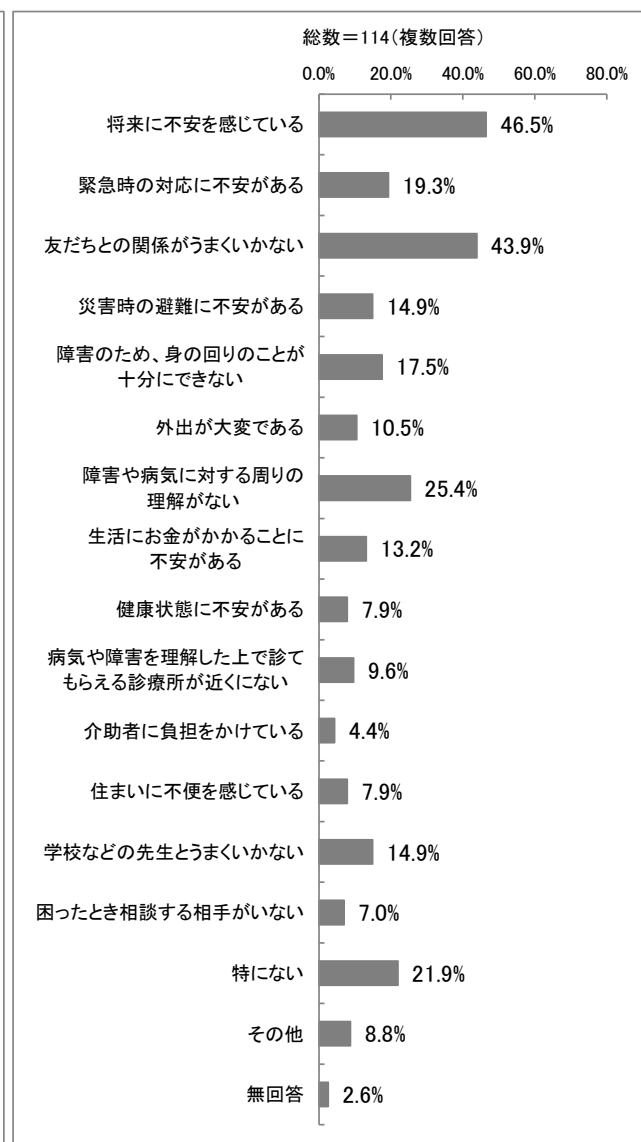
■身体障害



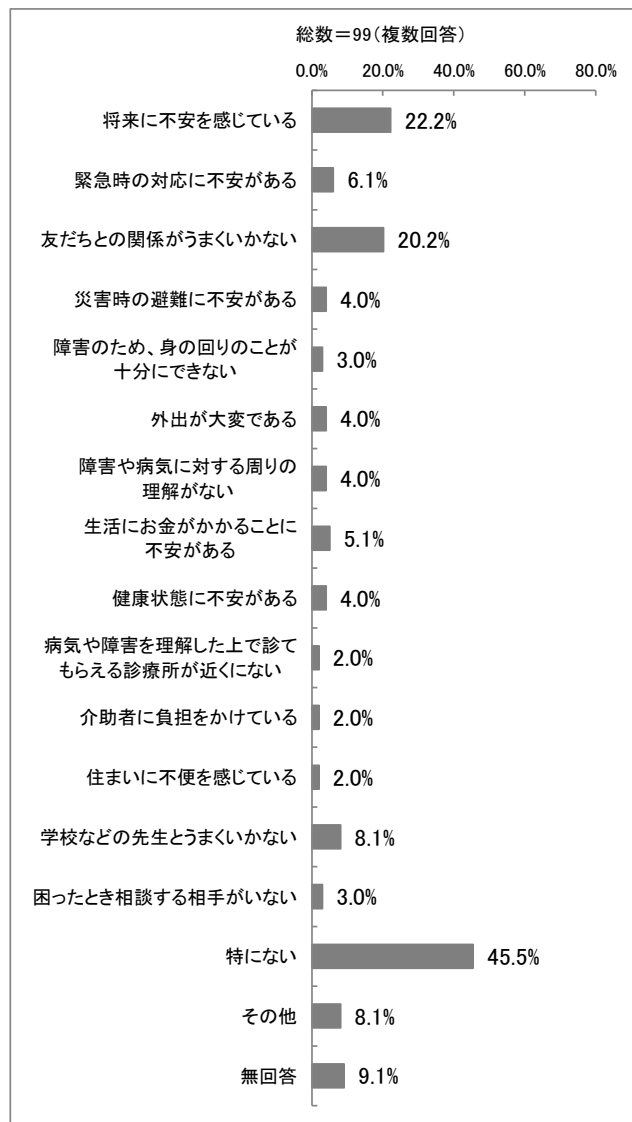
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



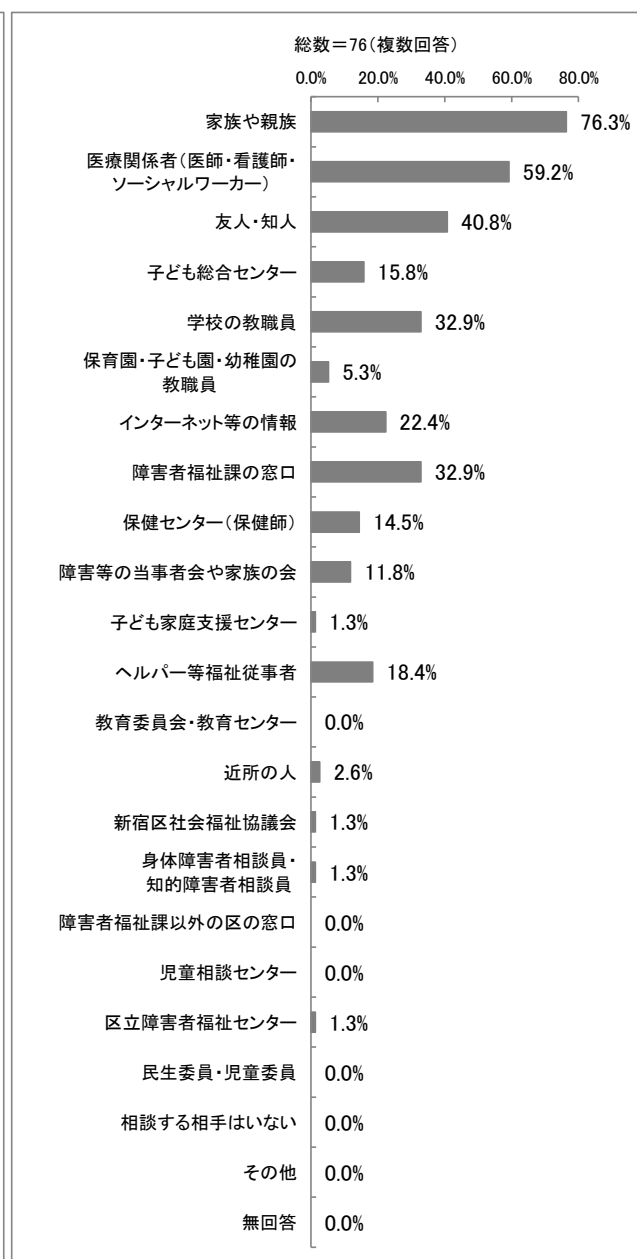
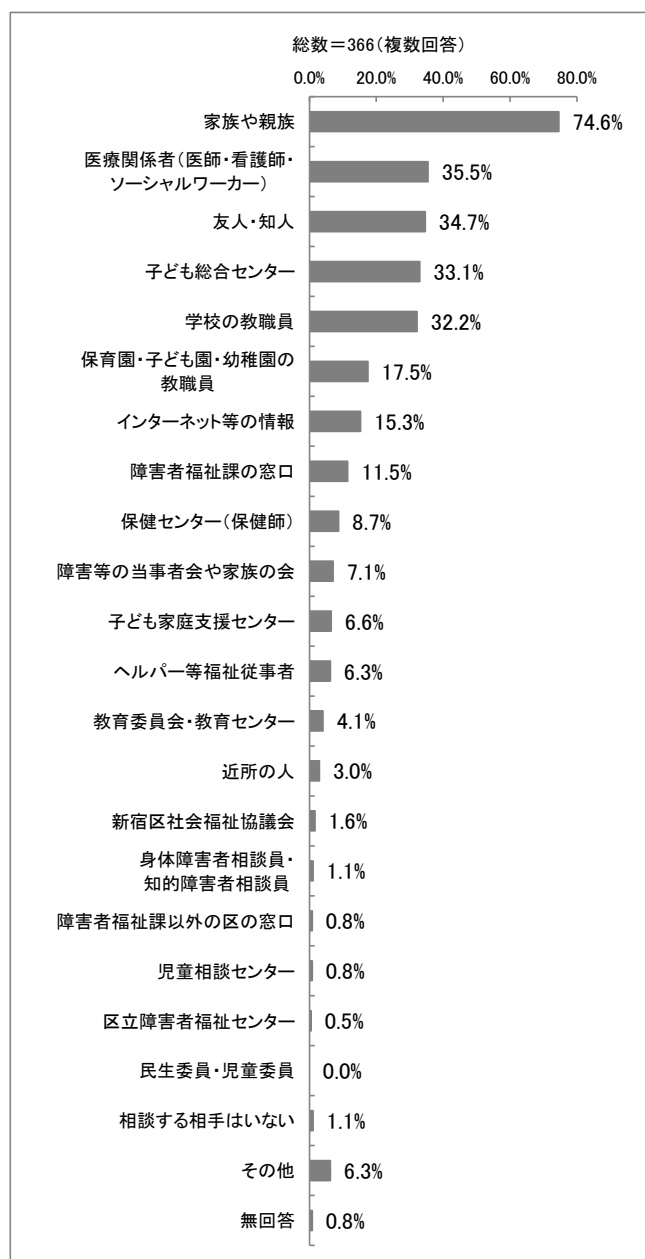
(2) 相談相手

問 21 あなたやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰ですか。

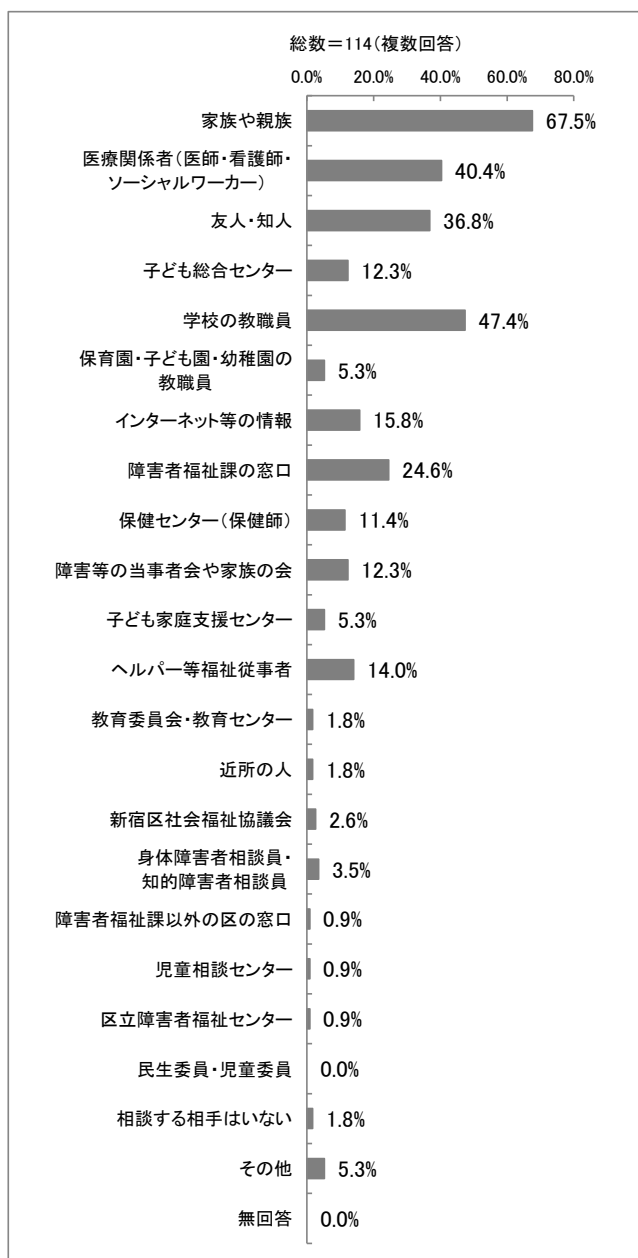
全体では、「家族や親族」が74.6%と最も多く、次いで「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が35.5%、「友人・知人」が34.7%となっています。知的障害では「学校の教職員」が、発達障害、その他の児童では「子ども総合センター」が多くなっています。

■全体

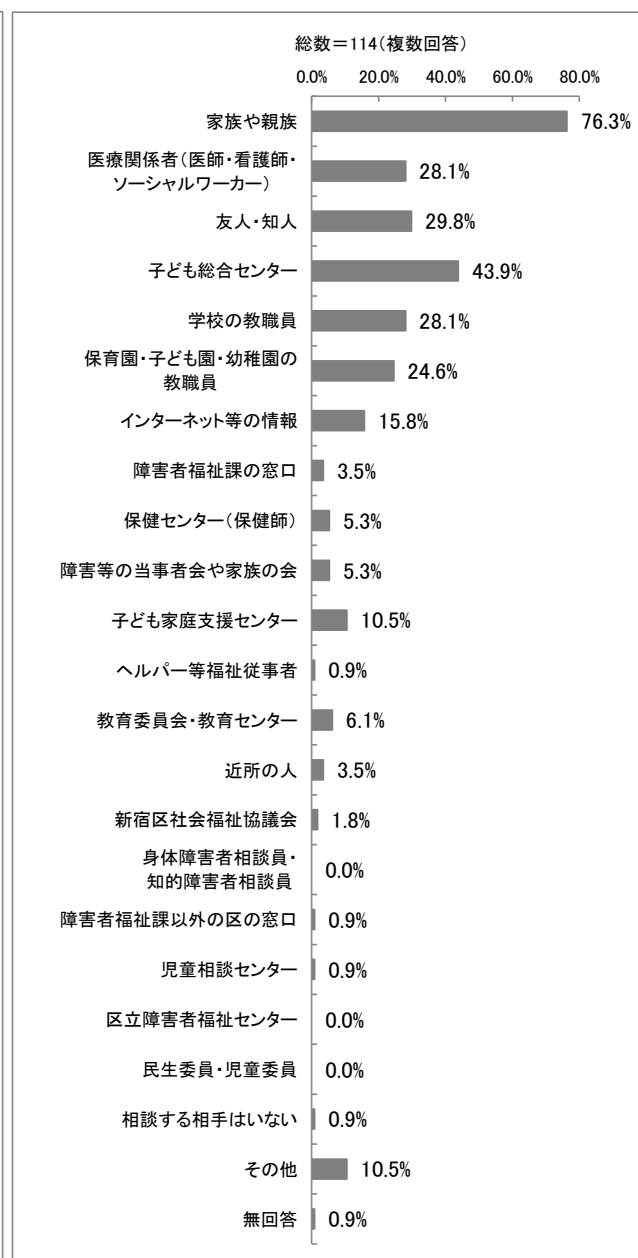
■身体障害



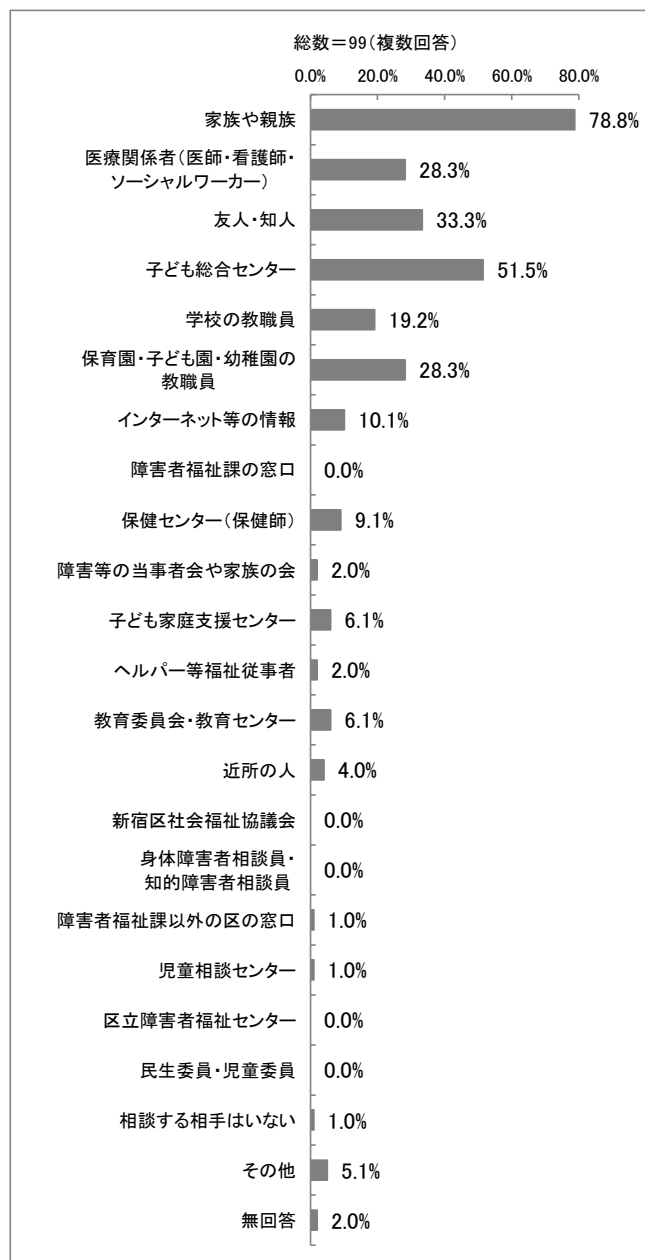
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



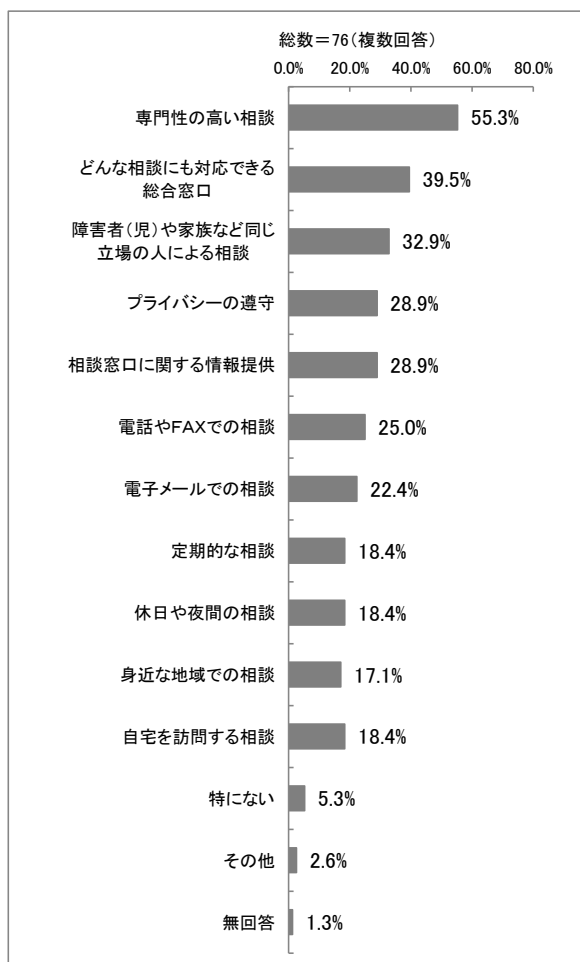
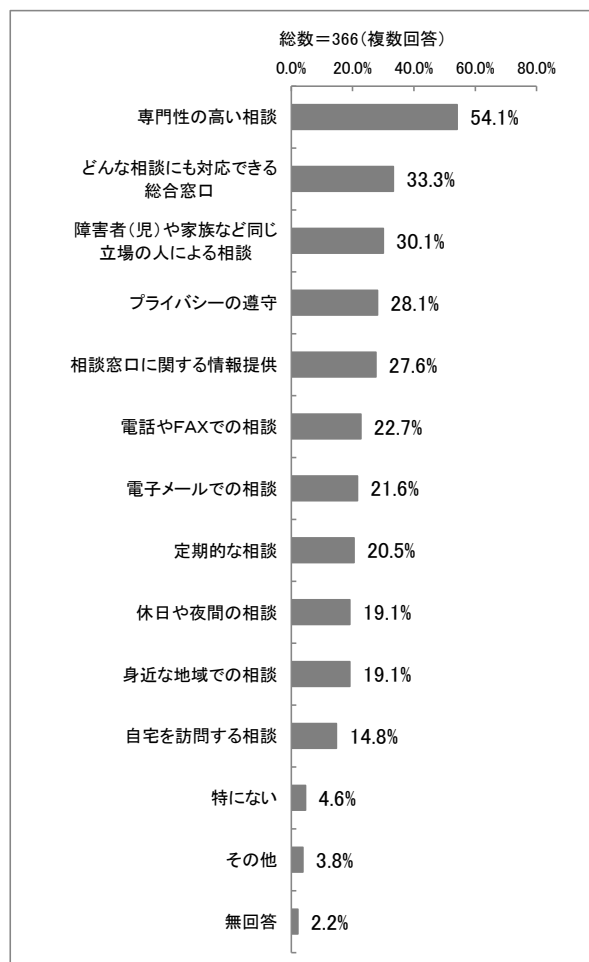
(3) 気軽に相談するために必要なこと

問 22 あなたやご家族の方は、区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

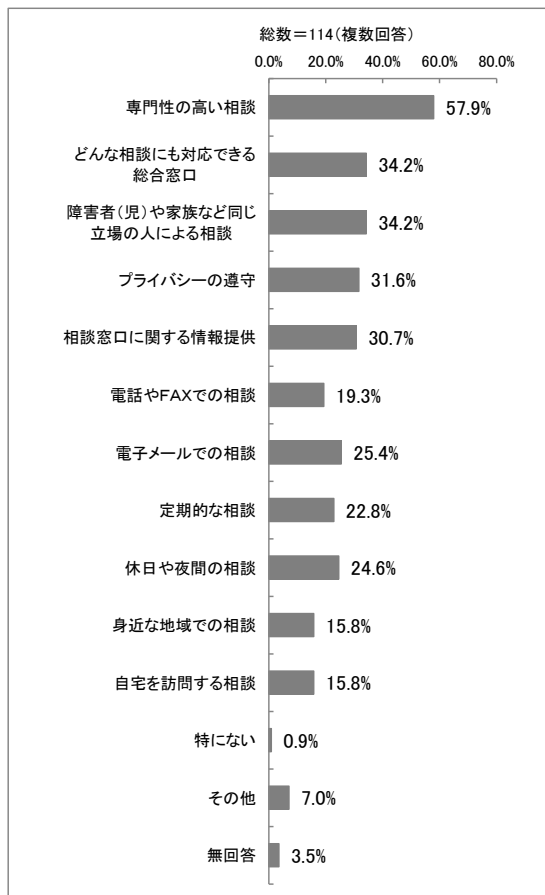
全体では、「専門性の高い相談」が 54.1%と最も高く、次いで「どんな相談にも対応できる相談窓口」が 33.3%、「障害者（児）や家族など同じ立場の人による相談」が 30.1%となっています。

■全体

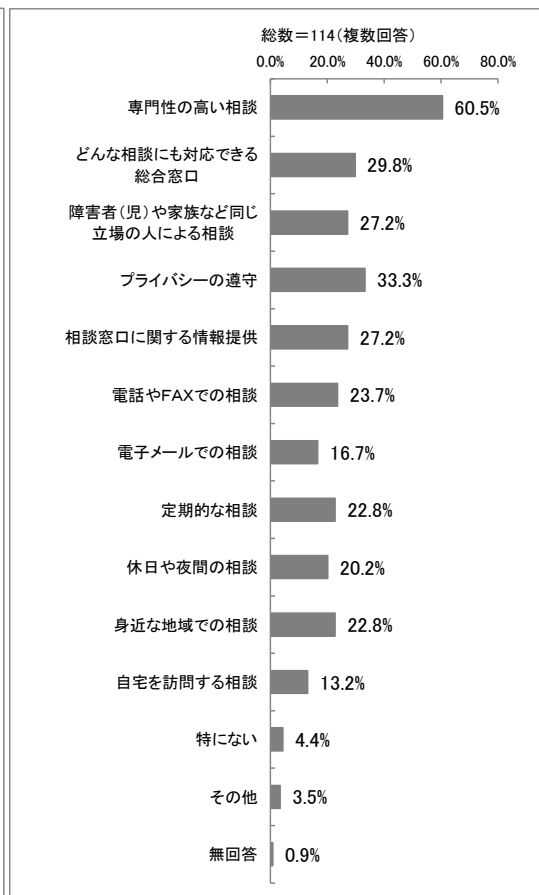
■身体障害



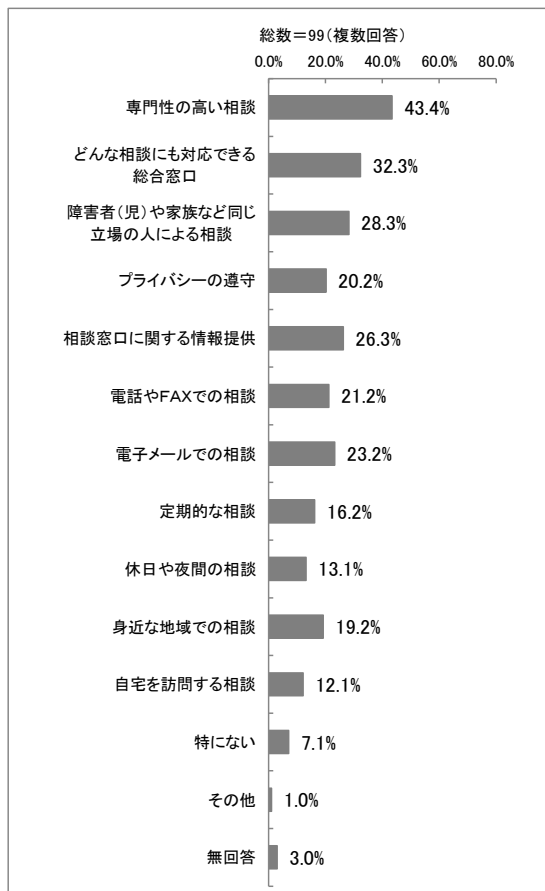
■知的障害



■発達障害



■その他の児童

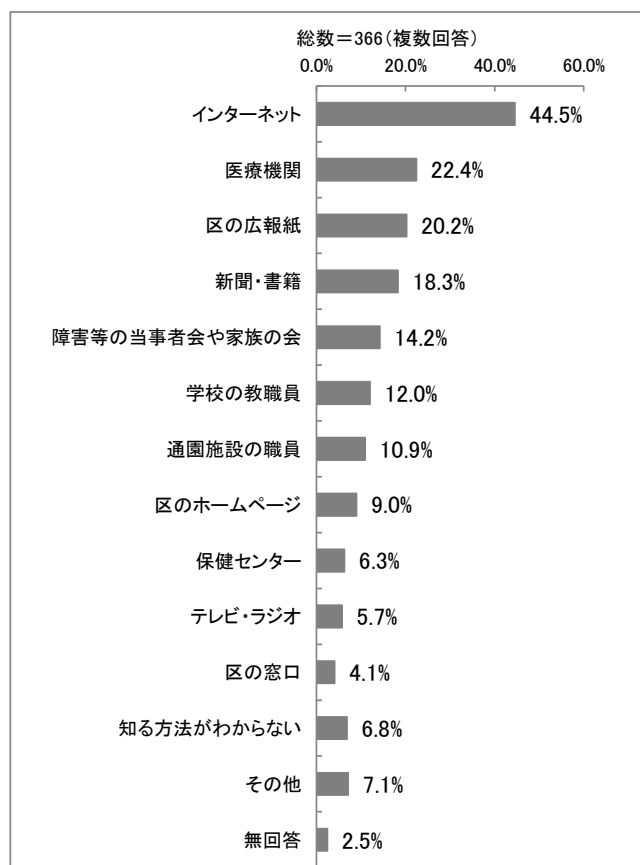


(4) 福祉情報の入手先

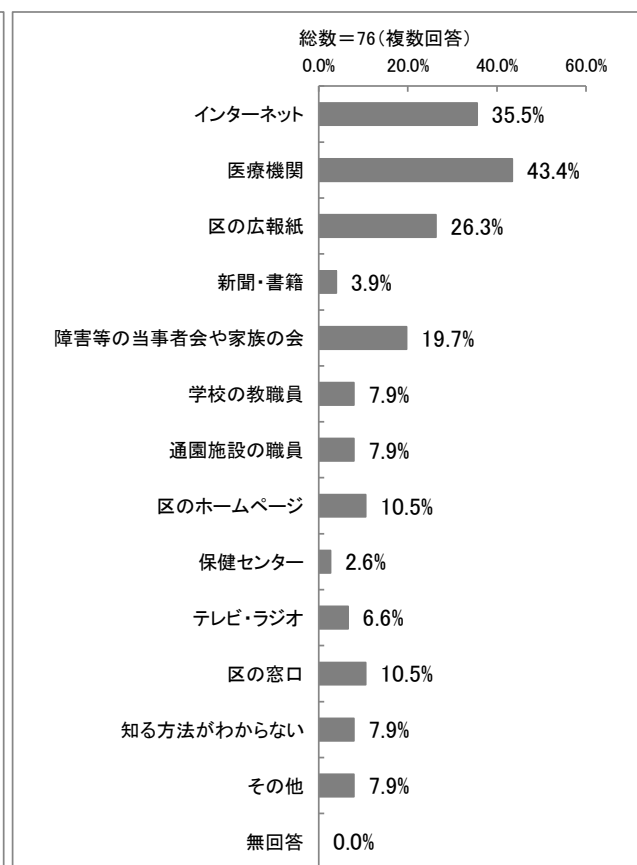
問 23 あなたやご家族の方は、障害に関する知識や福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。

全体では、「インターネット」が 44.5%と最も多く、次いで「医療機関」が 22.4%、「区の広報紙」が 20.2%となっています。障害別に見ると、身体障害では「医療機関」が多くなっています。

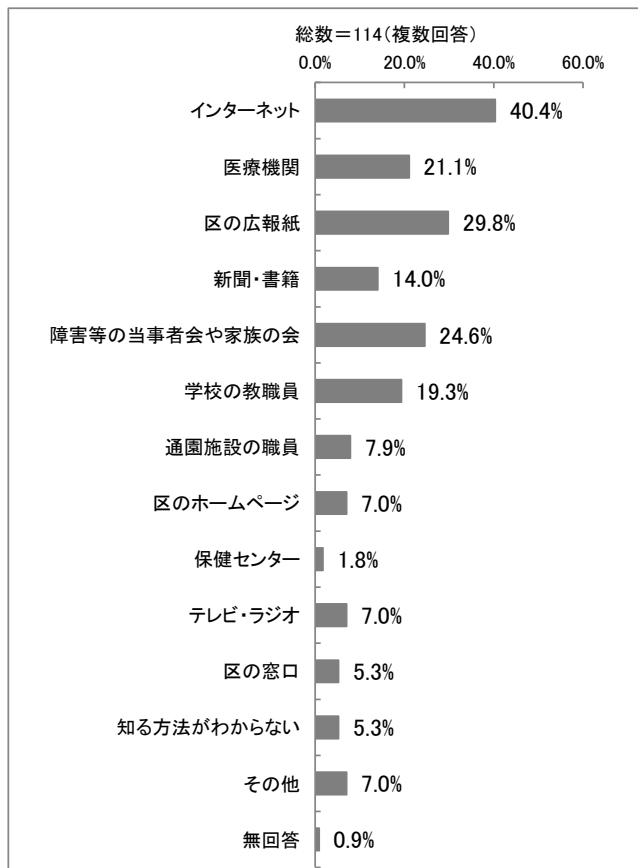
■全体



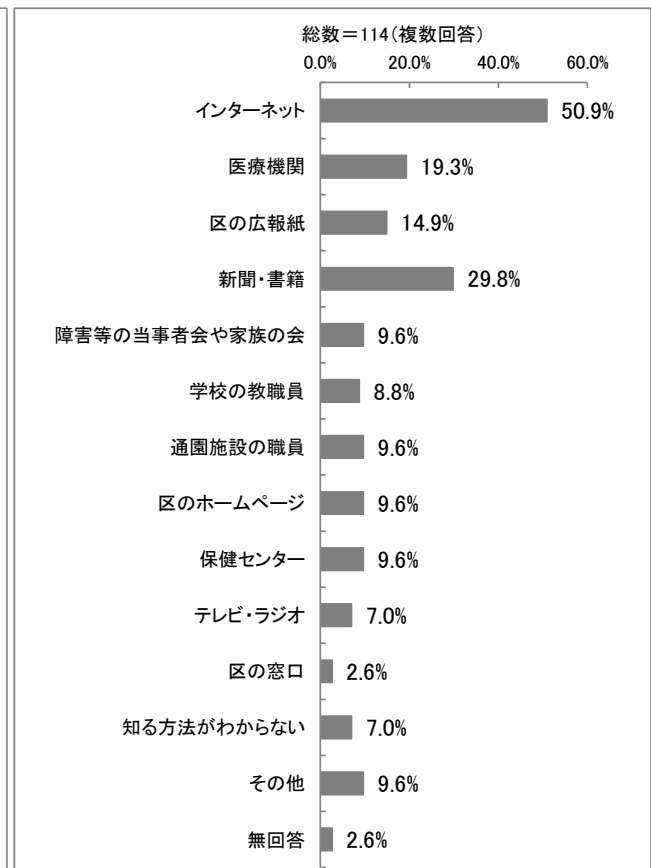
■身体障害



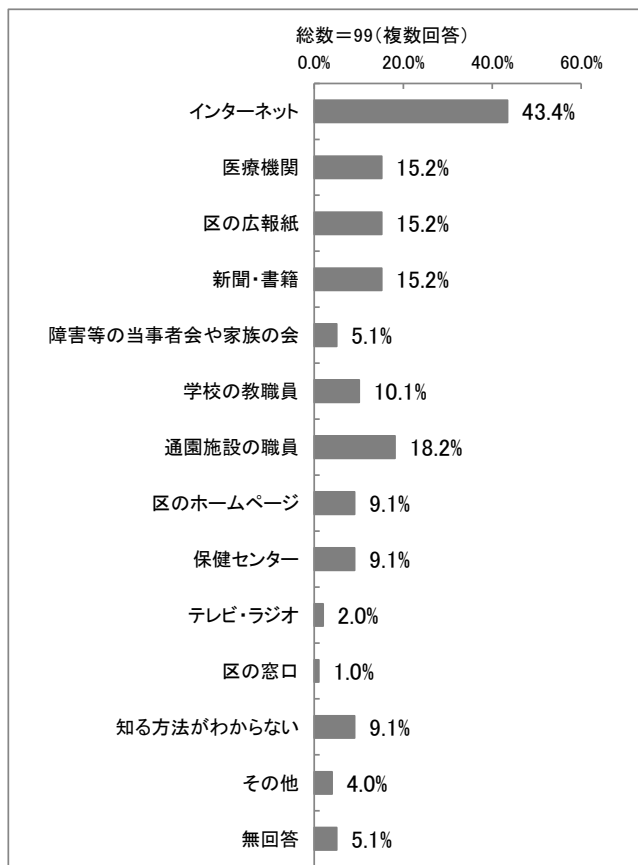
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



4) 教育・保育について

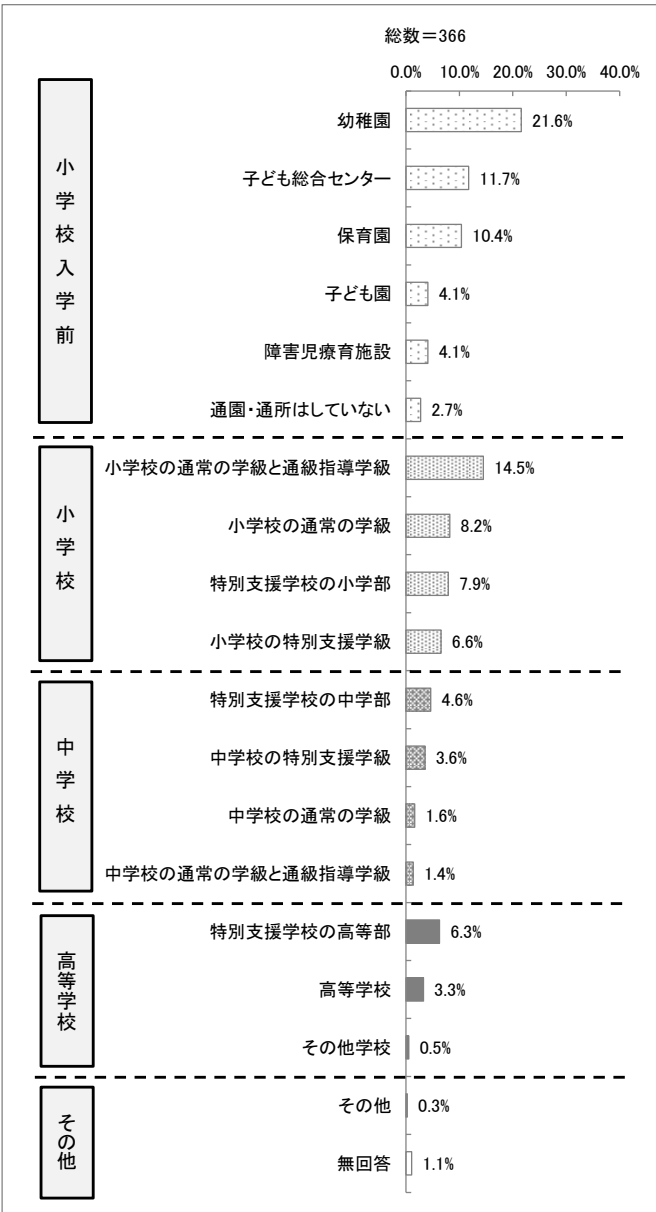
(1) 主な通園・通学先

問 24 あなたが主に通園・通学などを行っているところをお聞きます。

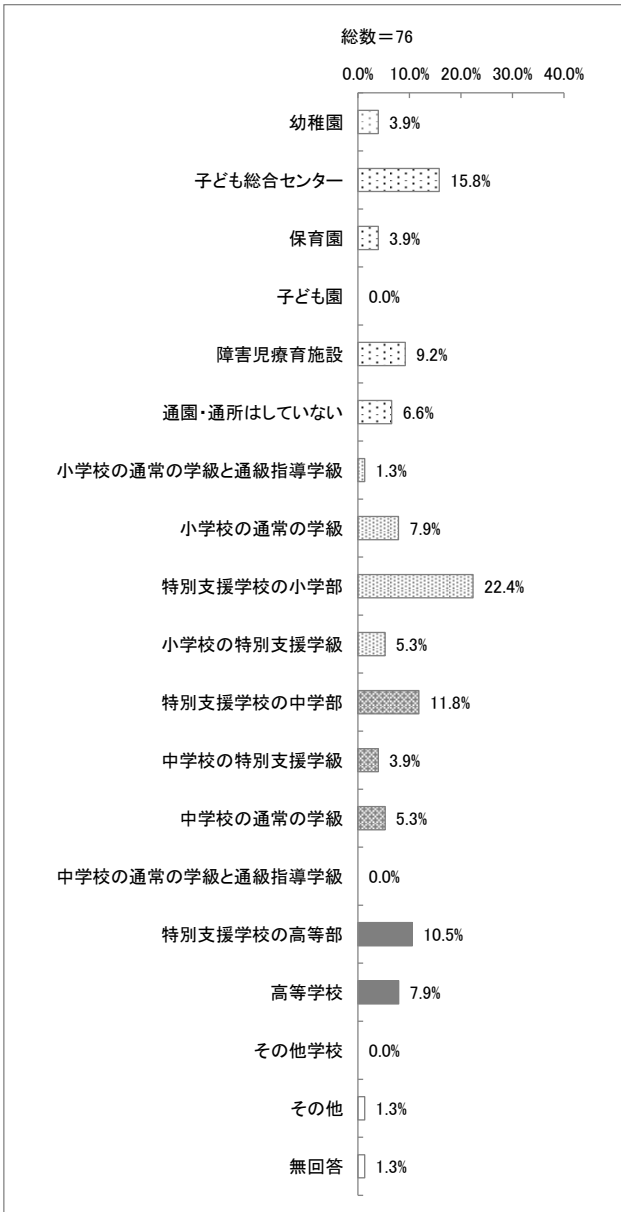
全体では、「幼稚園」が 21.6%と最も多く、次いで「小学校の通常の学級と通級指導学級」、「子ども総合センター」となっています。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

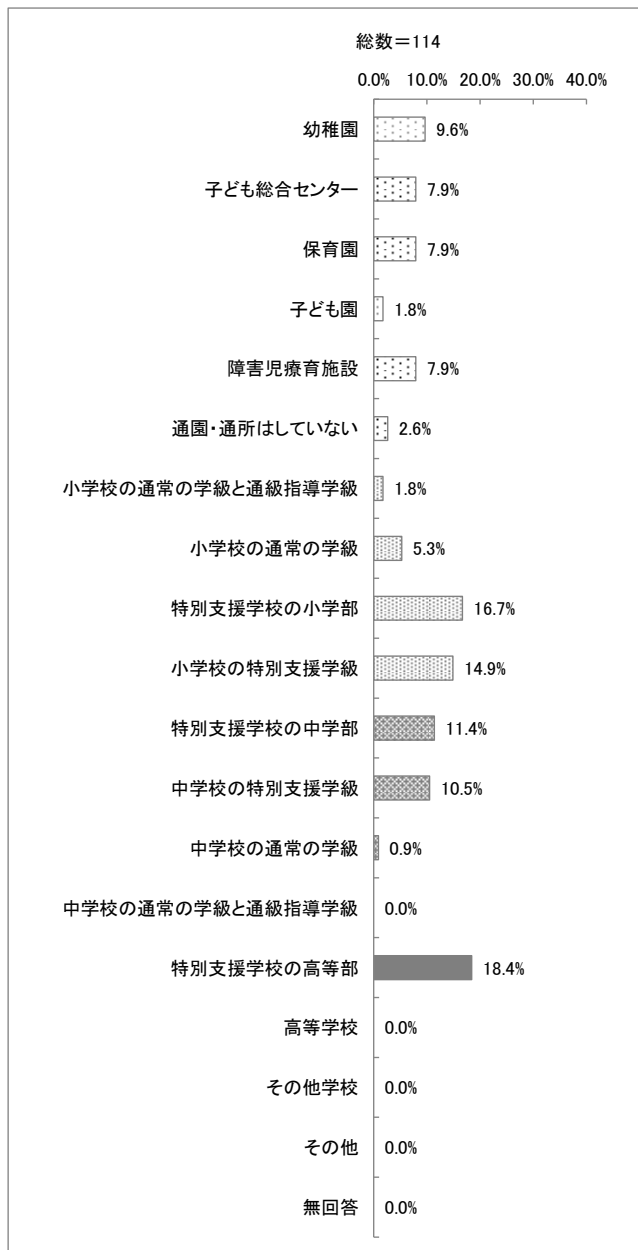
■全体



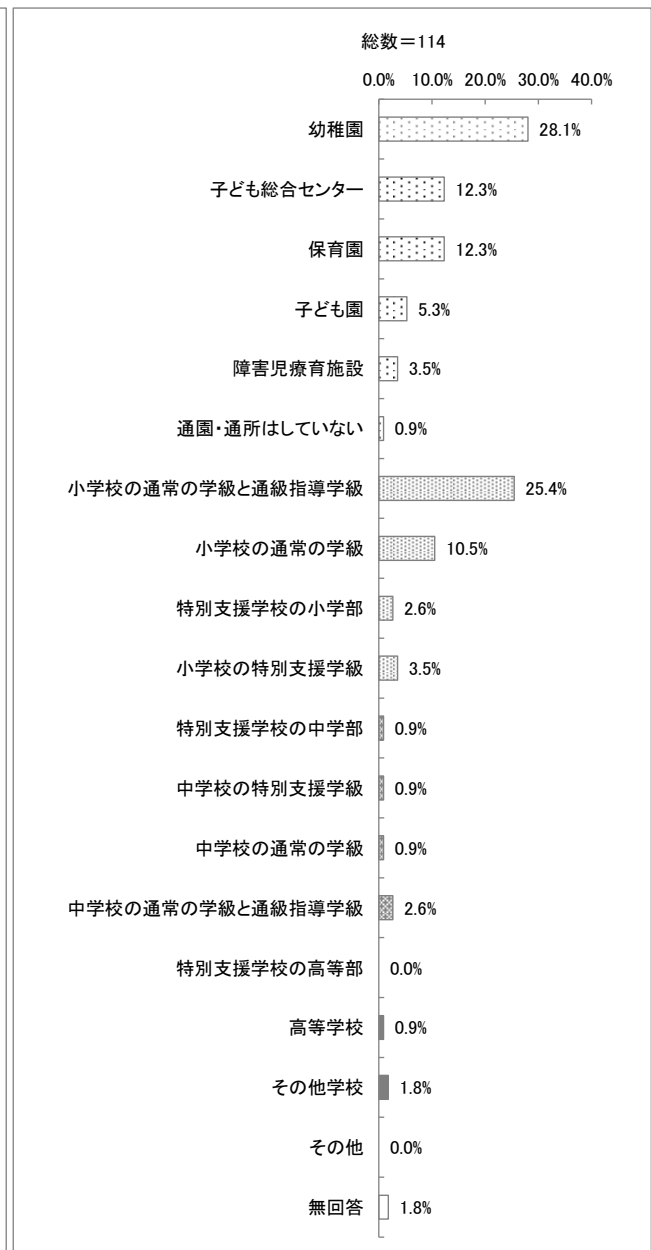
■身体障害



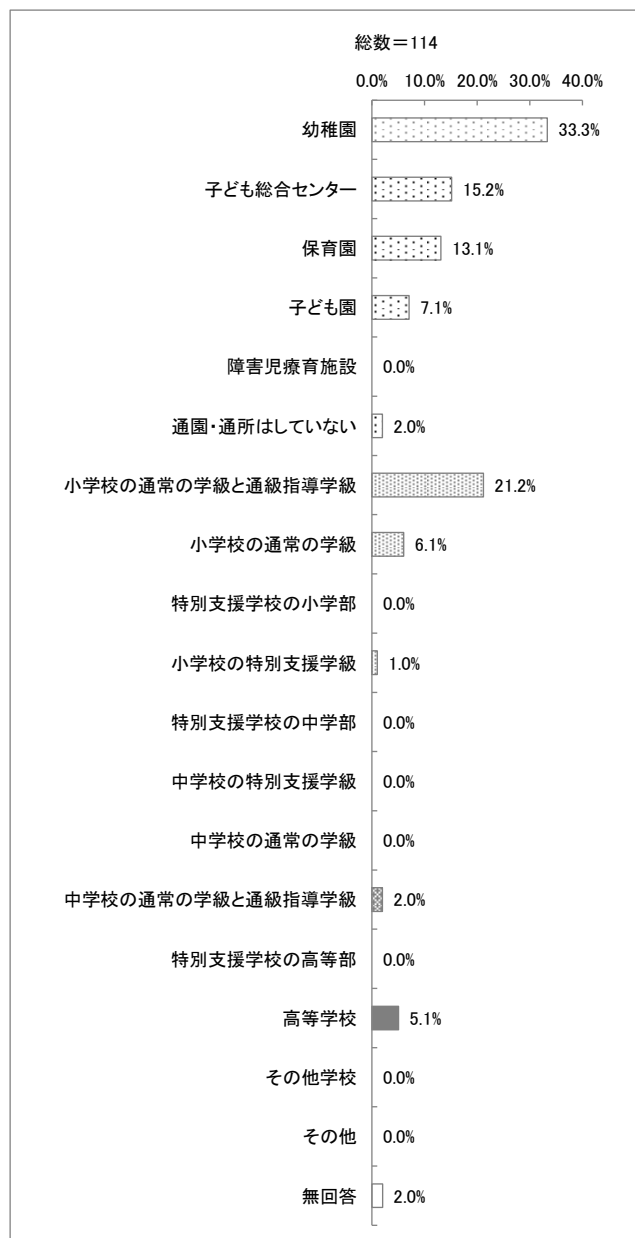
知的障害



発達障害



■その他の児童



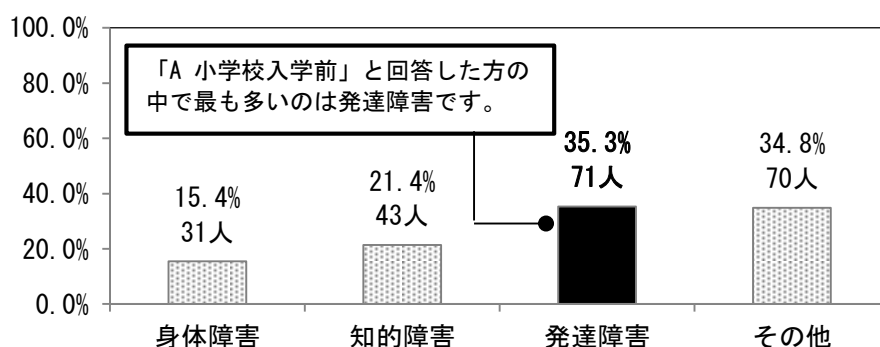
(2) 通園生活や今後の進路等で困っていること(小学校入学前)

問 25 問 24 で「小学校入学前」と回答した方のご家族の方にお聞きます。

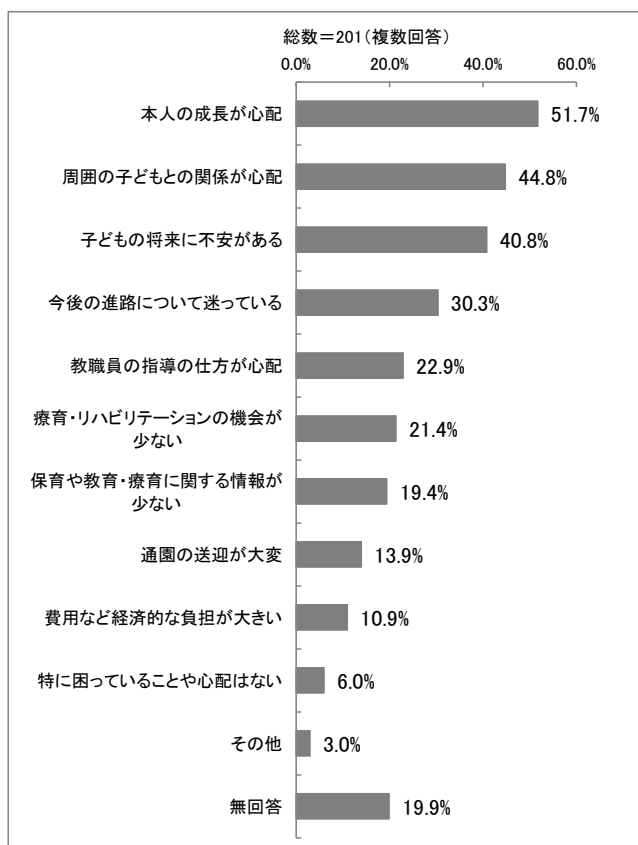
通園生活や今後の進路等で困っていることや心配していることはありますか。

全体では、「本人の成長が心配」が 51.7%、「周囲の子どもとの関係が心配」が 44.8%、「子どもの将来に不安がある」が 40.8%となっています。障害別に見ると、身体障害では「療育・リハビリテーションの機会が少ない」が多くなっています。

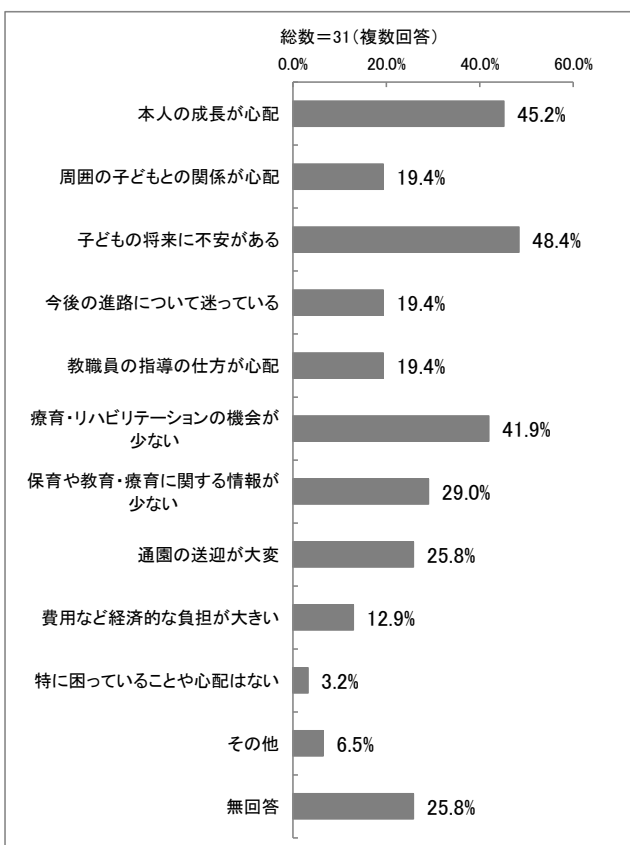
●回答者の構成（総数：201 人）※重複障害、複数回答を含むため、割合・回答数の合計は総数より多くなります。



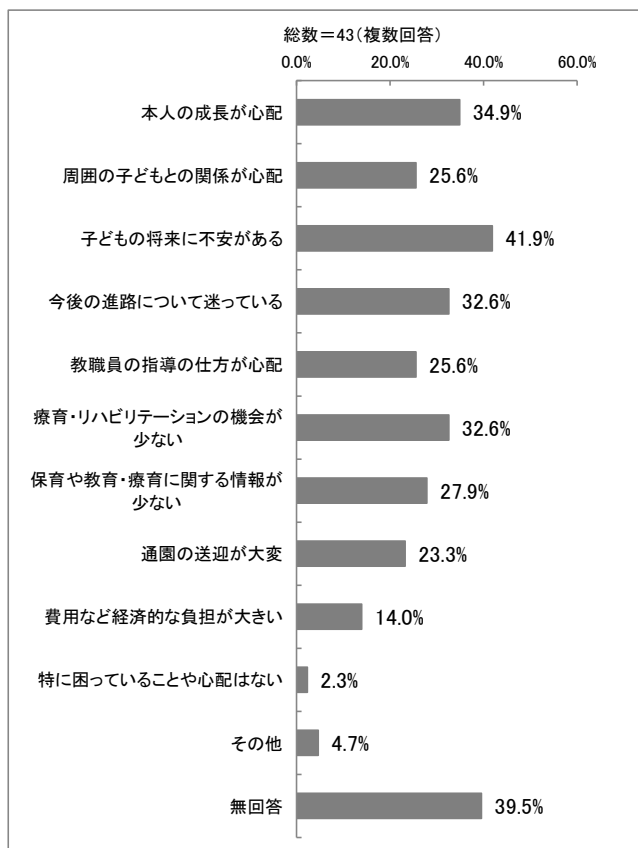
■全体



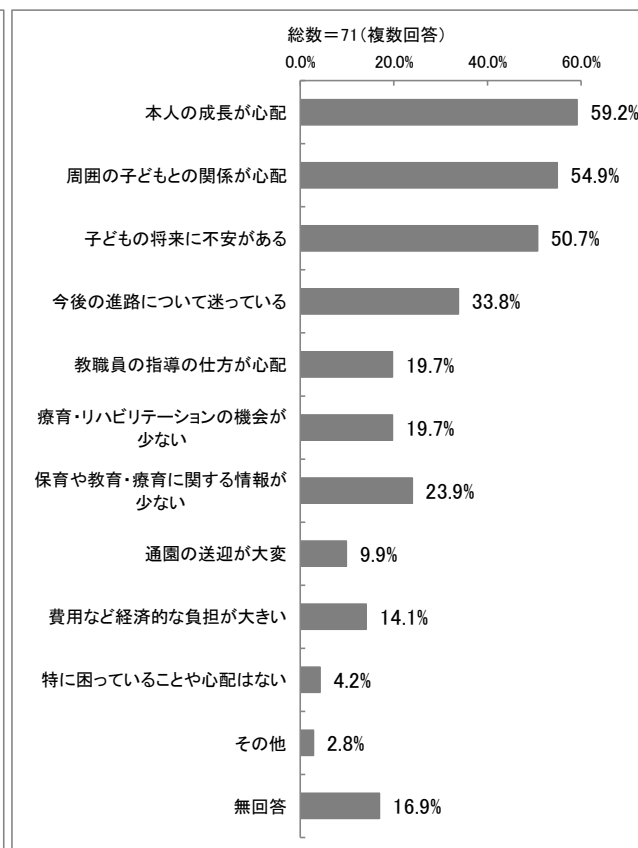
■身体障害



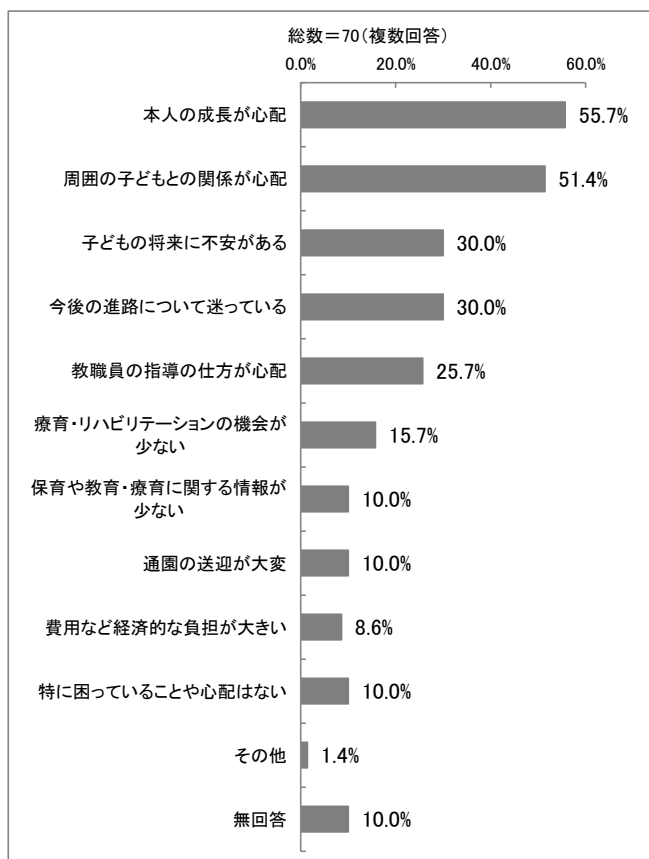
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



(3) 通園生活や今後の進路等でご家族の方が困っていること(小学校入学前)

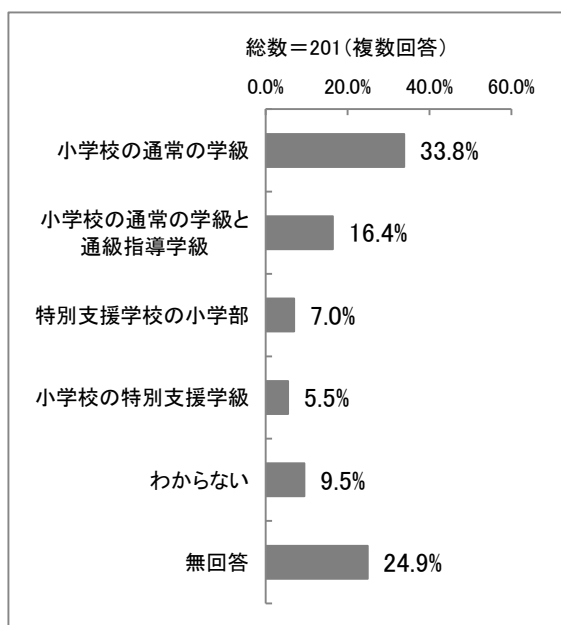
問 26 問 24 で「小学校入学前」と回答した方のご家族の方にお聞きます。

小学校はどの教育機関を希望しますか。

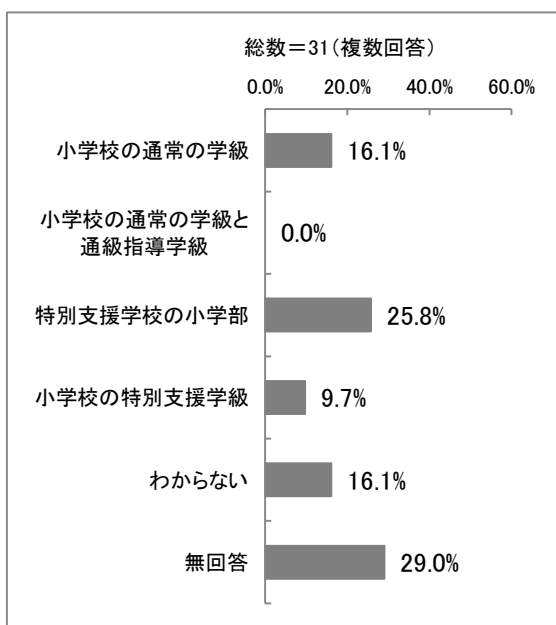
全体では、「小学校の通常の学級」が 33.8%と最も多く、次いで「小学校の通常の学級と通級指導学級」が 16.4%、「特別支援学校の小学部」が 7.0%となっています。障害別に見ると、身体障害では「特別支援学校の小学部」が、知的障害では「小学校の特別支援学級」が多くなっています。

●回答者の構成は問 25 と同じです。

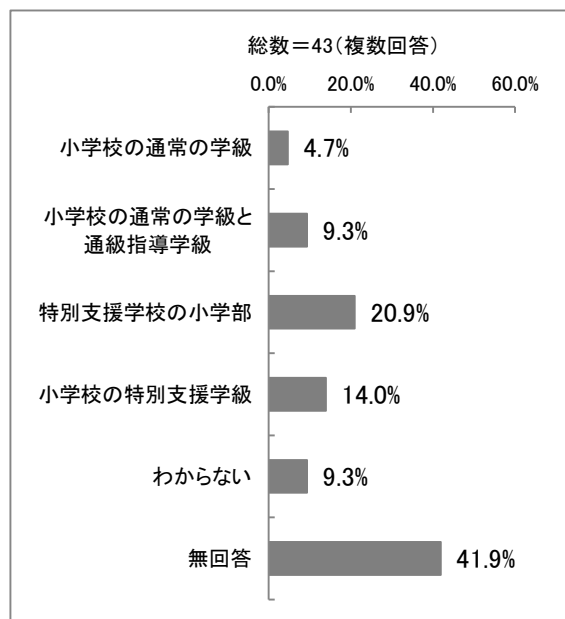
■全体



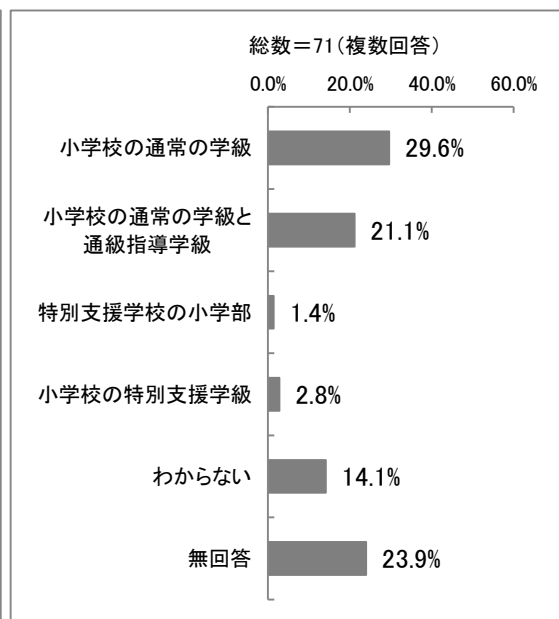
■身体障害



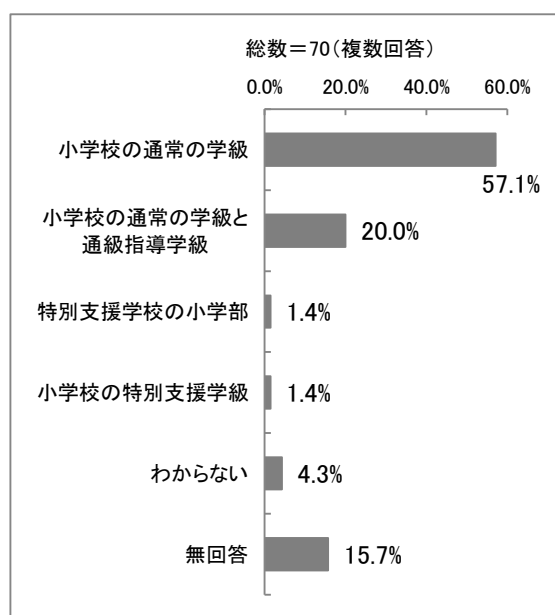
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



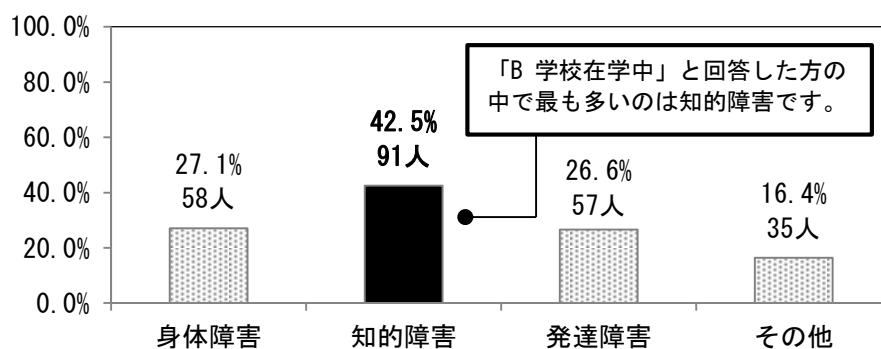
(4) 通学生活等で困っていること(学校在学中)

問 27 問 24 で「学校在学中」と回答した方のご家族の方にお聞きます。

通学生活等で困っていることや心配していることはありますか。

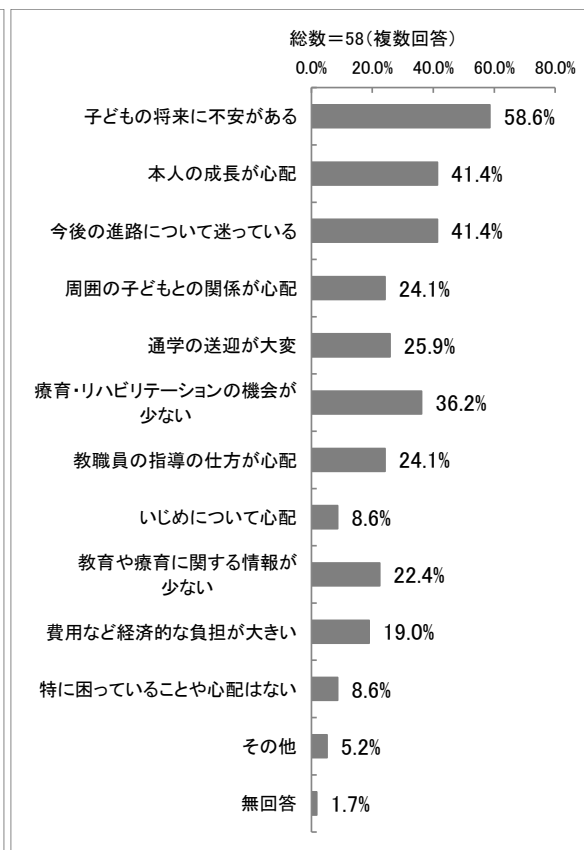
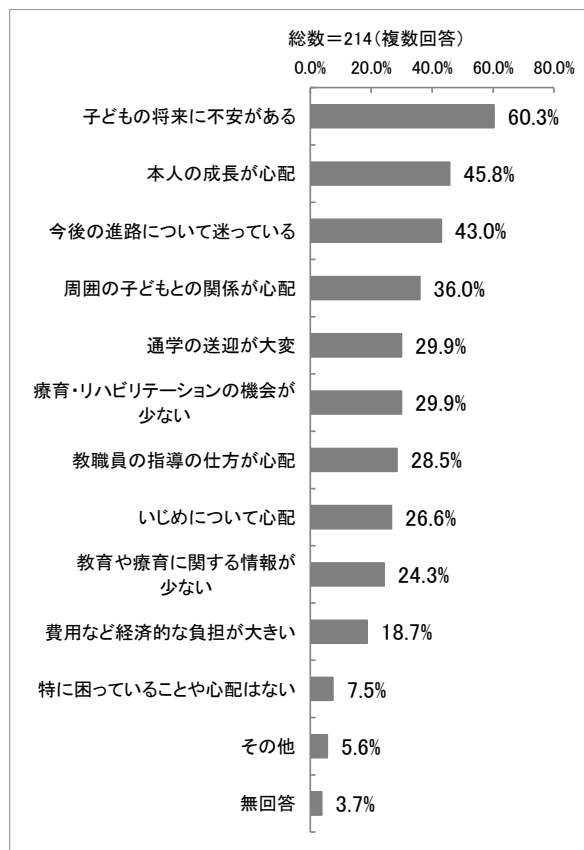
全体では「子どもの将来に不安がある」が 60.3%、「本人の成長が心配」が 45.8%、「今後の進路について迷っている」が 43.0%となっています。障害別に見ると、発達障害、その他の児童では「周囲の子どもとの関係が心配」、「いじめについて心配」がやや多くなっています。

●回答者の構成（総数：214 人）※重複障害、複数回答を含むため、割合・回答数の合計は総数より多くなります。

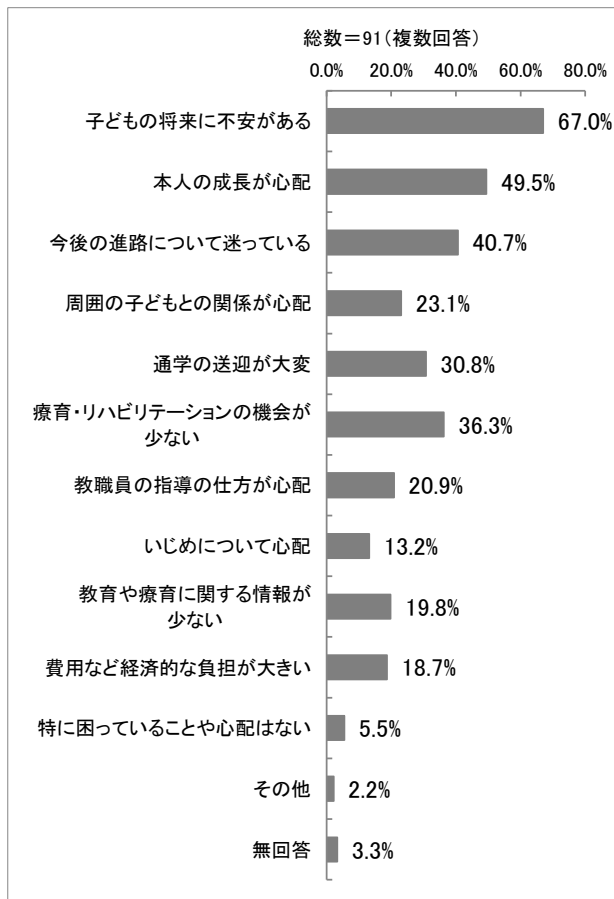


■全体

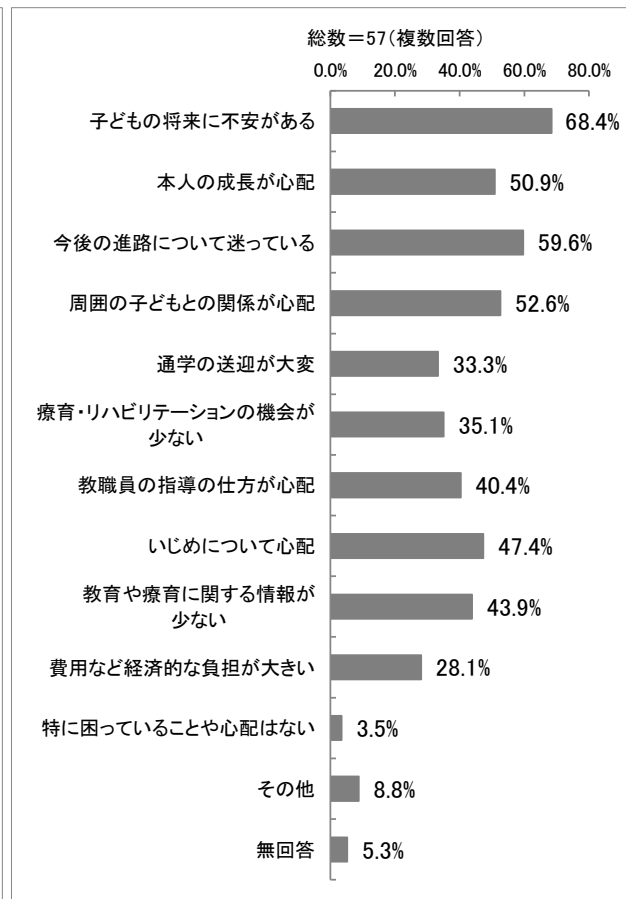
■身体障害



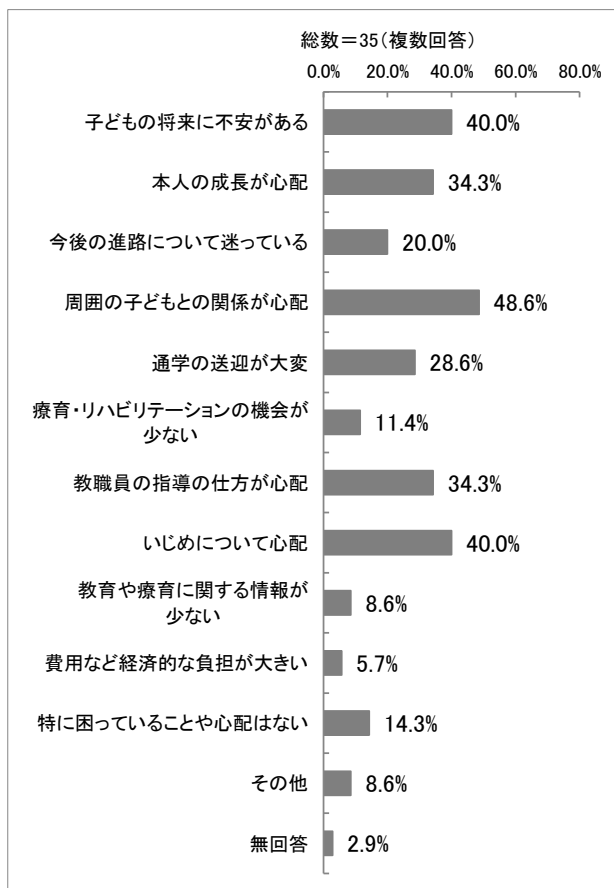
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



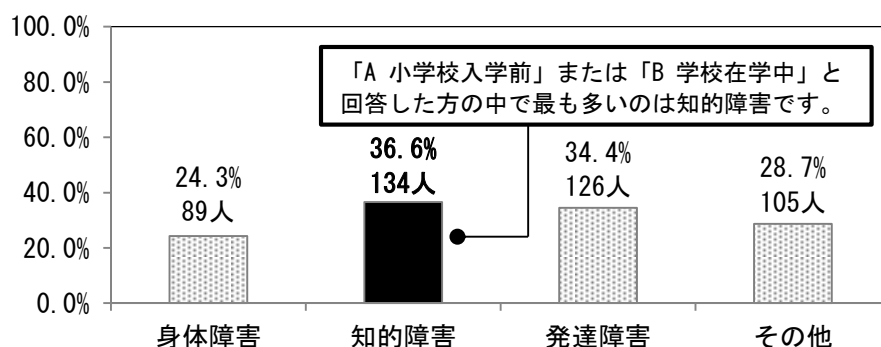
(5) 放課後や長期休業中の過ごし方

問 28 問 24 で「小学校入学前」または「学校在学中」と回答した方のご家族の方にお聞きします。

放課後や長期休業中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、どのように過ごしていますか。

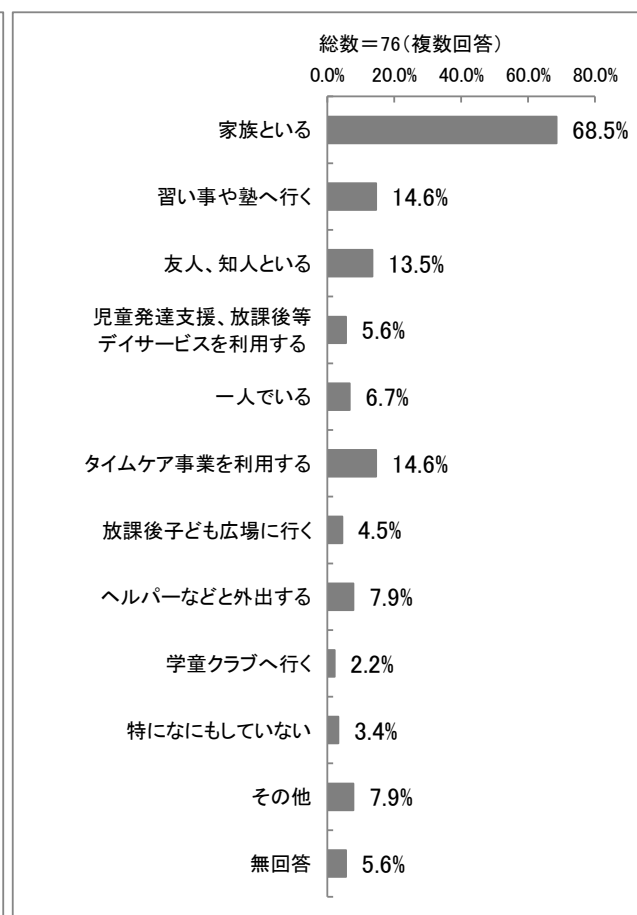
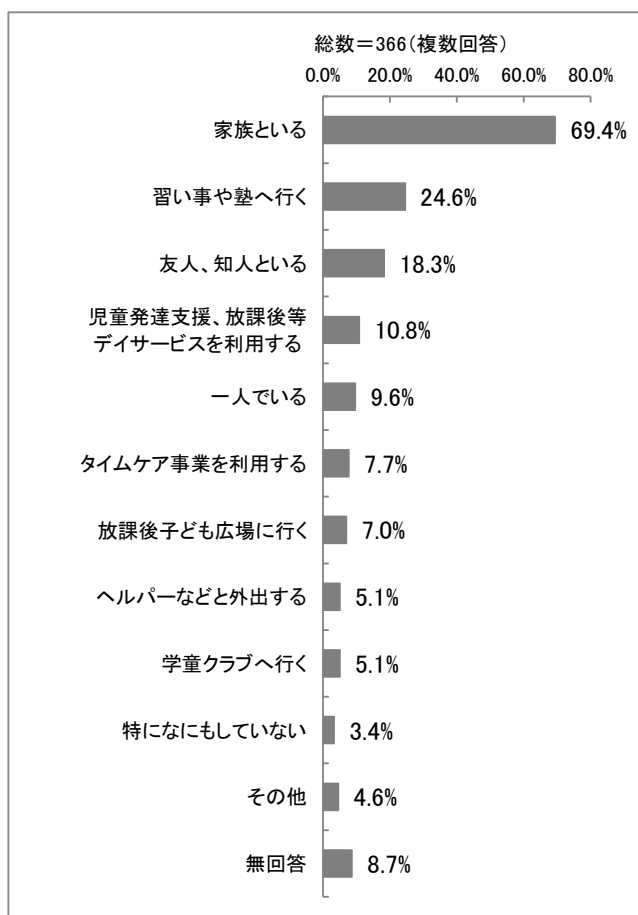
全体では、「家族といる」が 69.4%と最も多く、「習い事や塾へ行く」が 24.6%、「友人、知人といる」が 18.3%となっています。障害別に見ると、身体障害、知的障害では「タイムケア事業を利用する」がやや多くなっています。

●回答者の構成（総数：366 人）※重複障害、複数回答を含むため、割合・回答数の合計は総数より多くなります。

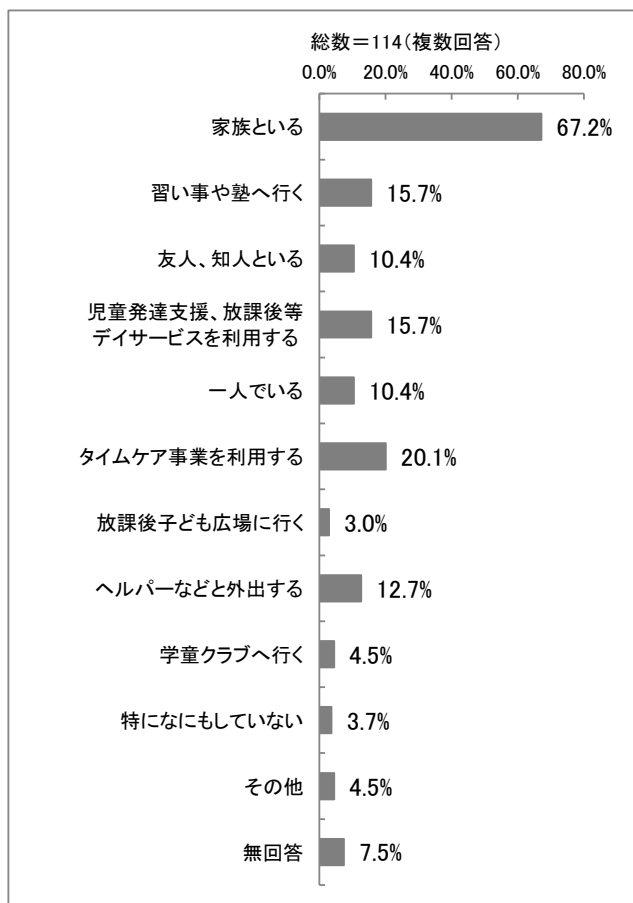


■全体

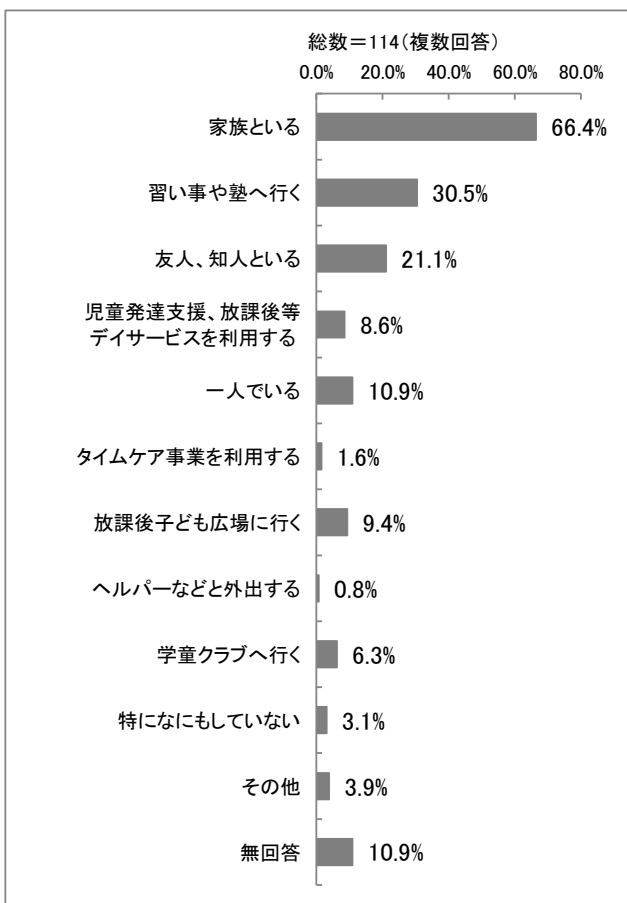
■身体障害



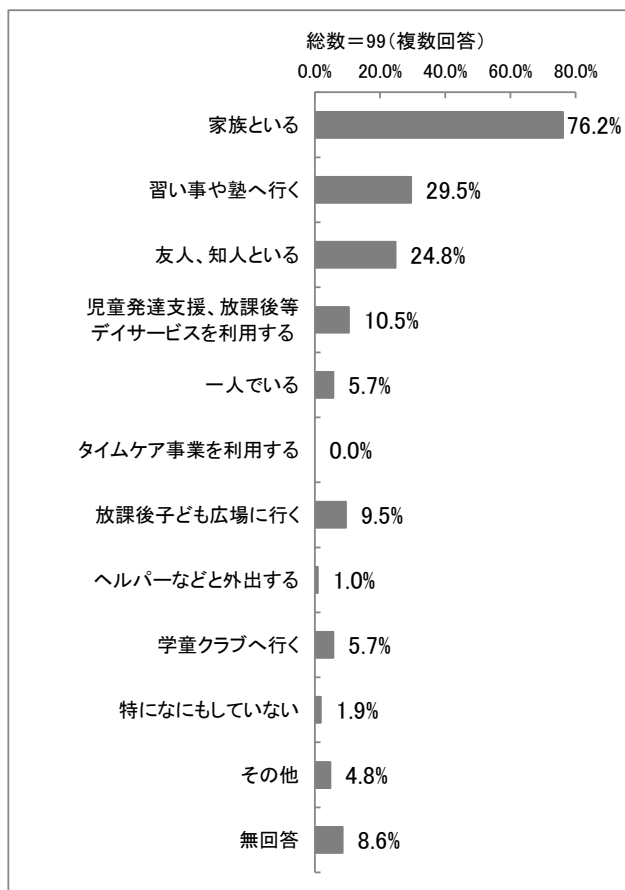
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



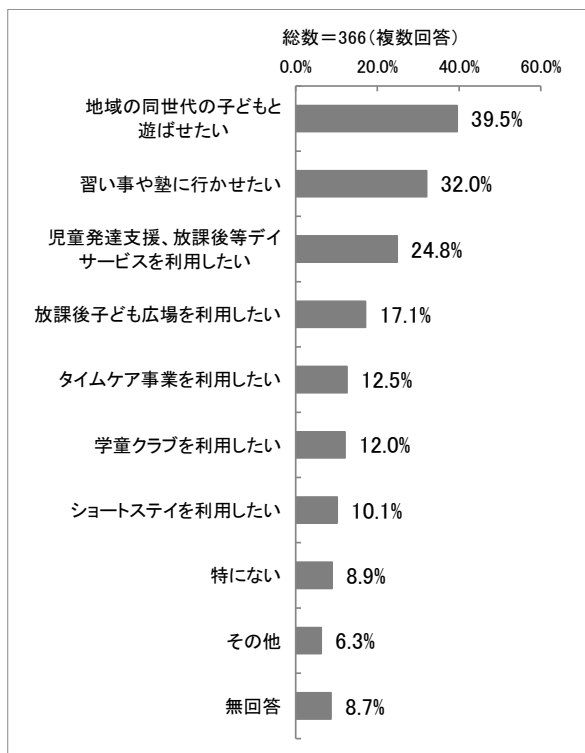
問 29 問 24 で「小学校入学前」または「学校在学中」と回答した方のご家族の方にお聞きします。

放課後や長期休業中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、どのように過ごすことを希望していますか。

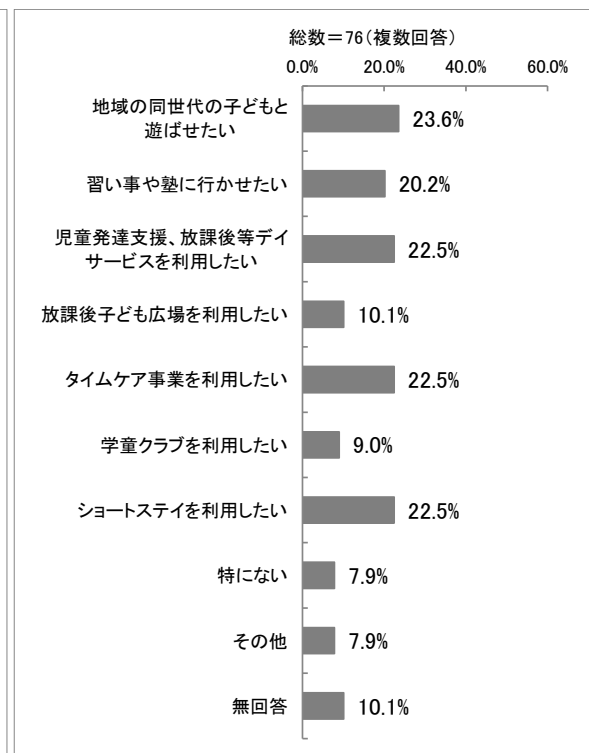
全体では、「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が 39.5%、次いで「習い事や塾に行かせたい」が 32.0%、「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用したい」が 24.8%となっています。障害別に見ると、身体障害では「ショートステイを利用したい」がやや多くなっています。

●回答者の構成は問 28 と同じです。

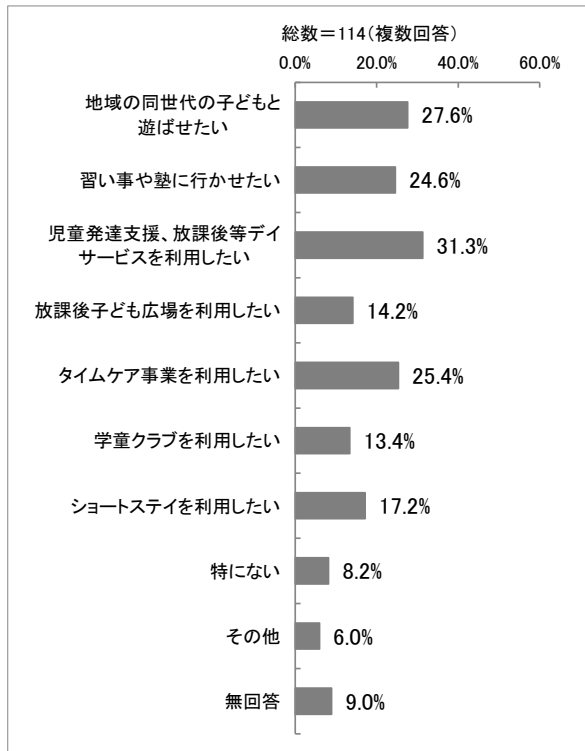
■全体



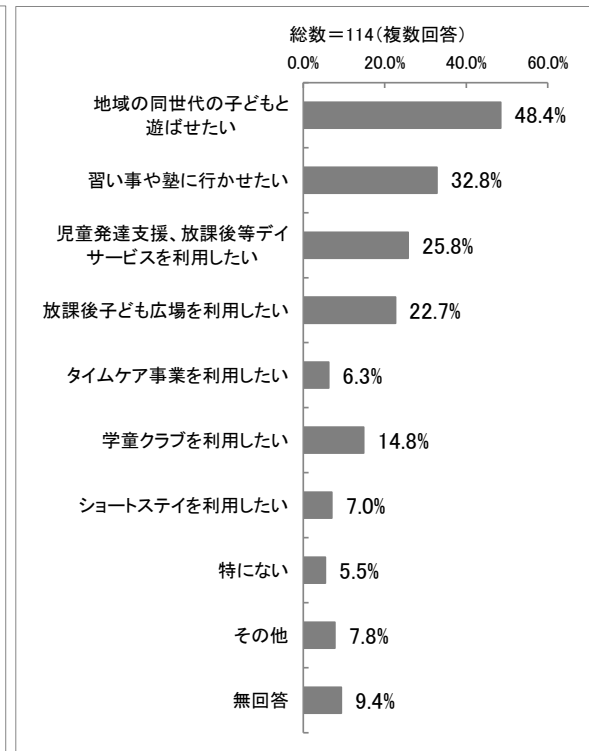
■身体障害



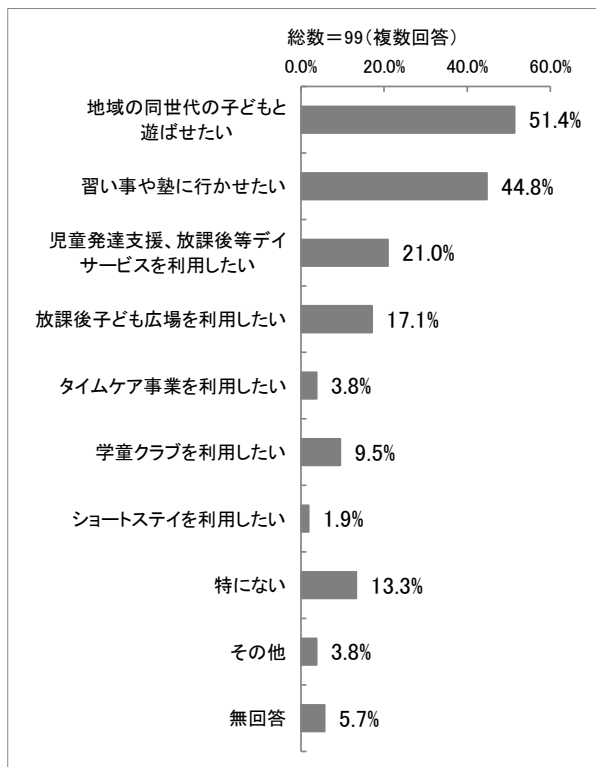
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



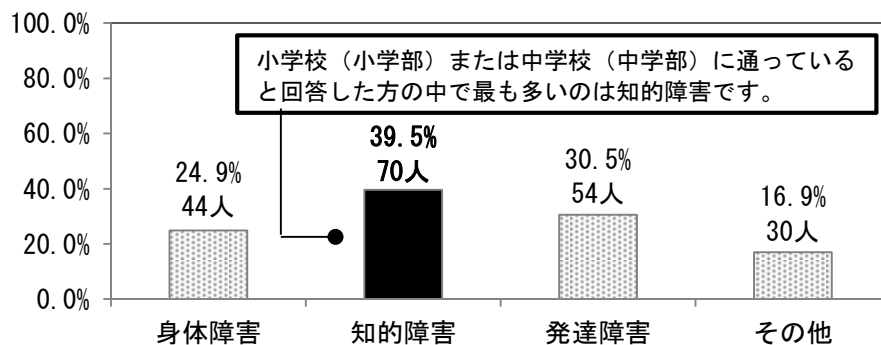
(6) 卒業後の進路

問 30 小学校(小学部)、または中学校(中学部)に通っている方のご家族の方にお聞きします。

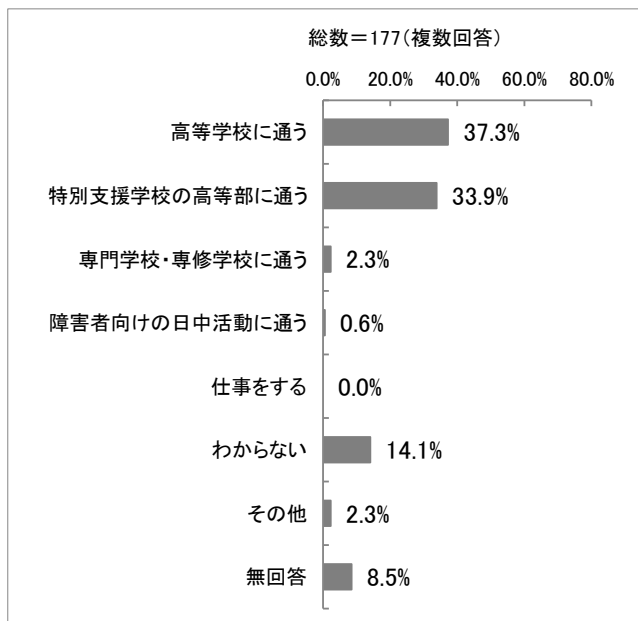
中学校(中学部)卒業後はどのような進路を希望しますか。

身体障害、知的障害では「特別支援学校の高等部に通う」が、発達障害、その他の児童では「高等学校に通う」が最も多くなっています。

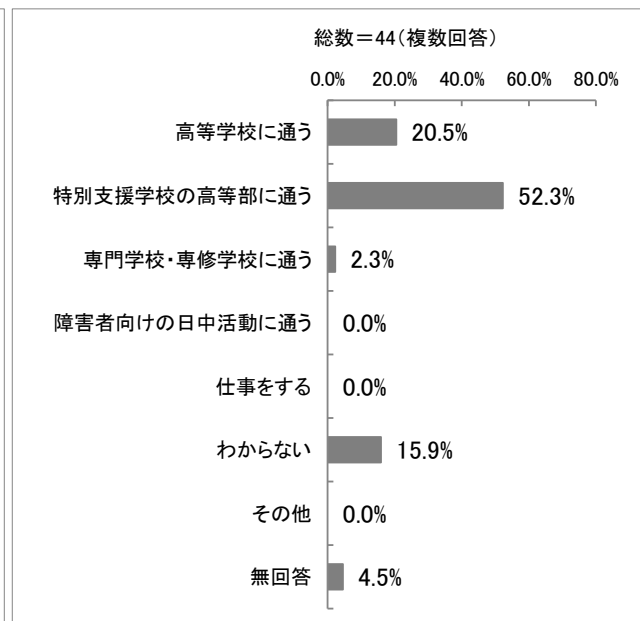
●回答者の構成(総数:177人) ※重複障害、複数回答を含むため、割合・回答数の合計は総数より多くなります。



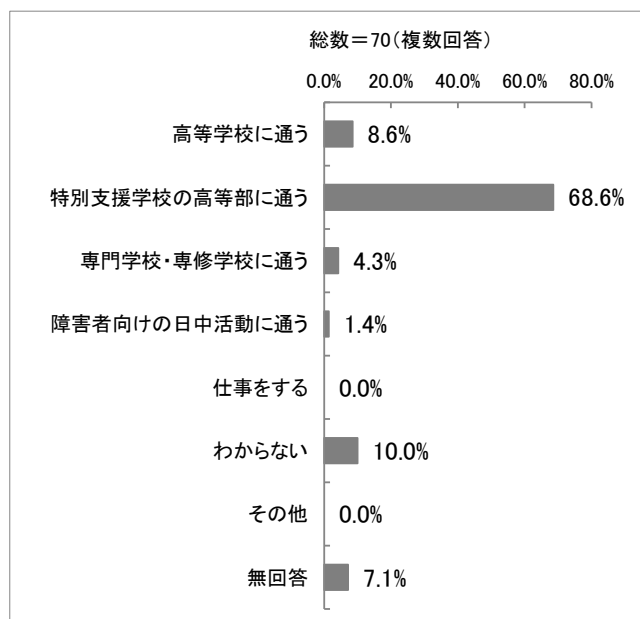
■全体



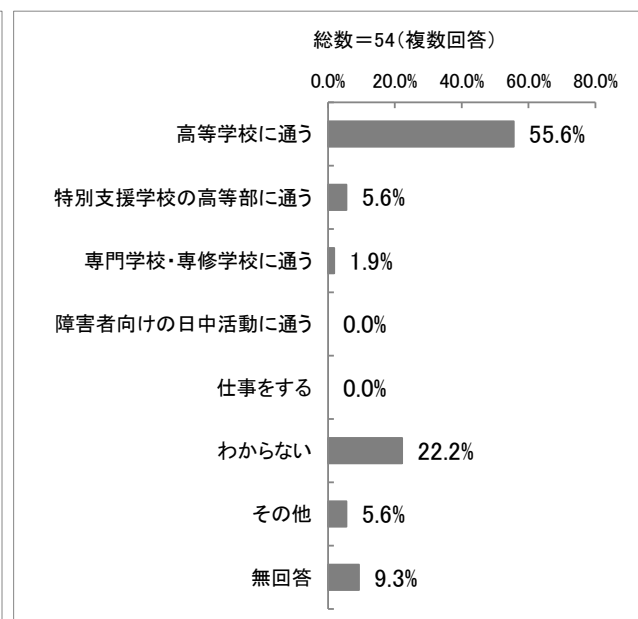
■身体障害



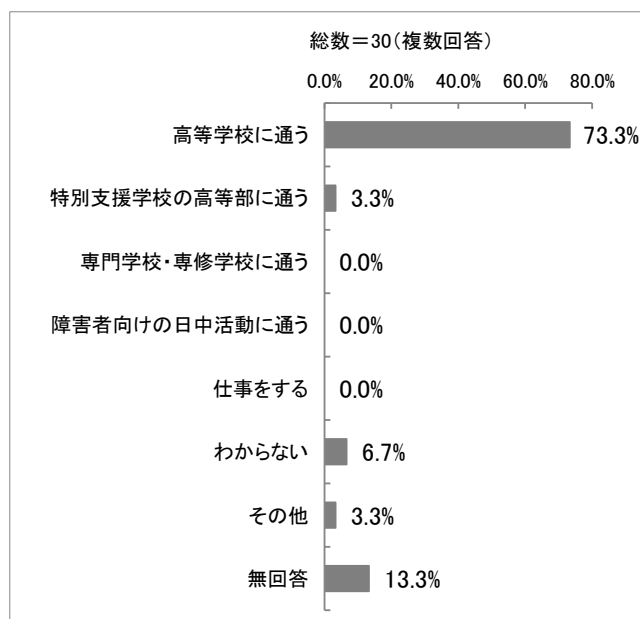
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



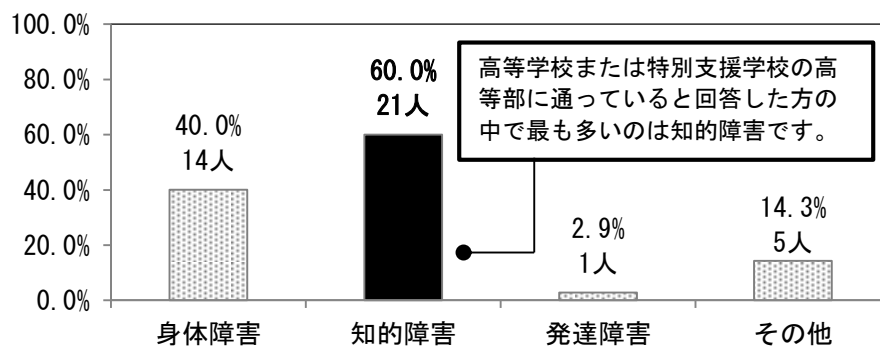
問 31 高等学校、または特別支援学校の高等部に通っている方にお聞きします。

高等学校（高等部）卒業後はどのような進路を希望しますか。

「ご本人の希望」は、「大学や短期大学へ通う」が 24.3%、「就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う」が 18.9%、「生活介護事業所へ通う」が 13.5%となっています。

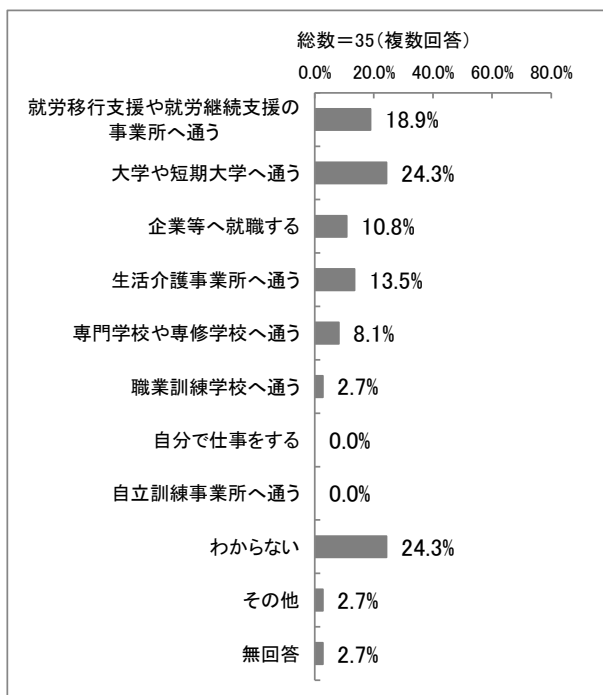
「保護者の方の希望」は、「就労移行支援や就労継続支援の事業所へ通う」が 27.0%、「大学や短期大学へ通う」、「企業等へ就職する」が 24.3%、「生活介護事業所へ通う」が 18.9%となっています。

●回答者の構成（総数：35 人）※重複障害、複数回答を含むため、割合・回答数の合計は総数より多くなります。

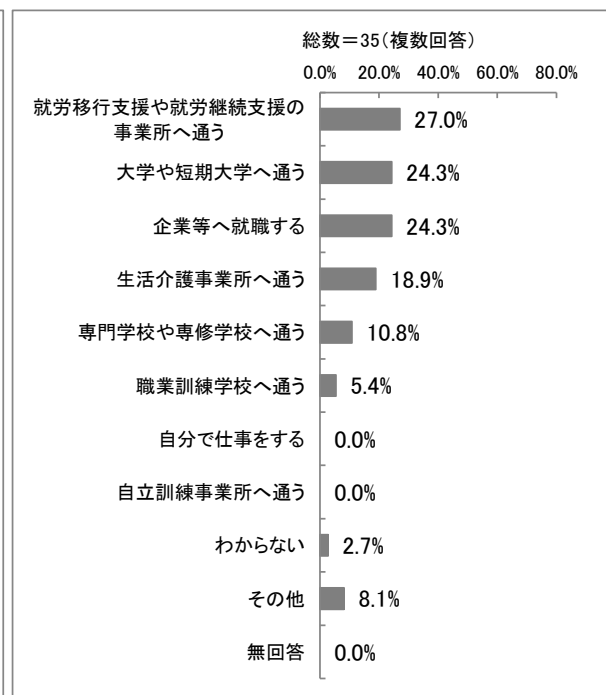


■全体

ご本人の希望

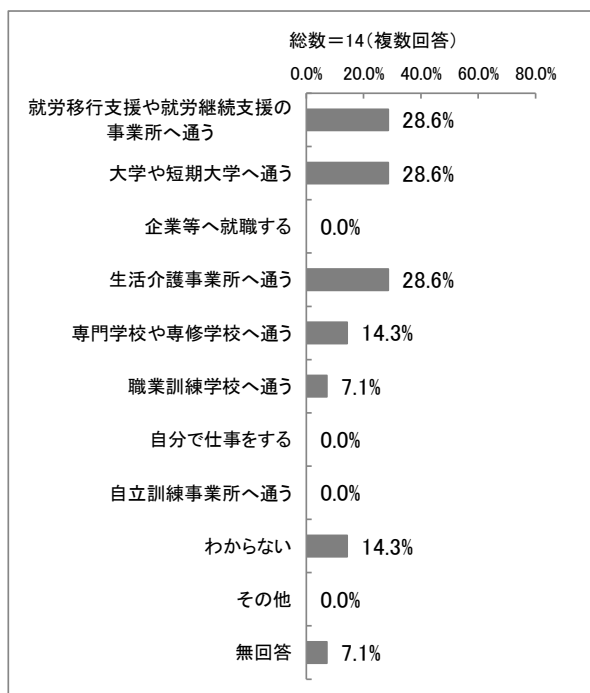


保護者の方の希望

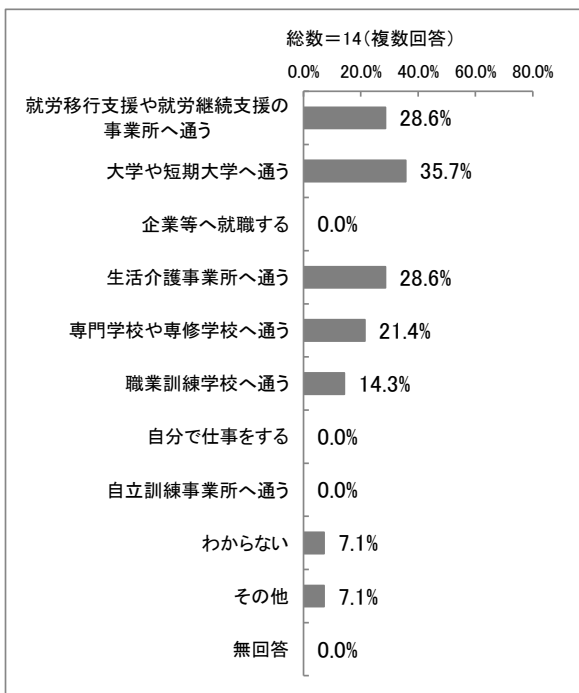


■身体障害

ご本人の希望

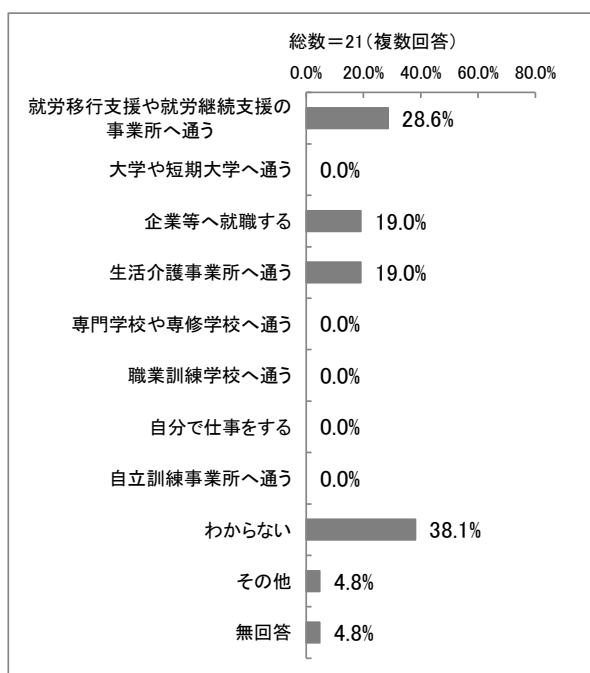


保護者の方の希望

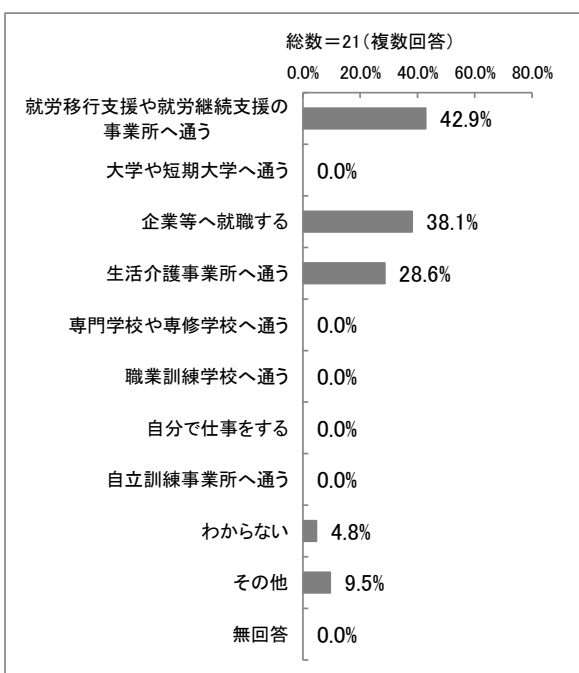


■知的障害

ご本人の希望



保護者の方の希望



■発達障害(回答数1のためグラフは省略、カッコ内は回答数)

ご本人の希望：「大学や短期大学へ通う」(1)、保護者の方の希望：「企業等へ就職する」(1)

■その他の児童(回答数5のためグラフは省略、カッコ内は回答数)

ご本人の希望…「大学や短期大学へ通う」(4)、「専門学校や専修学校へ通う」(1)

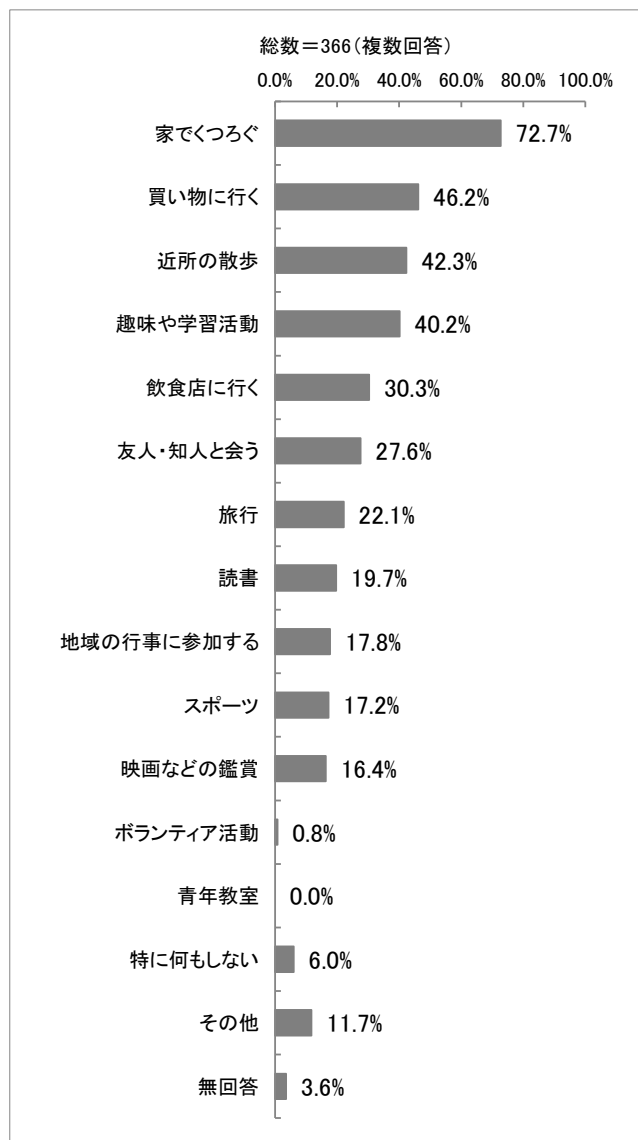
保護者の方の希望…「大学や短期大学へ通う」(4)、「専門学校や専修学校へ通う」(1)、「その他」(1)

(7) 余暇の過ごし方

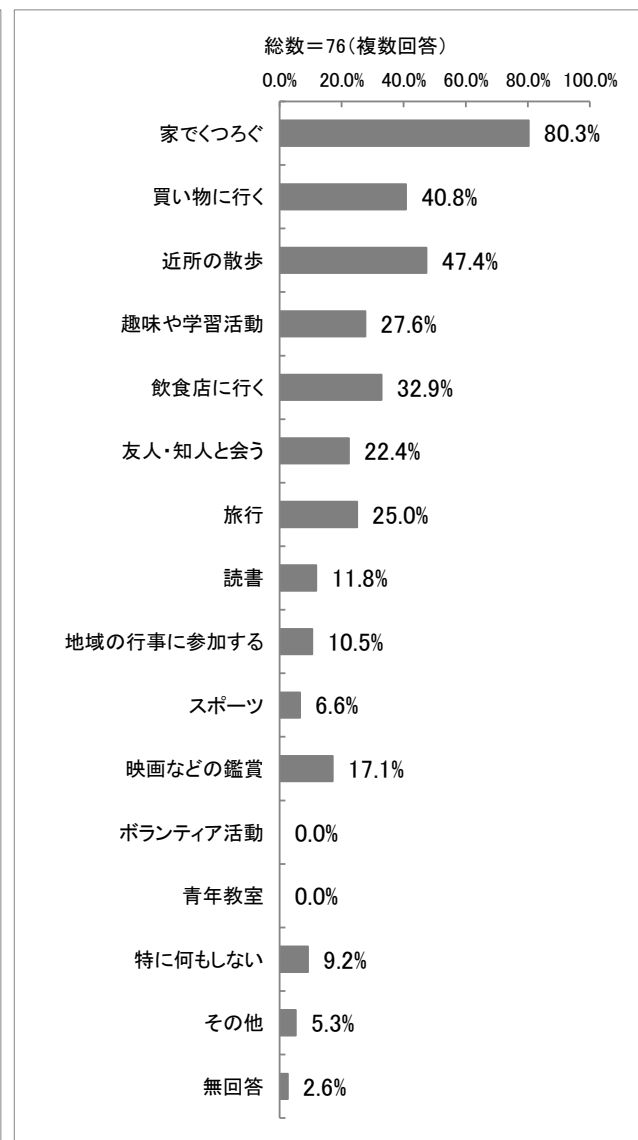
問 32 全ての方にお聞きします。 あなたは休日や余裕のある時にどのように過ごしていますか。

全体では、「家でくつろぐ」が 72.7%と最も多く、次いで「買い物に行く」が 46.2%、「近所の散歩」が 42.3%となっています。発達障害では「趣味や学習活動」がやや多くなっています。

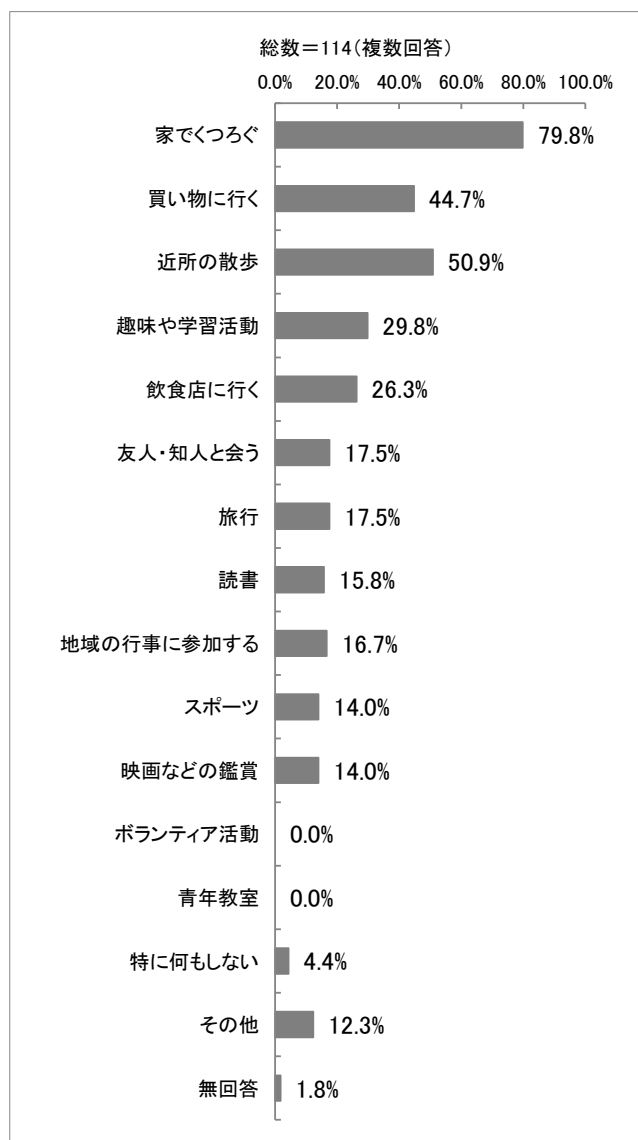
■全体



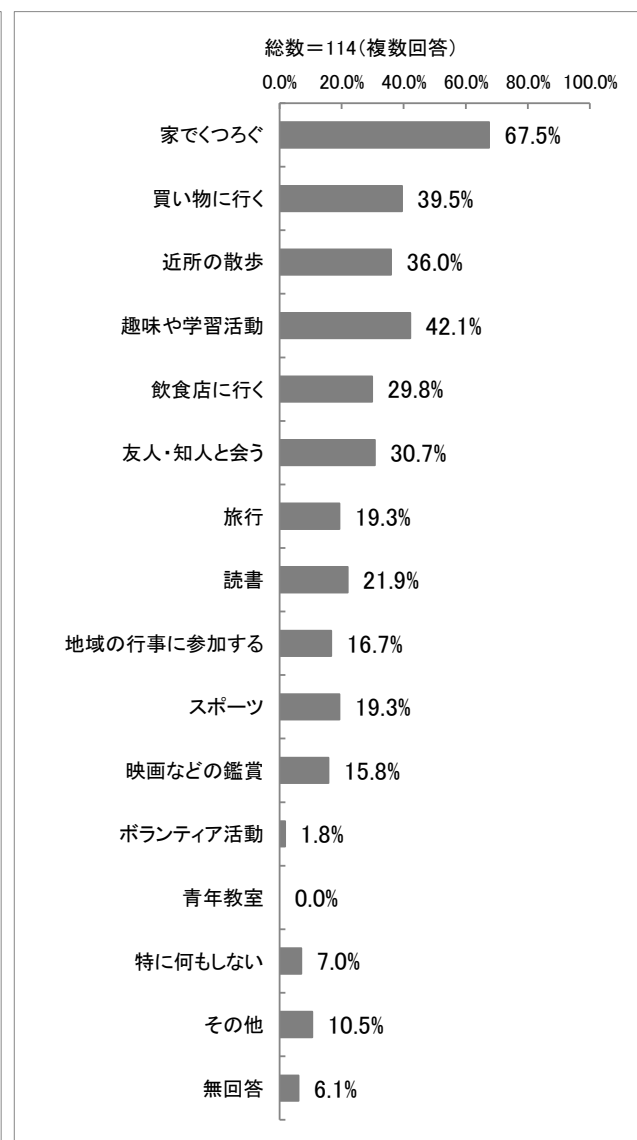
■身体障害



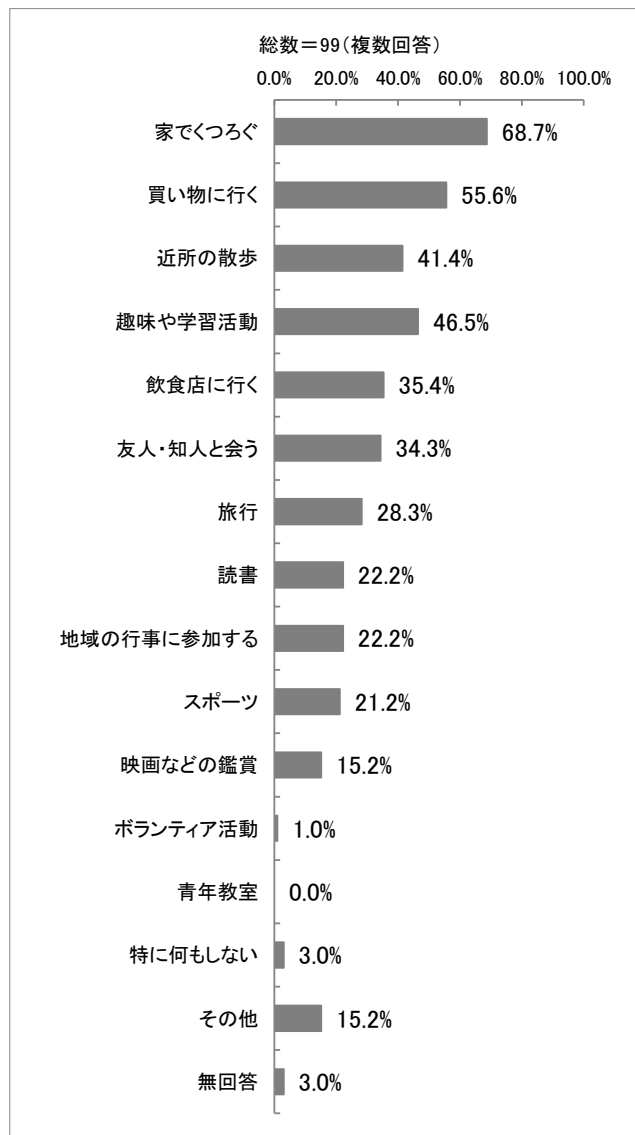
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



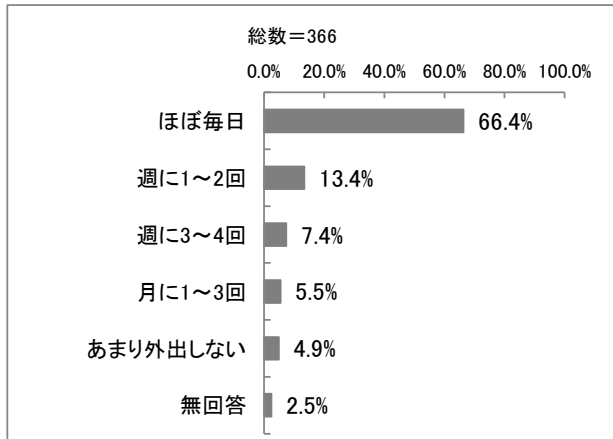
5 外出やバリアフリーについて

(1) 外出頻度

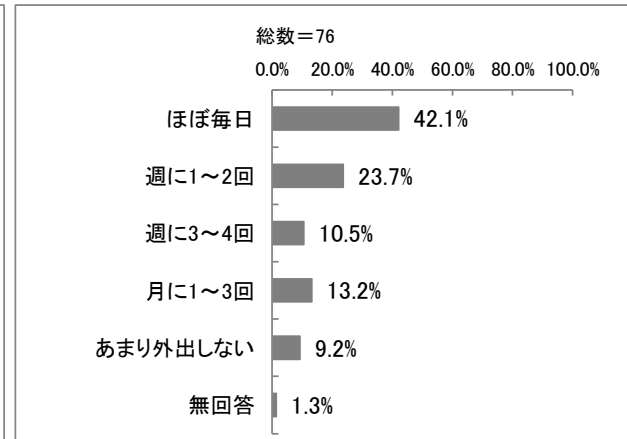
問 33 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。

全体では、「ほぼ毎日」が 66.4%、「週に 1～2 回」が 13.4%となっています。

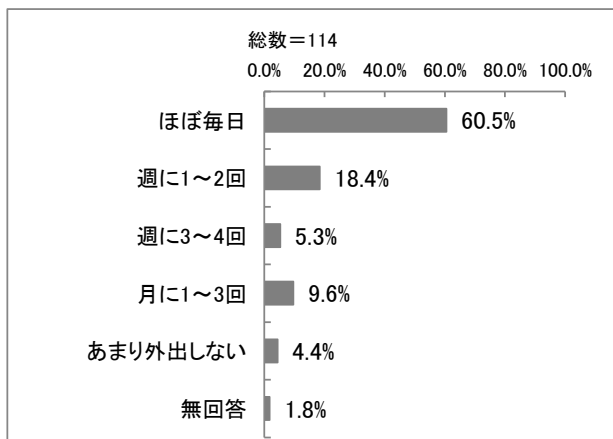
■全体



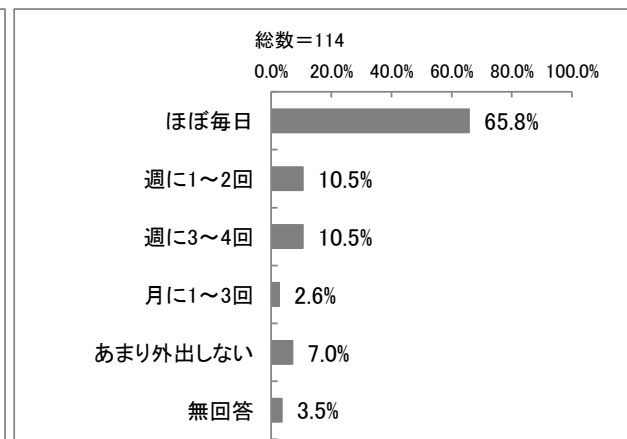
■身体障害



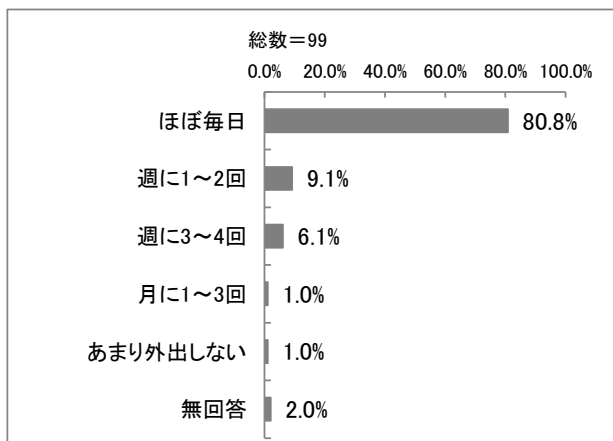
■知的障害



■発達障害



■その他の児童

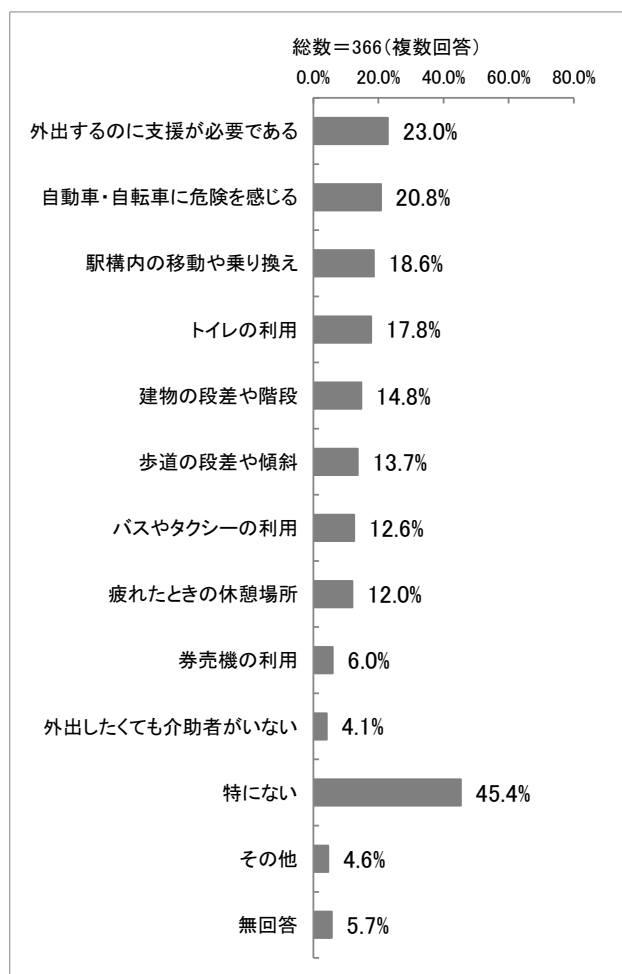


(2) 外出に関して困っていること

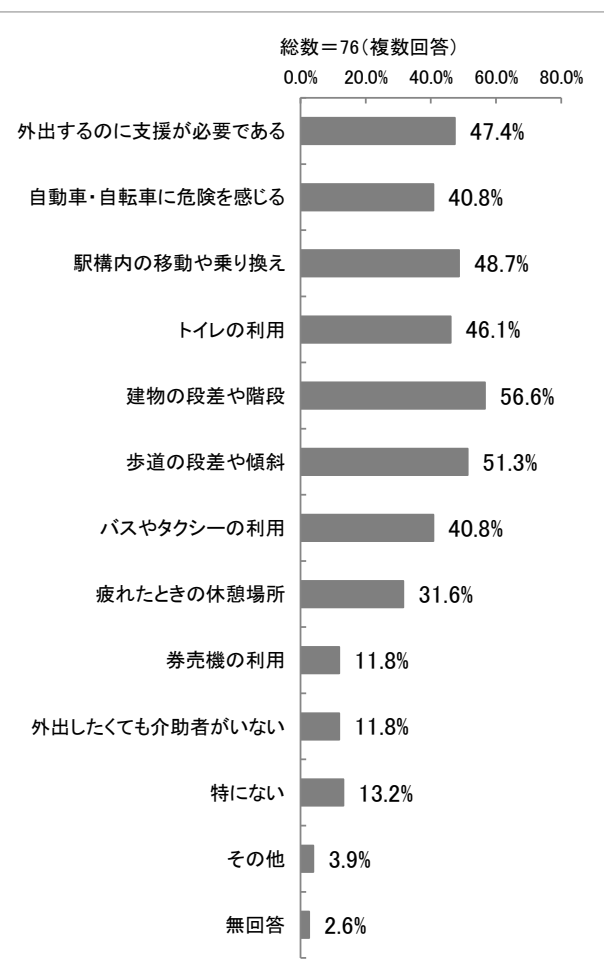
問 34 あなたは、外出に関してどのようなことで困っていますか。

全体では、「外出するのに支援が必要である」が 23.0%と最も多く、次いで「自動車・自転車に危険を感じる」が 20.8%、「駅構内の移動や乗り換え」が 18.6%となっています。障害別に見ると、身体障害では、「建物の段差や階段」、「歩道の段差や傾斜」が、知的障害では「外出するのに支援が必要である」、発達障害、その他の児童は「特にない」が特に多くなっています。

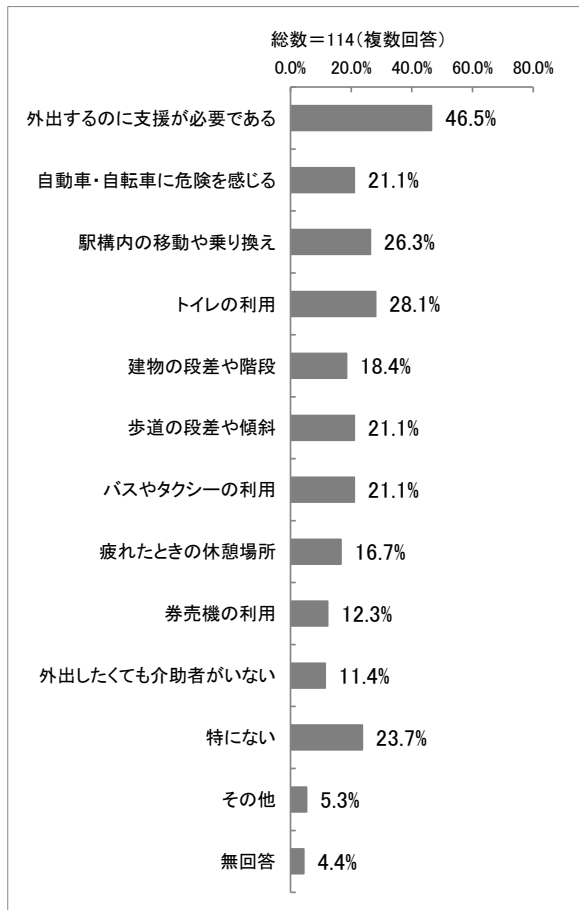
■全体



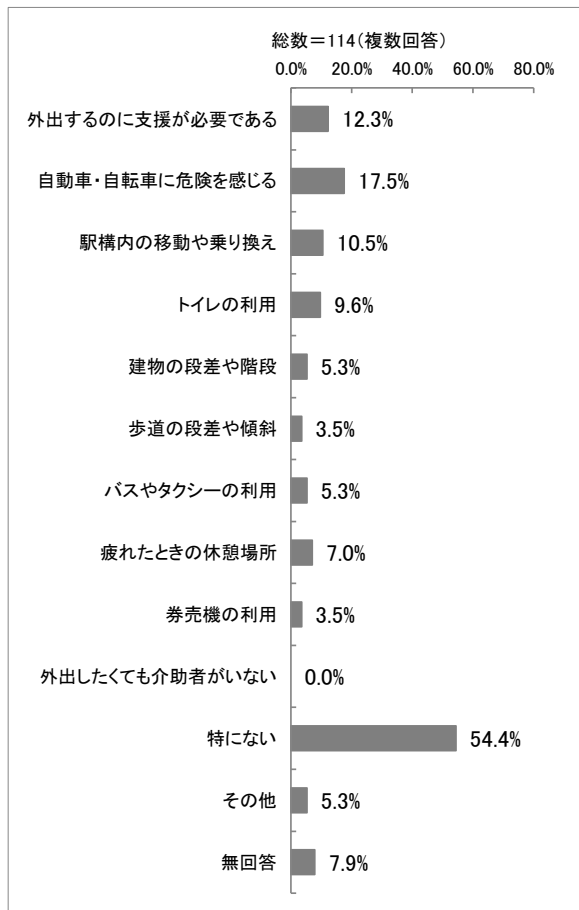
■身体障害



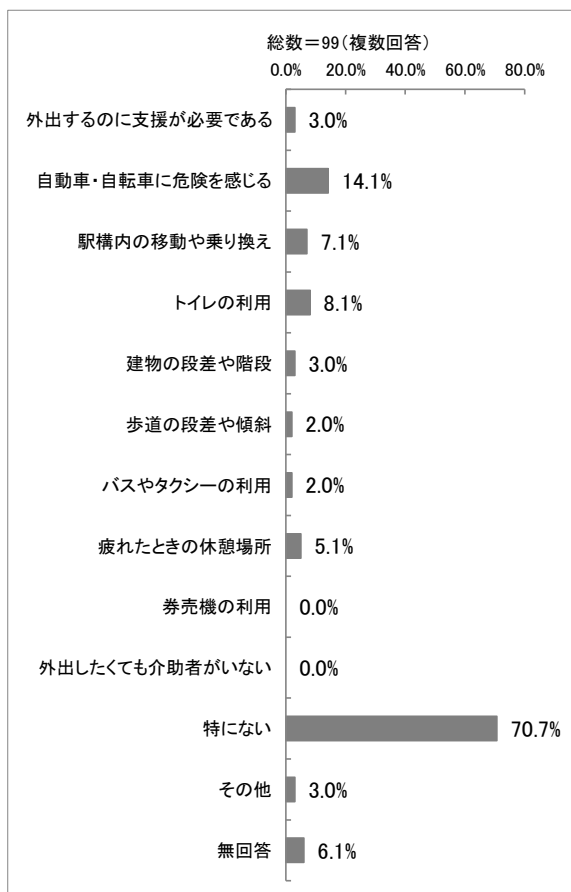
■知的障害



■発達障害



■その他の児童

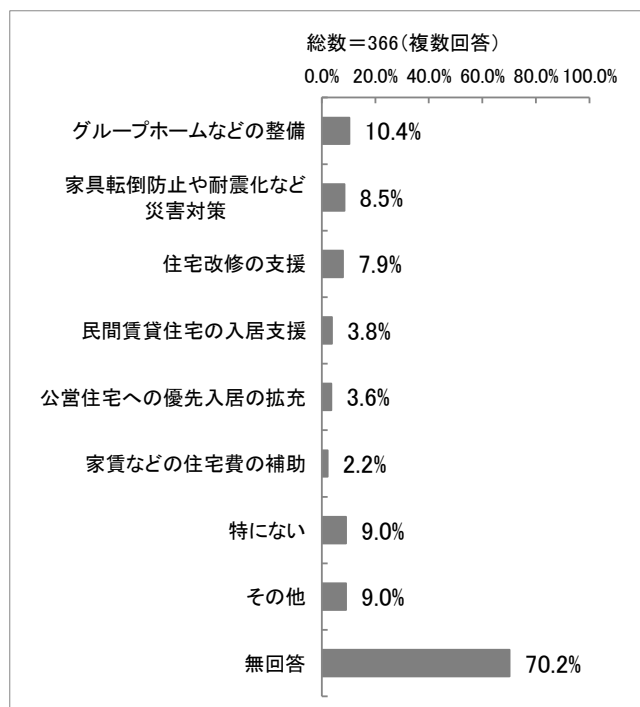


(3) 住まいに関して必要な支援

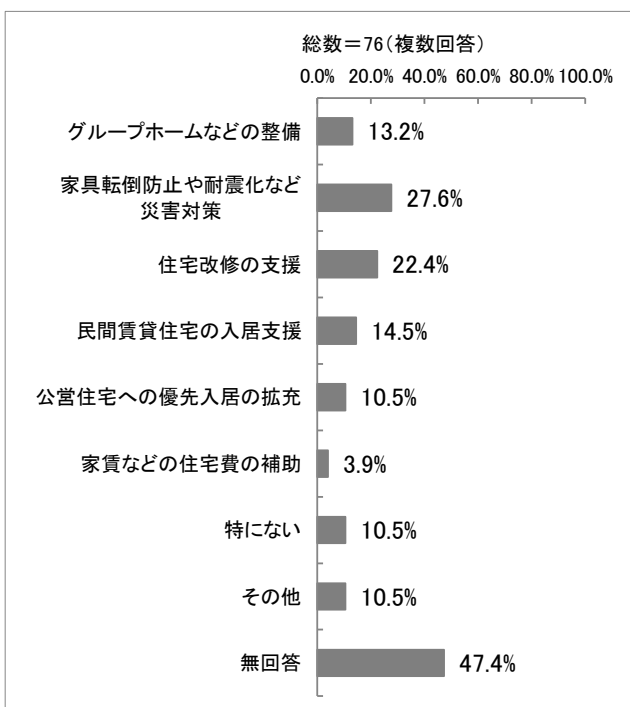
問 35 あなたは、住まいに関してどのような支援を必要としていますか。

全体では、「グループホームなどの整備」が10.4%、「家具転倒防止や耐震化など災害対策」が8.5%、「住宅改修の支援」が7.9%となっています。障害別に見ると、身体障害では、「家具転倒防止や耐震化など災害対策」、「住宅改修の支援」がやや多くなっています。

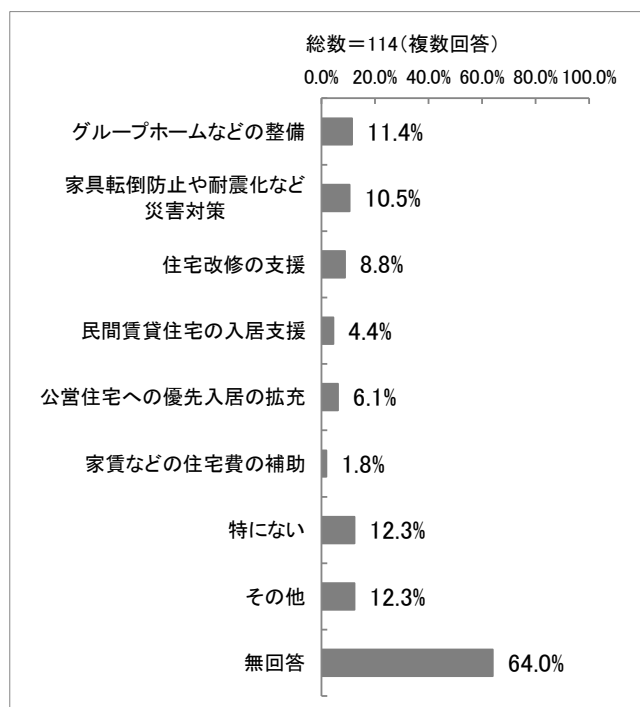
■全体



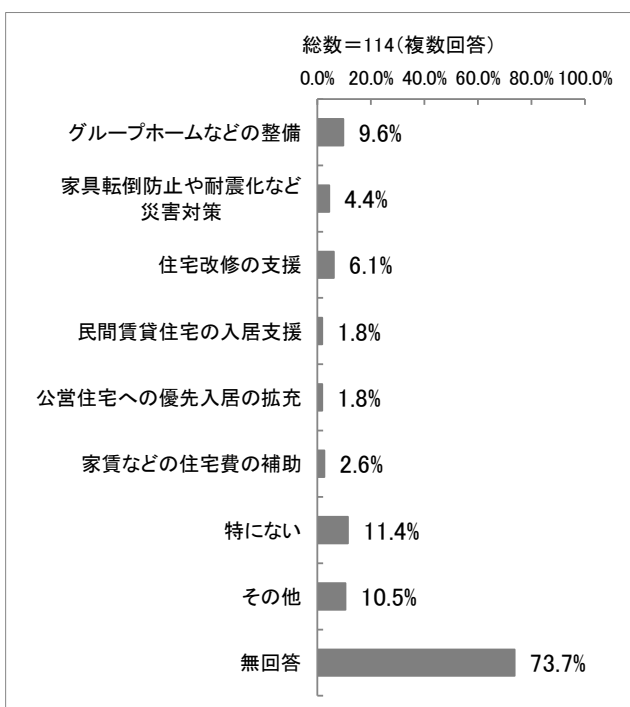
■身体障害



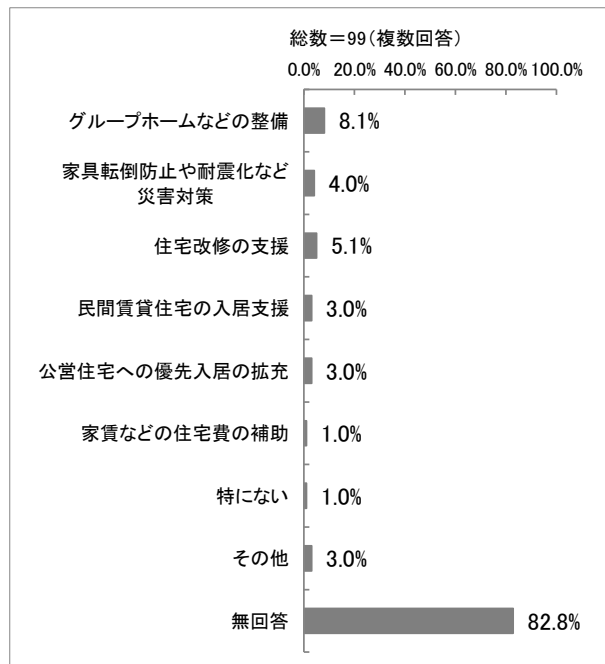
■知的障害



■発達障害



■その他の児童

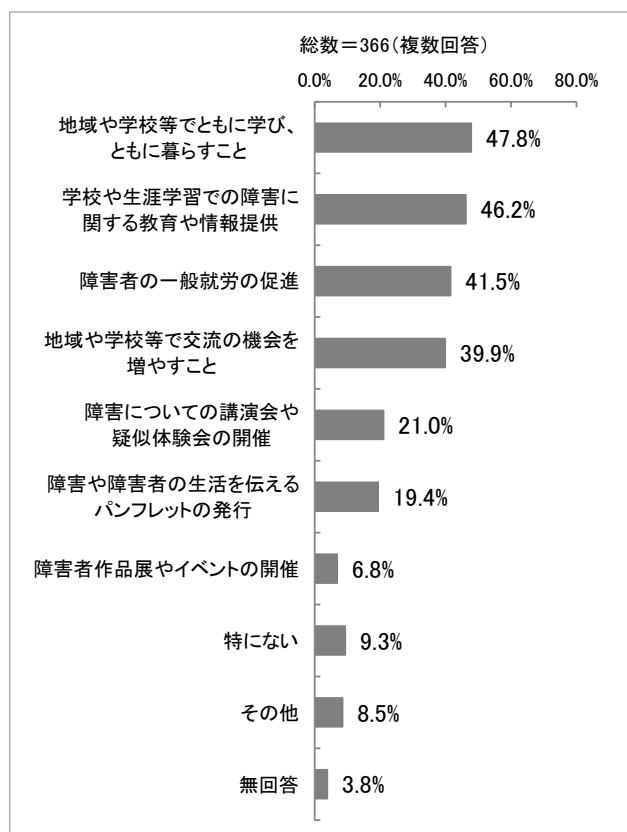


(4) こころのバリアフリーについて

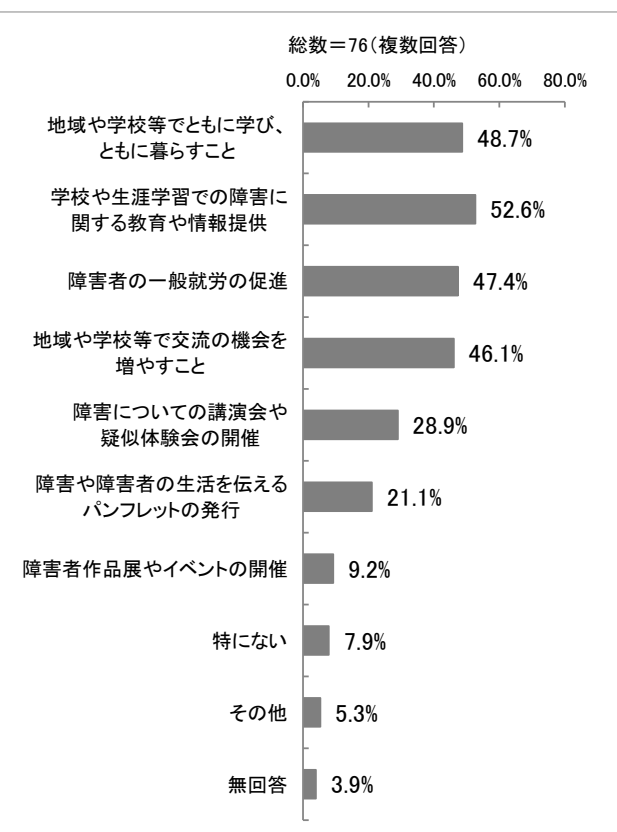
問 36 あなたは、区が「こころのバリアフリー」を進めていくためにどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

全体では「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が47.8%と最も多く「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報提供」が46.2%、「障害者の一般就労の促進」が41.5%となっています。

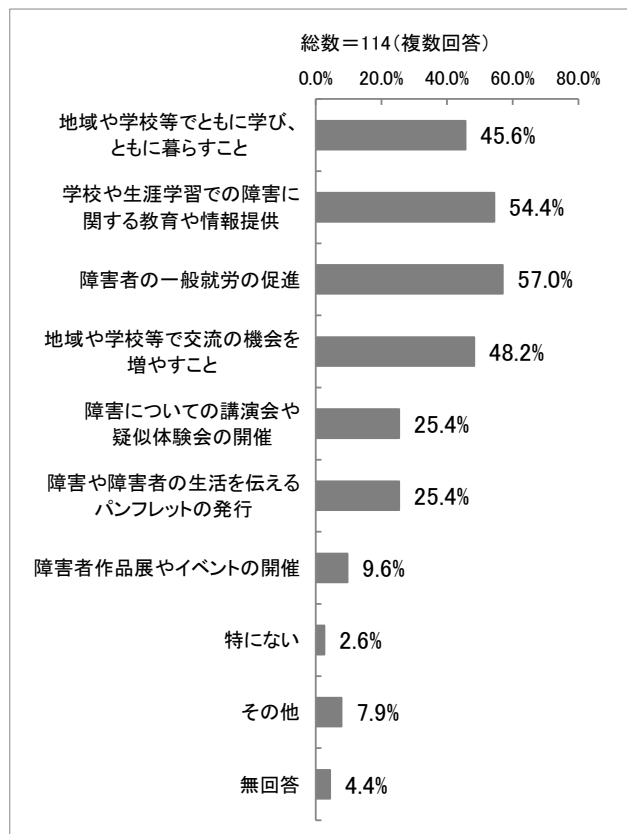
■全体



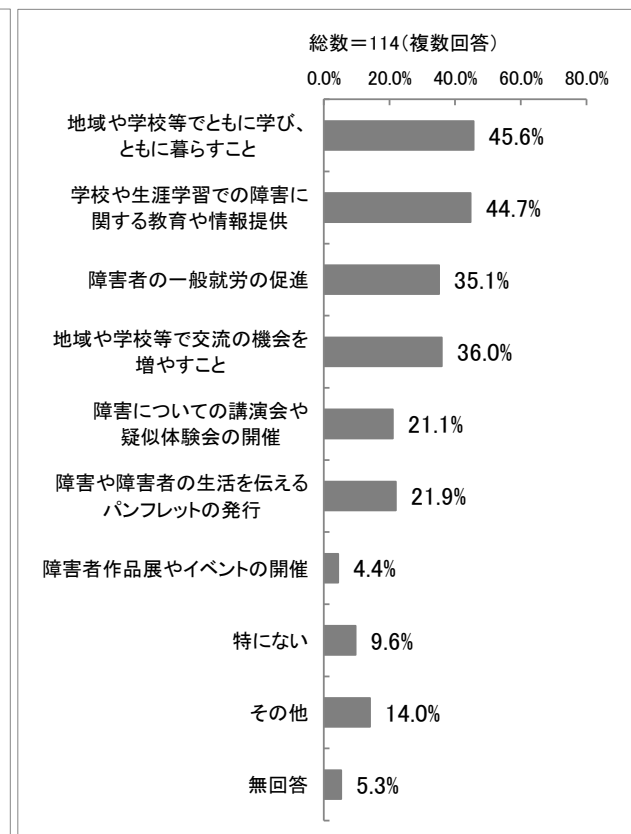
■身体障害



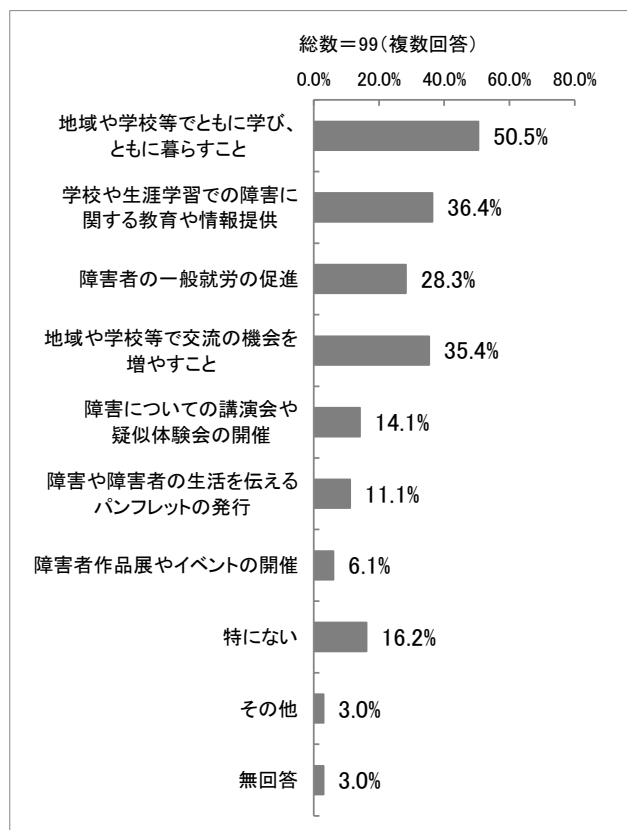
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



6) 福祉サービスについて

(1) 福祉サービスの利用状況・利用意向

問 37 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。

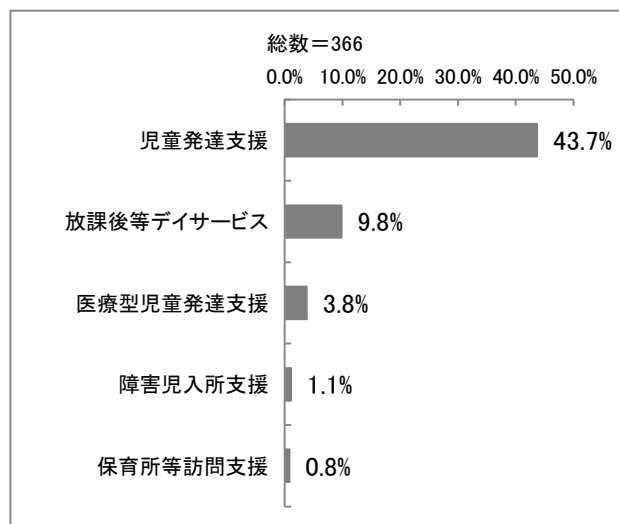
A 主に 18 歳未満の方が利用するサービス

①児童福祉法に基づく支援等

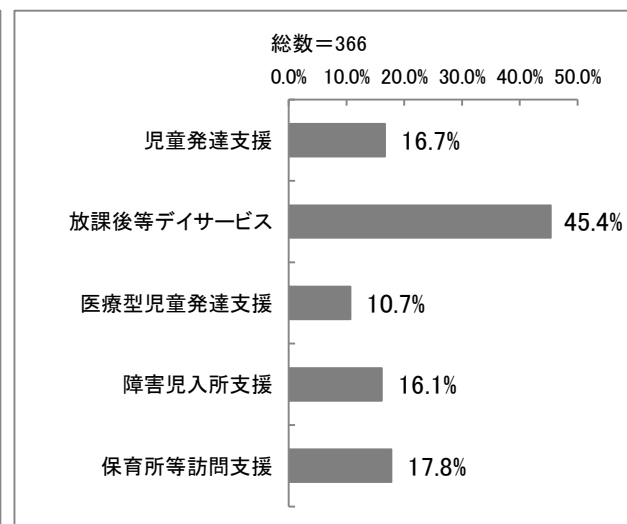
「現在利用している」が最も多いのは、「児童発達支援」で 43.7%となっています。「今後利用したい」は、「放課後デイサービス」が 45.4%で最も多くなっています。

サービス名	サービスの内容
児童発達支援	療育を必要とする障害児等が施設に通い、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。
医療型児童発達支援	肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練や、医学的管理下での支援が必要な児童のための通所支援です。
放課後等デイサービス	就学している障害児に、放課後や休校日に生活能力の訓練、社会交流機会を提供します。
保育所等訪問支援	保育所等に通う障害児が集団生活に適応するために必要な専門的支援を提供します。
障害児入所支援	福祉型障害児入所施設と医療型障害児入所施設の 2 種類。入所手続きは児童相談センターが窓口です。

■現在利用している

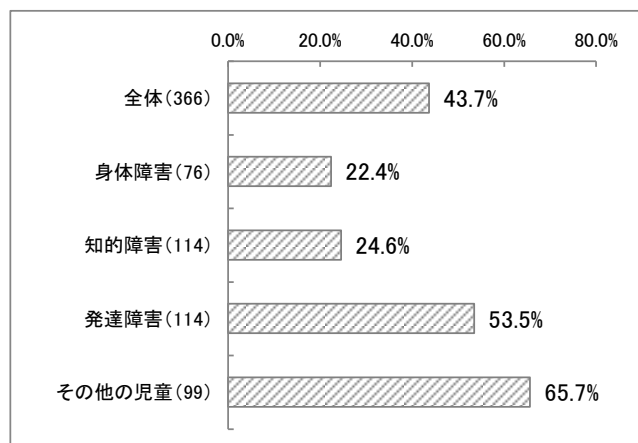


■今後利用したい

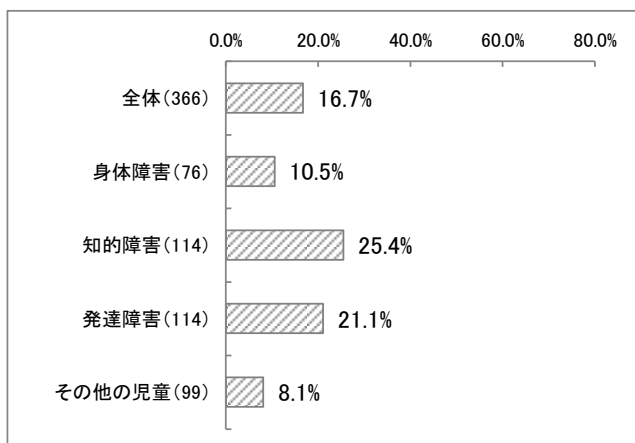


児童発達支援の利用状況・利用意向

■利用している

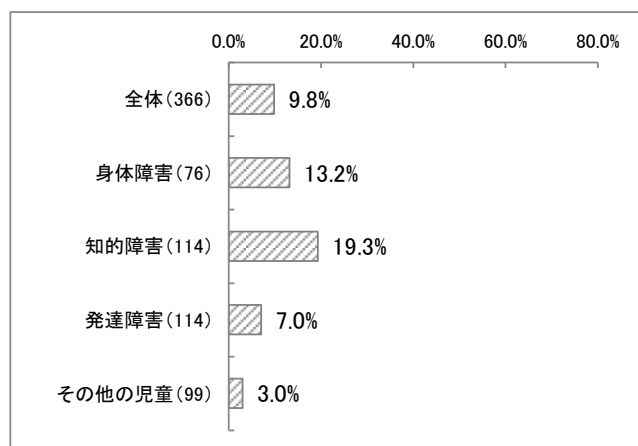


■今後利用したい

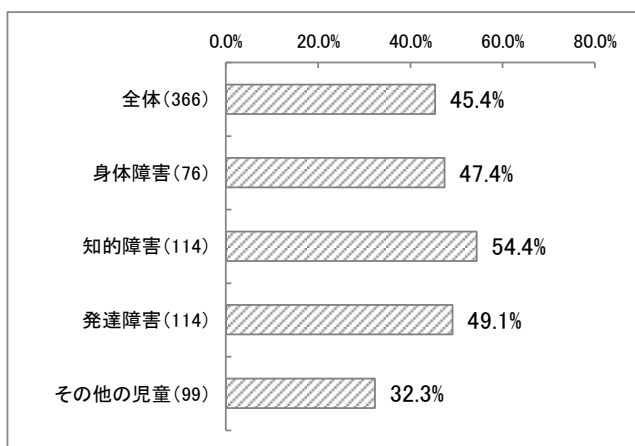


放課後等デイサービスの利用状況・利用意向

■利用している



■今後利用したい

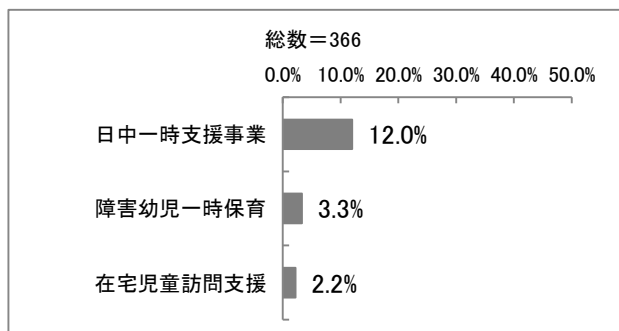


② ①以外の児童のためのサービス

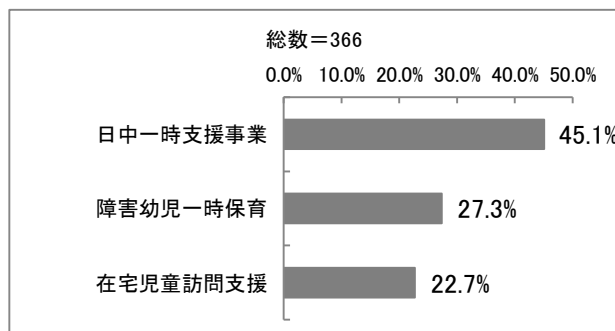
「現在利用している」が最も多いのは「日中一時支援事業」で、12.0%となっています。「今後利用したい」は「日中一時支援事業」が45.1%となっています。

サービス名	サービスの内容
日中一時支援事業 (障害児等タイムケア)	障害児等の放課後・夏休み等の長期学校休業中の活動場所を提供します。
在宅児童訪問支援	障害児等の自宅を訪問し、遊びや生活の指導、情報提供を行います。
障害幼児一時保育	一時的に保育が必要なとき、障害幼児等の保育を行います。

■現在利用している

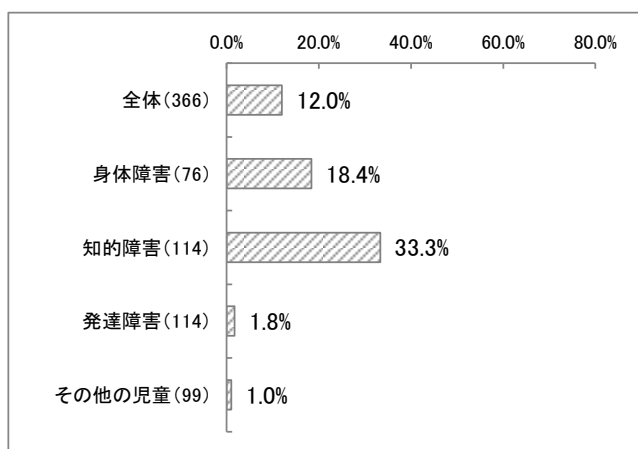


■今後利用したい

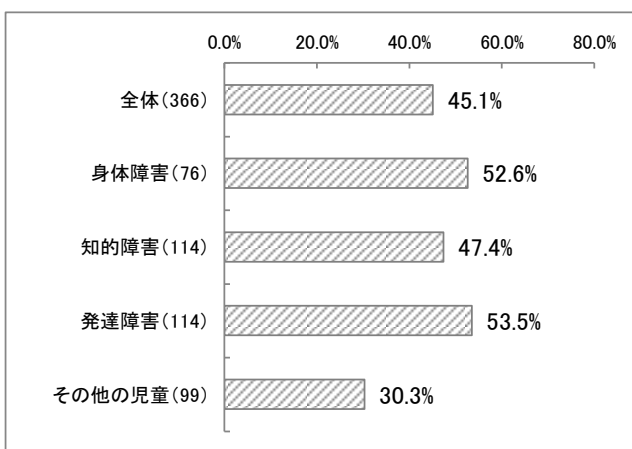


日中一時支援事業(障害児等タイムケア)の利用状況・利用意向

■現在利用している



■今後利用したい



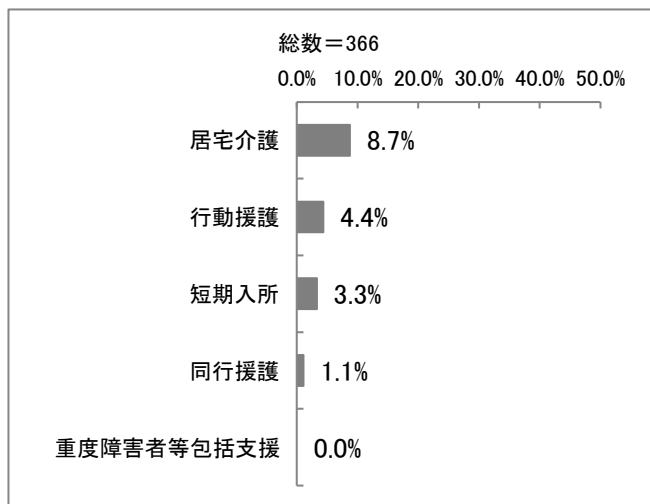
B 児童期～成人期にかけて利用できるサービス

③訪問系サービス

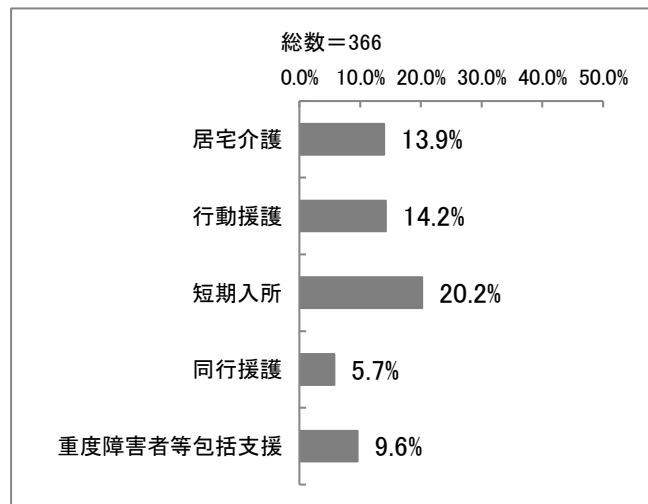
「現在利用している」が最も多いのは「居宅介護（ホームヘルプ）」で8.7%となっています。「今後利用したい」は、「短期入所（ショートステイ）」が20.2%となっています。

サービス名	サービスの内容
居宅介護（ホームヘルプ）	自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。
行動援護	行動障害のある方に、移動介護や危険回避の援護などを行います。
重度障害者等包括支援	常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。
同行援護	視覚障害者の外出に同行し移動の援護や移動に必要な情報を提供します。
短期入所（ショートステイ）	介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。

■現在利用している

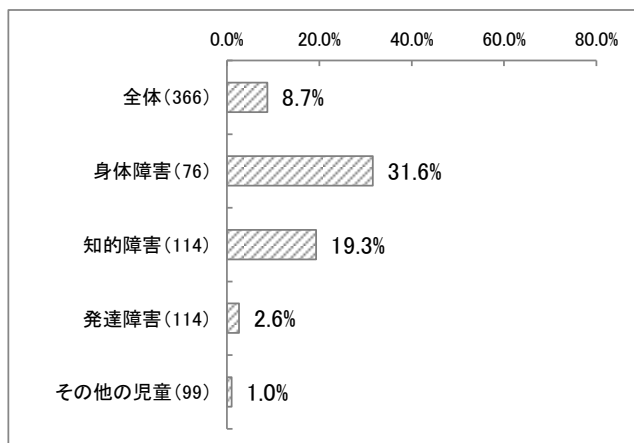


■今後利用したい

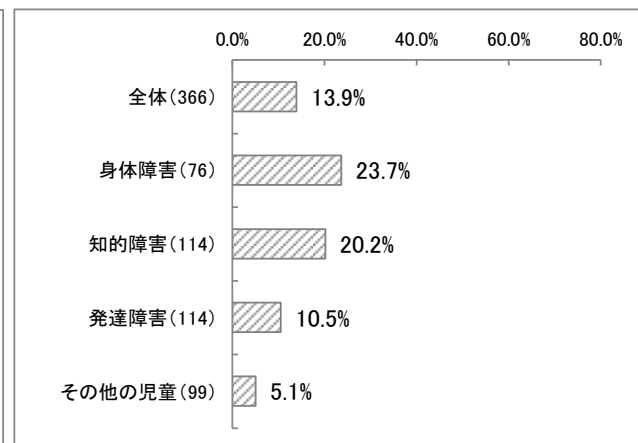


居宅介護の利用状況・利用意向

■現在利用している

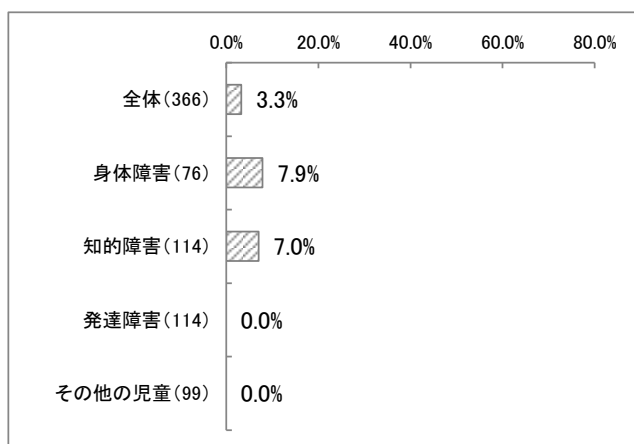


■今後利用したい

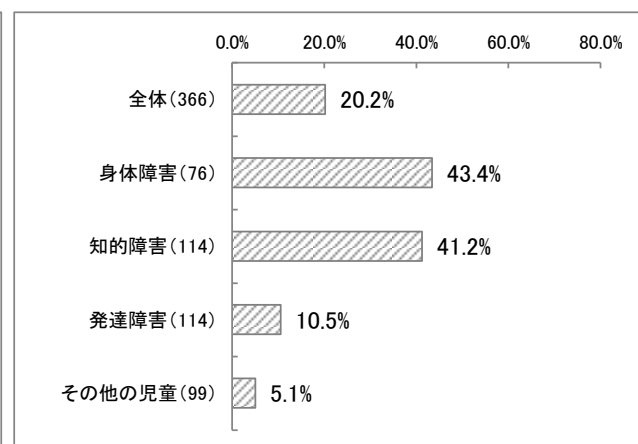


短期入所の利用状況・利用意向

■現在利用している



■今後利用したい

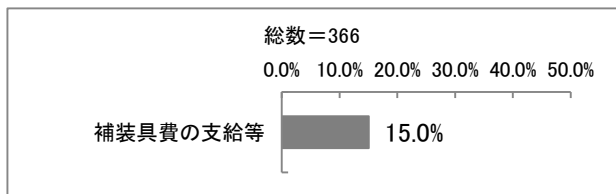


④補装具費の支給等

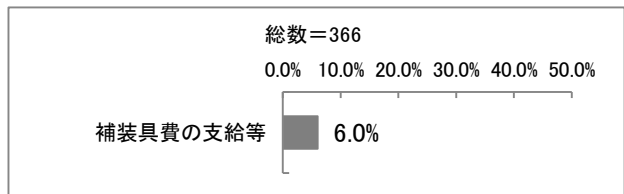
「現在利用している」と回答した人は15.0%、「今後利用したい」と回答した人は6.0%となっています。

サービス名	サービスの内容
補装具費の支給等	障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。

■現在利用している



■今後利用したい

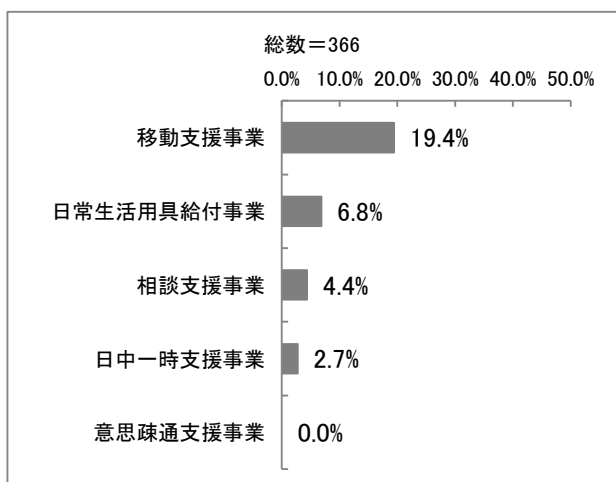


⑤地域生活支援事業

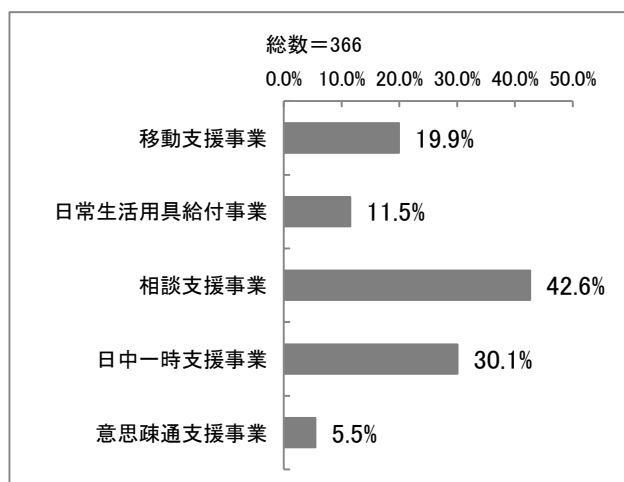
「現在利用している」が最も多いのは「移動支援事業」で19.4%となっています。「今後利用したい」は、「相談支援事業」が42.6%となっています。

サービス名	サービスの内容
相談支援事業	地域生活を支援するための様々な相談に応じます。
移動支援事業	社会参加のための移動時にヘルパーの支援が受けられます。
日常生活用具給付事業	日常生活における福祉用具の給付貸与を行います。
日中一時支援事業(日中ショート)	家族が介護できない日中に、事業所が本人を預かります。
意思疎通支援事業	手話通訳者、要約筆記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。

■現在利用している

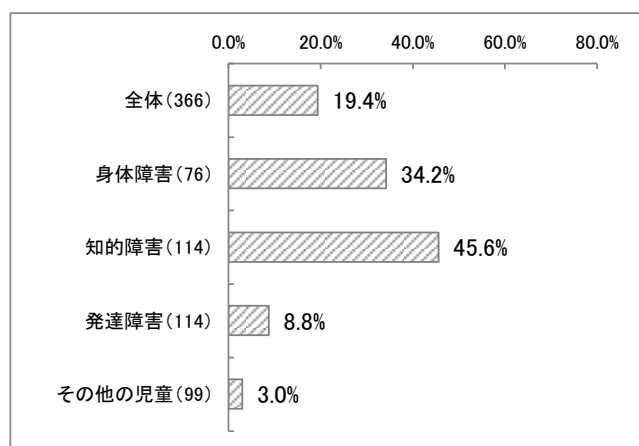


■今後利用したい

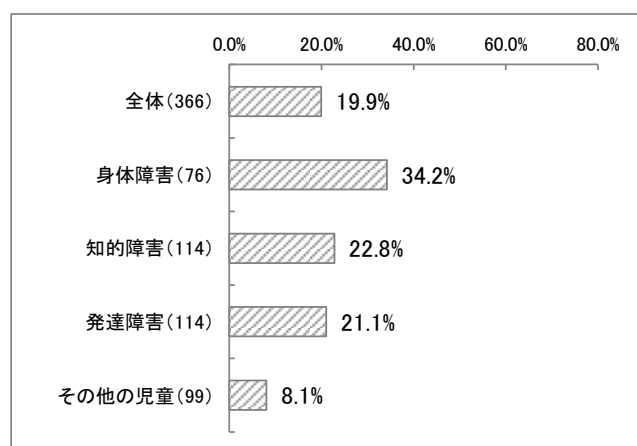


移動支援事業の利用状況・利用意向

■現在利用している

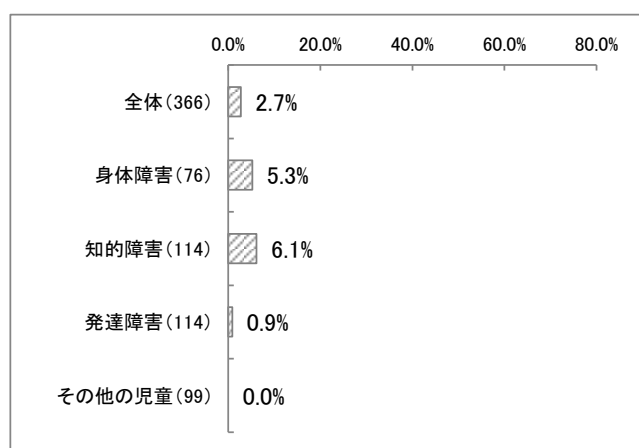


■今後利用したい

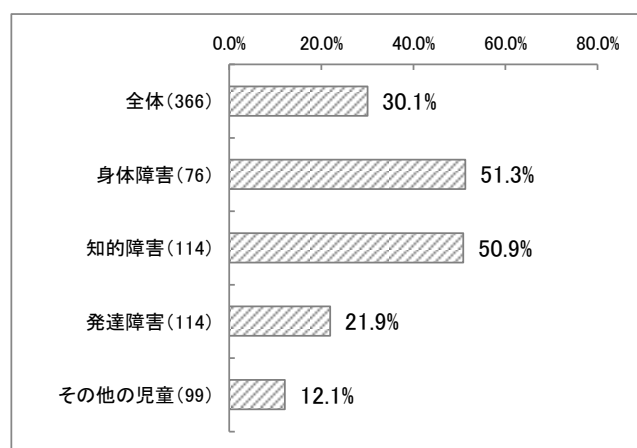


日中一時支援事業(日中ショート)の利用状況・利用意向

■現在利用している



■今後利用したい

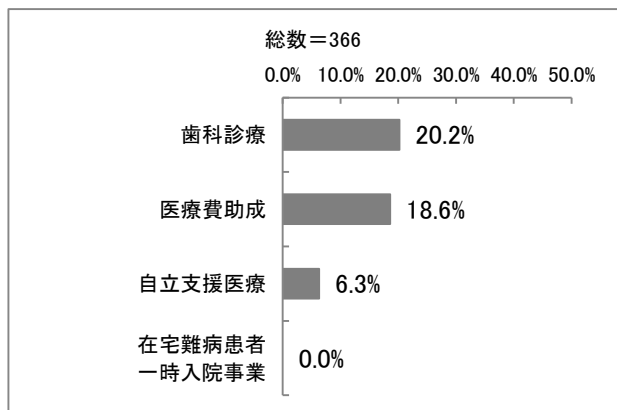


⑥医療に関する支援

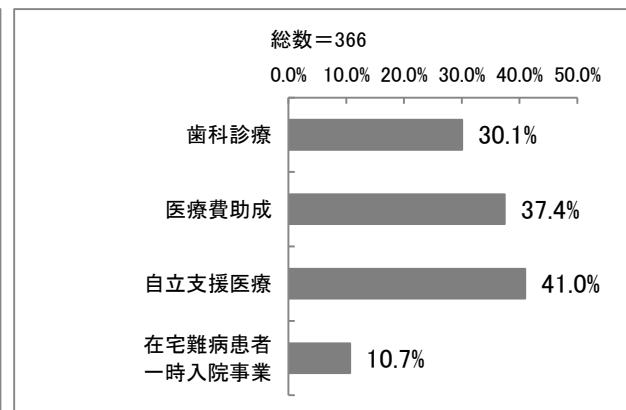
「現在利用している」が最も多いのは、「歯科診療」で20.2%となっています。「今後利用したい」は、「自立支援医療」が41.0%となっています。

サービス名	サービスの内容
歯科診療	専門の医療機関で診察を行います。
医療費助成	身体障害者手帳、愛の手帳所持者及び特定疾病の患者で該当する方が、医療保険で診察等を受けた場合、自己負担分の費用を助成します。
自立支援医療	障害を軽減する医療（更生医療・育成医療・精神通院）を給付します。
在宅難病患者一時入院事業	難病医療費等助成事業の対象の方で、介護者が一時的に介護できなくなった場合、東京都が委託している病院に短期間入院することができます。

■現在利用している



■今後利用したい

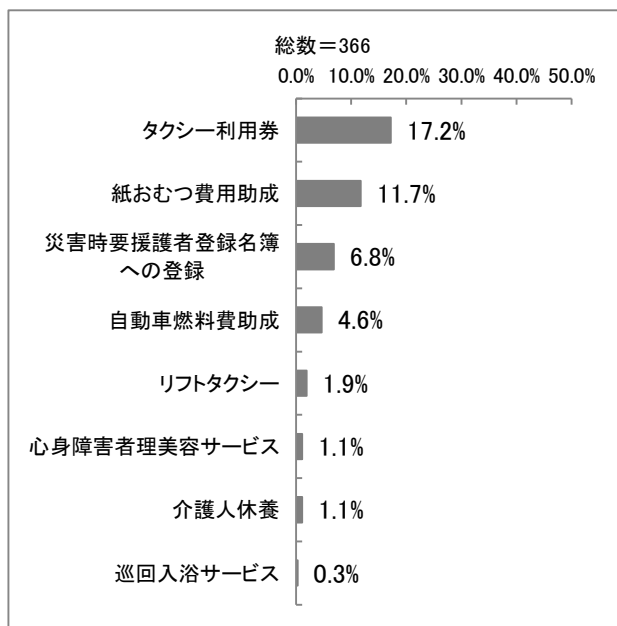


⑦日常生活のサービス

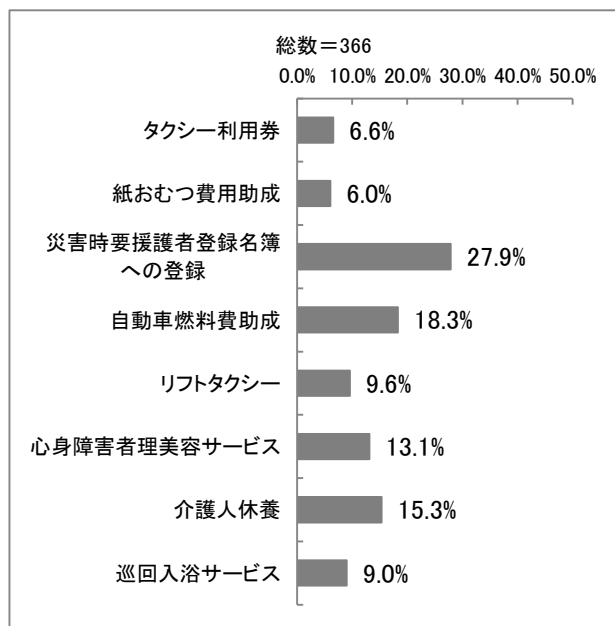
「現在利用している」が最も多いのは、「タクシー利用券」で17.2%となっています。「今後利用したい」は、「区立障害者福祉センターの事業」が27.9%となっています。

サービス名	サービスの内容
リフトタクシー	車いすやストレッチャーで乗車できるタクシーを運行します。
タクシー利用券	下肢不自由者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。
自動車燃料費助成	自動車等の燃料費を助成します。
心身障害者理美容サービス	外出が困難な方等に、理容師等が自宅に出張して調髪するための費用を助成します。
介護人休養	重度心身障害者を常時介護している方に、介護人を派遣して休養の機会を提供します。
紙おむつ費用助成	重度心身障害者に、紙おむつ費用を助成します。
巡回入浴サービス	在宅で寝たきりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。
災害時要援護者登録名簿への登録	災害発生時に自分の身を守ることが困難な方々を本人の申し出により事前に把握して、災害時に迅速な援助を行います。

■現在利用している



■今後利用したい



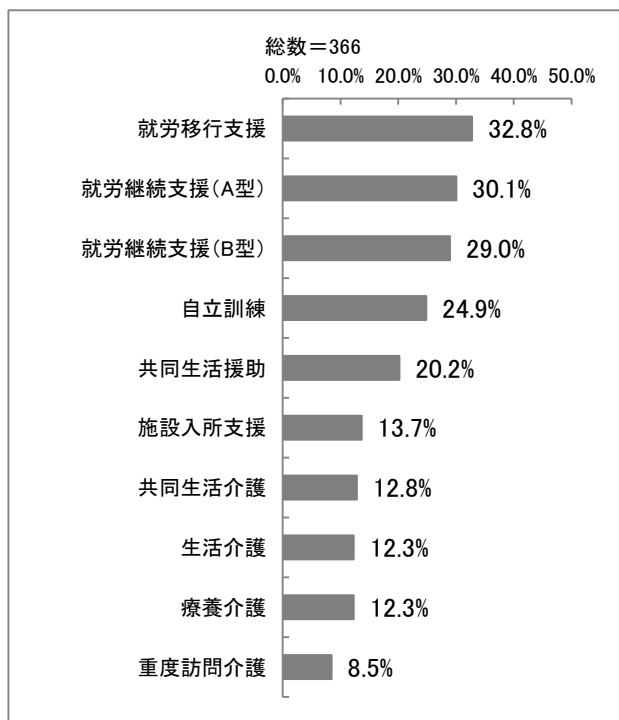
C 主に18歳以上の方が利用するサービス

⑧障害福祉サービス

「今後利用したい」が最も多いのは、「就労移行支援」で32.8%となっており、次いで「就労継続支援（A型）」が30.1%、「就労継続支援（B型）」が29.0%となっています。

サービス名	サービスの内容
生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設等で介護や活動機会を提供します。
療養介護	医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。
就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。
就労継続支援（A型）	障害者に雇用の就労や生産活動の機会を提供します。
就労継続支援（B型）	障害者に就労や生産活動の機会を提供します。
重度訪問介護	重度の障害者に総合的な介護を行います。
共同生活援助 （グループホーム）	地域生活に支障のない障害者が共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。
共同生活介護（ケアホーム）	介護を必要とする障害者が共同生活を営む住居で介護等の支援を提供します。
施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に、介護等の支援を提供します。

■今後利用したい

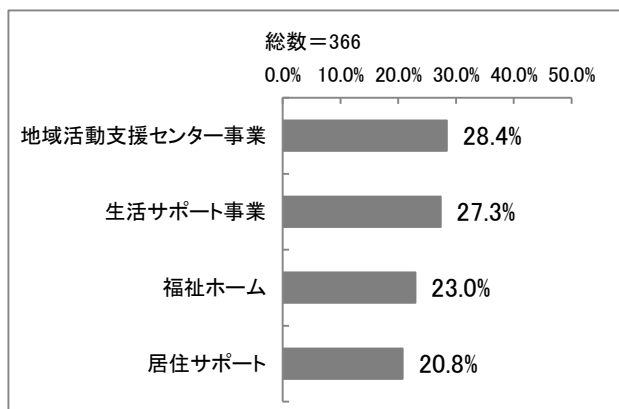


⑨地域生活支援事業

「今後利用したい」が最も多いのは「地域活動支援センター事業」で28.4%となっており、次いで「生活サポート事業」が27.3%、「福祉ホーム」が23.0%となっています。

サービス名	サービスの内容
地域活動支援センター事業	日中活動を支援するセンターを利用できます。
生活サポート事業	必要に応じて、家事等の支援を受けられます。
福祉ホーム	低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。
居住サポート	保証人がいない等の理由で入居が困難な方に入居に必要な支援を行います。

■今後利用したい

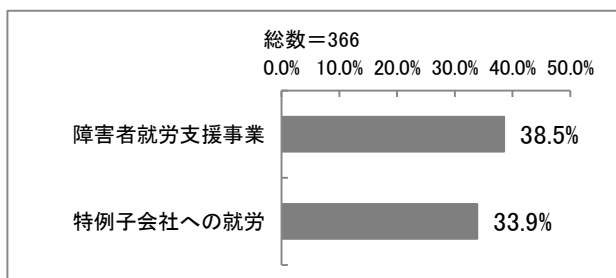


⑩就労に関する支援

「今後利用したい」と回答した人は、「障害者就労支援事業」が 38.5%、「特例子会社への就労」が 33.9%となっています。

サービス名	サービスの内容
障害者就労支援事業	障害者の一般就労に向けた支援、職場定着への支援、日常生活への支援等を専門のコーディネーターにより実施します。
特例子会社への就労	事業主（企業）が設立する障害者の雇用に特別の配慮をした子会社での就労です。企業の法定雇用率に算定されます。

■今後利用したい

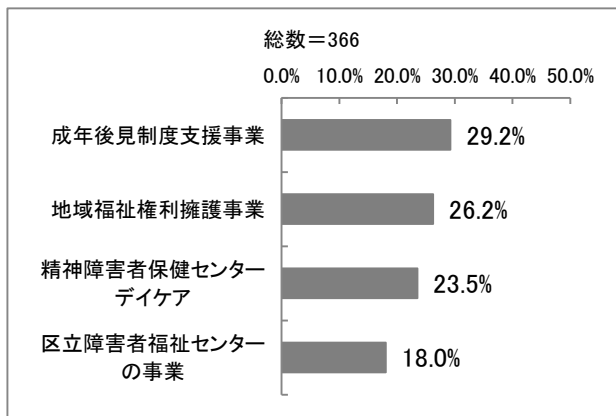


⑪その他

「今後利用したい」が最も多いのは、「成年後見制度支援事業」で 29.2%となっており、次いで「地域福祉権利擁護事業」が 26.2%、「精神障害者保健センターデイケア」が 23.5%となっています。

サービス名	サービスの内容
成年後見制度支援事業	判断能力が不十分で、自分の財産や権利を守ることが困難な方に対して援助を行います。
地域福祉権利擁護事業	障害等の理由で判断能力が十分ではない方の金銭管理やサービス利用等をお手伝いする制度です。
精神障害者保健センター デイケア	グループでの活動を通じて生活習慣や対人関係を築けるようになるための場の提供を行います。
区立障害者福祉センターの 事業	視覚障害者通所訓練、講座講習会、入浴、給食、機能訓練、言語機能訓練、相談支援等を実施します。

■今後利用したい

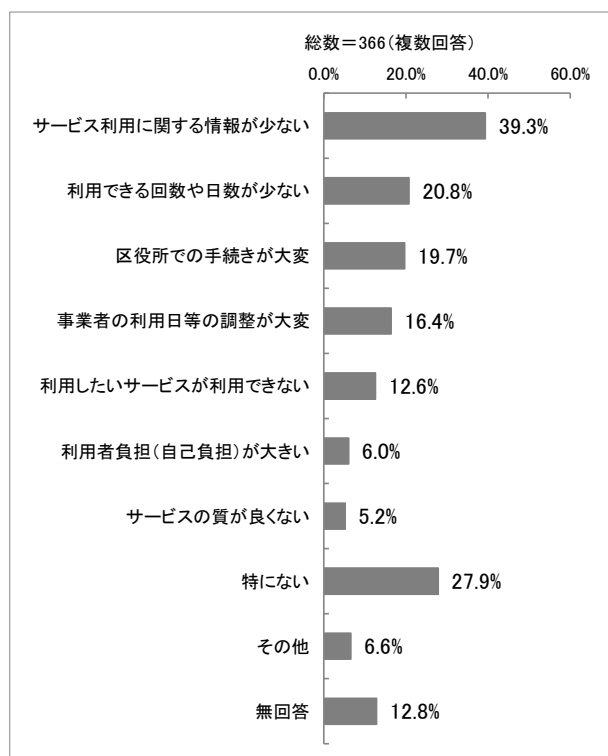


(2) 福祉サービス利用に関して困っていること

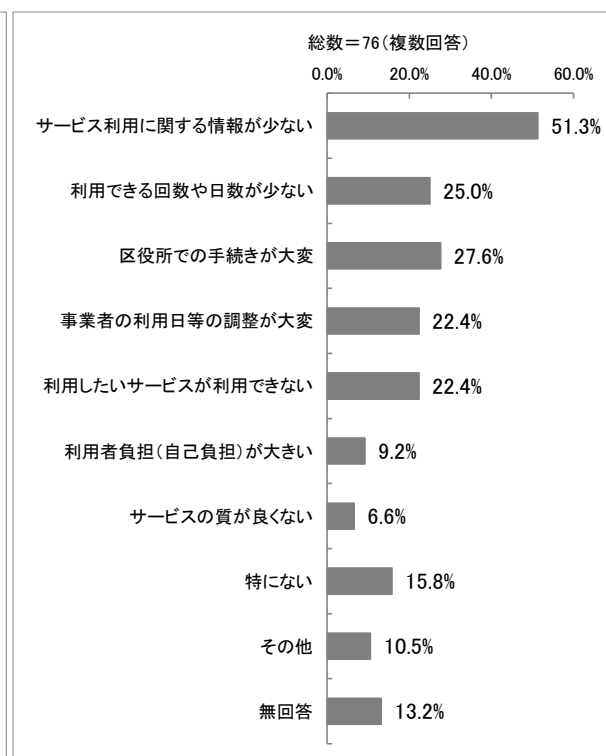
問 38 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。

全体では、「サービス利用に関する情報が少ない」が 39.3%と最も多く、次いで「利用できる回数や日数が少ない」が 20.8%、「区役所での手続きが大変」が 19.7%となっています。知的障害では「事業者の利用日等の調整が大変」が多くなっています。

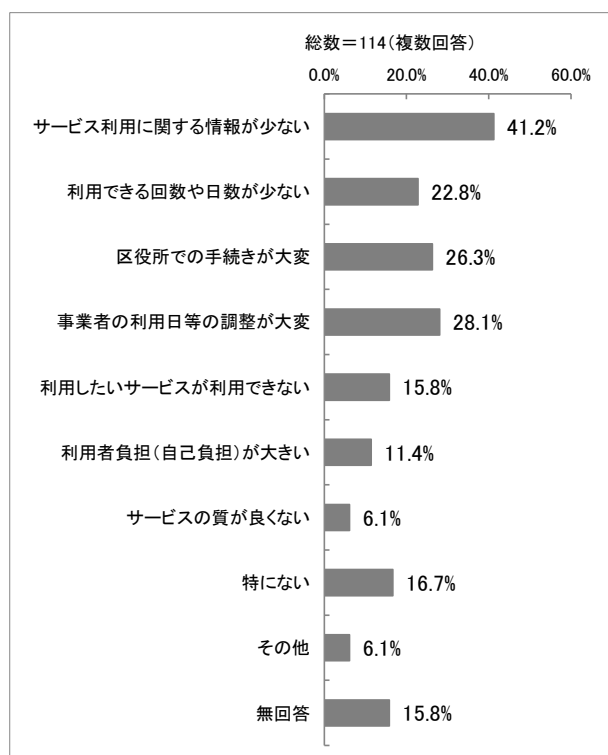
■全体



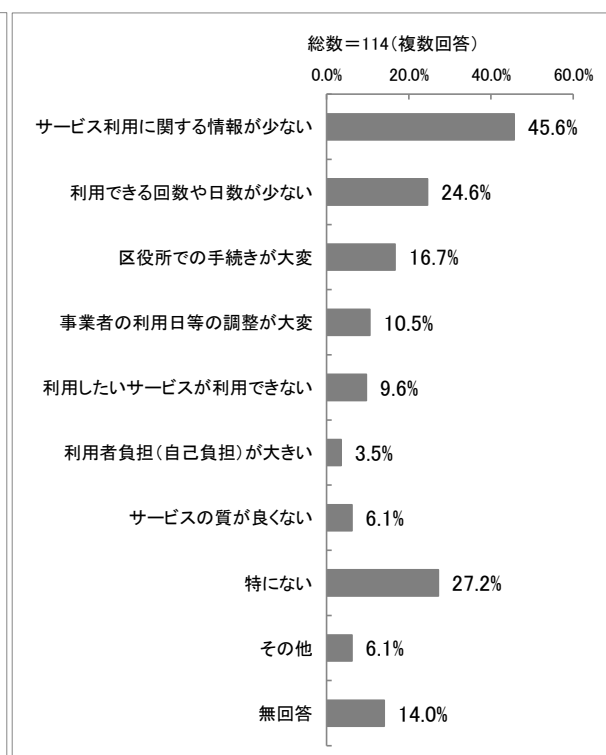
■身体障害



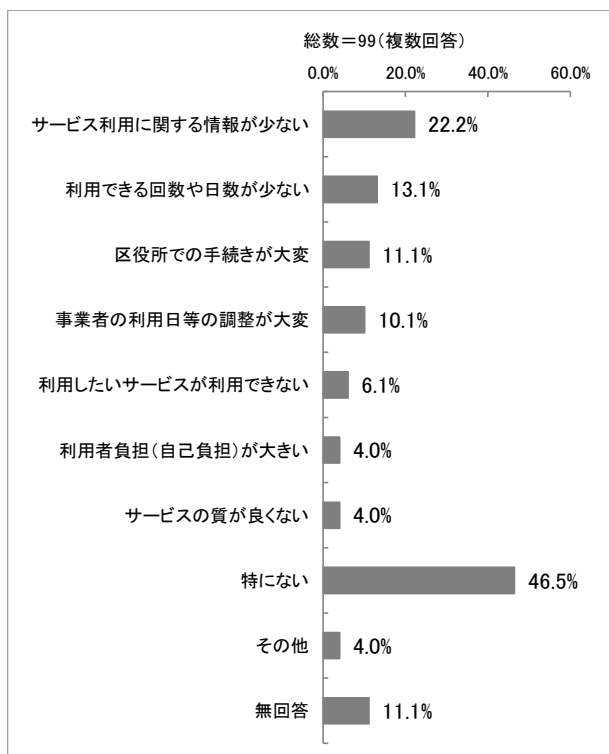
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



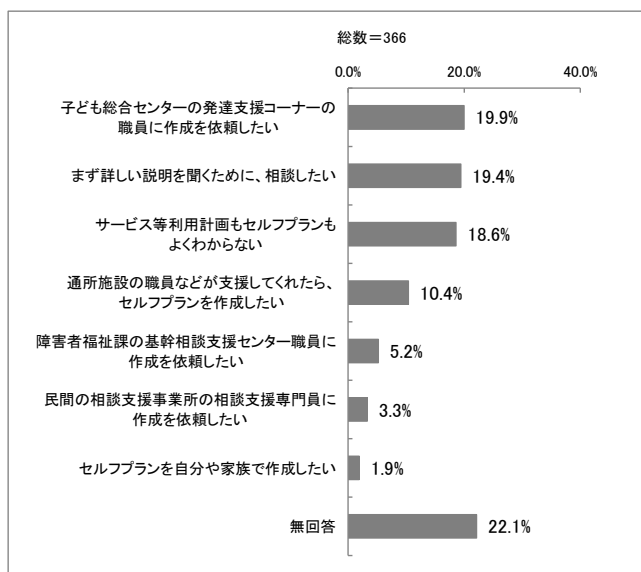
(3) サービス等利用計画の作成意向

問 39 問 37 にある障害福祉サービス・児童福祉法に基づくサービスを利用している方や今後利用したい方にお聞きします。サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。

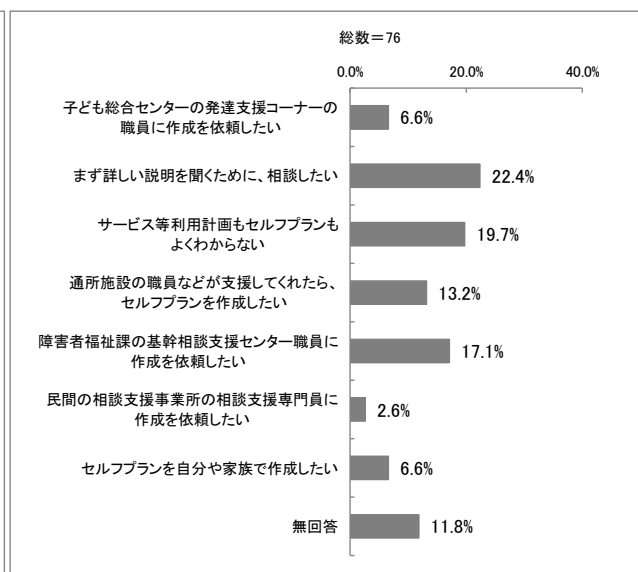
身体障害、知的障害では「まず詳しい説明を聞くために、相談したい」が、発達障害、その他の児童では「子ども総合センターの発達支援コーナーの職員に作成を依頼したい」が最も多くなっています。

(グラフは、一部重複回答を含みます)

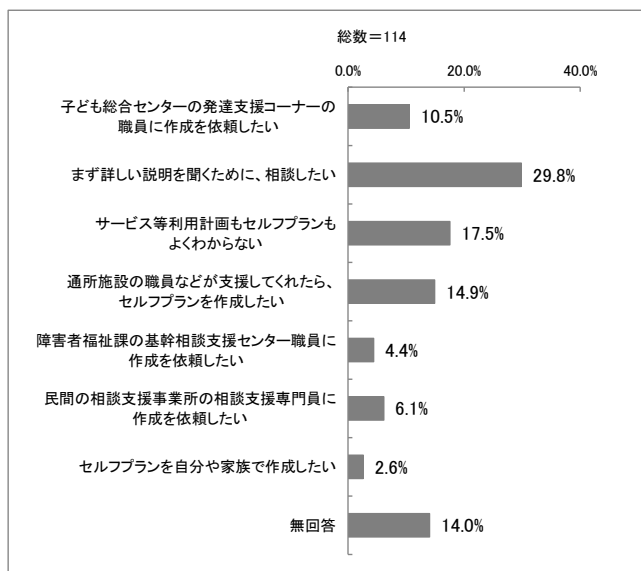
■全体



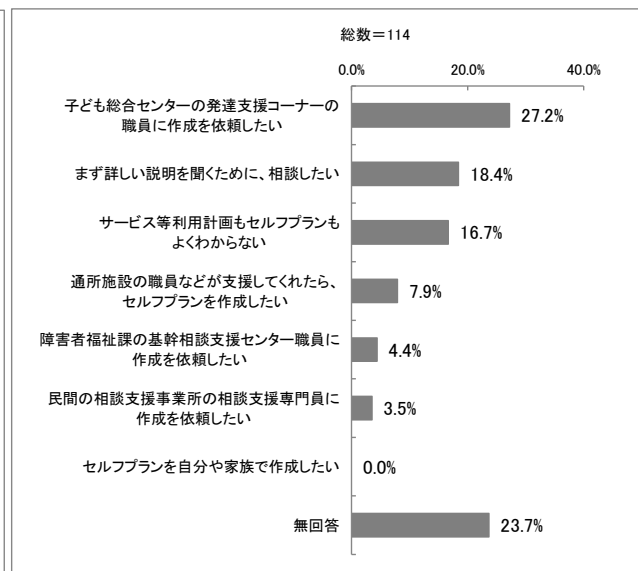
■身体障害



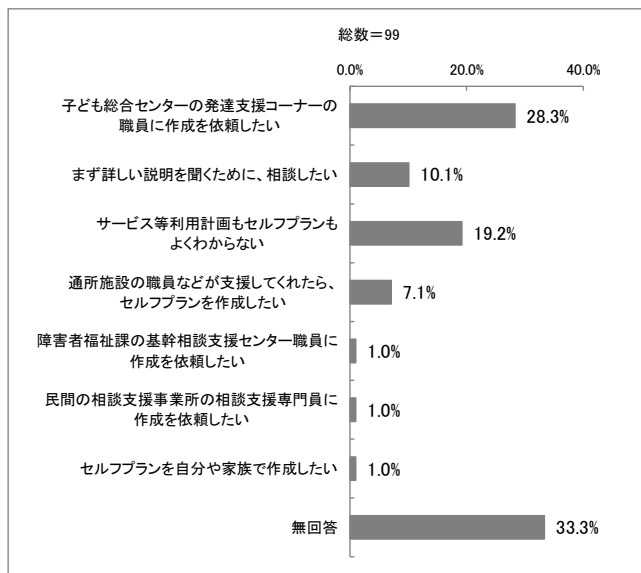
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



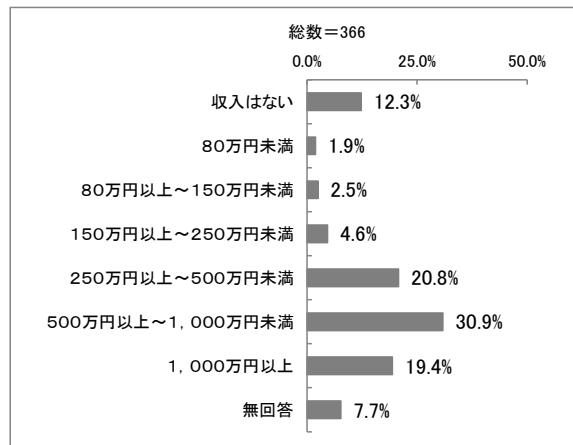
7) 収入・利用者負担について

(1) 世帯の年収額

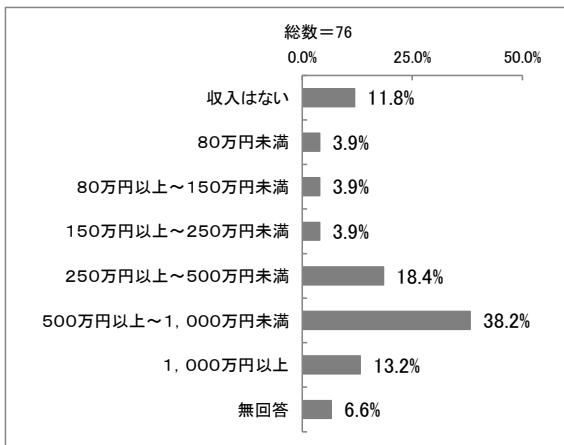
問 40 あなたの世帯の年収額をお聞きます。税金等を差し引く前の額でお答えください。

全体では、「500 万円以上～1,000 万円未満」が 30.9%と最も多く、「250 万円以上～500 万円未満」が 20.8%、「1,000 万円以上」が 19.4%となっています。

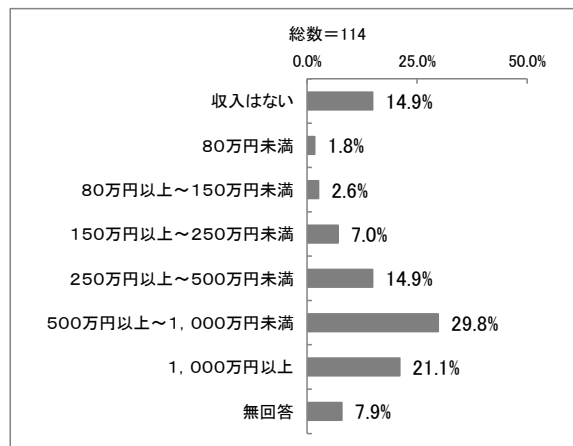
■全体



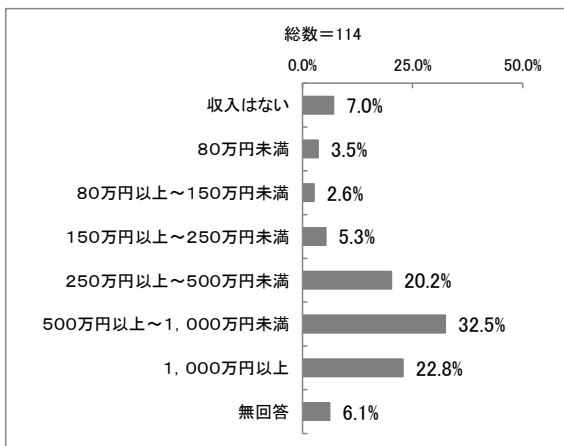
■身体障害



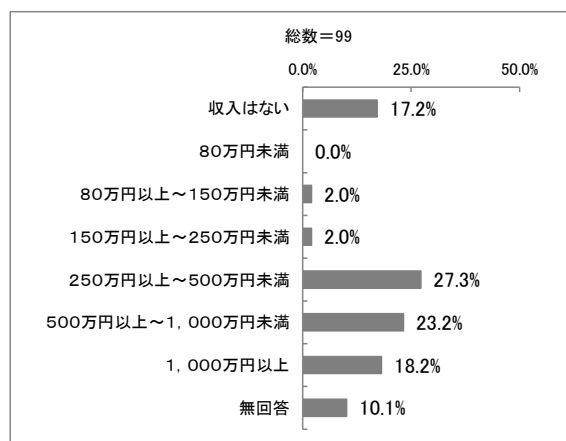
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



世帯の年収額と年齢

	収入はない	80万円未満	80万円以上～150万円未満	150万円以上～250万円未満	250万円以上～500万円未満	500万円以上～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
0～2歳	2 8.3%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%	3 12.5%	11 45.8%	5 20.8%	1 4.2%
3～5歳	13 12.7%	1 1.0%	2 2.0%	3 2.9%	22 21.6%	35 34.3%	19 18.6%	7 6.9%
6歳以上	29 12.3%	5 2.1%	7 3.0%	13 5.5%	50 21.3%	67 28.5%	45 19.1%	19 8.1%
無回答	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%

世帯の年収額と同居家族

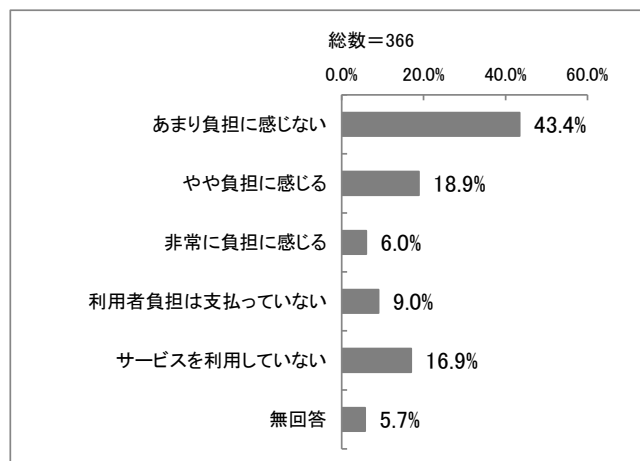
	収入はない	80万円未満	80万円以上～150万円未満	150万円以上～250万円未満	250万円以上～500万円未満	500万円以上～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
両親を含む家族	30 9.5%	4 1.3%	4 1.3%	14 4.4%	69 21.8%	107 33.8%	68 21.5%	21 6.6%
母親のみ	13 34.2%	3 7.9%	5 13.2%	3 7.9%	7 18.4%	3 7.9%	0 0.0%	4 10.5%
父親のみ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
その他親族	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%

(2) 利用者負担の負担感

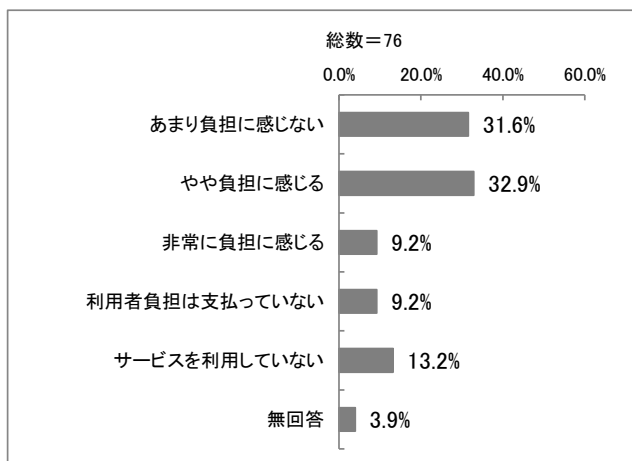
問 41 あなたは、利用者負担（自己負担）をどのように感じていますか。

全体では、「あまり負担に感じない」が43.4%と最も多く、次いで「やや負担に感じる」が18.9%となっています。

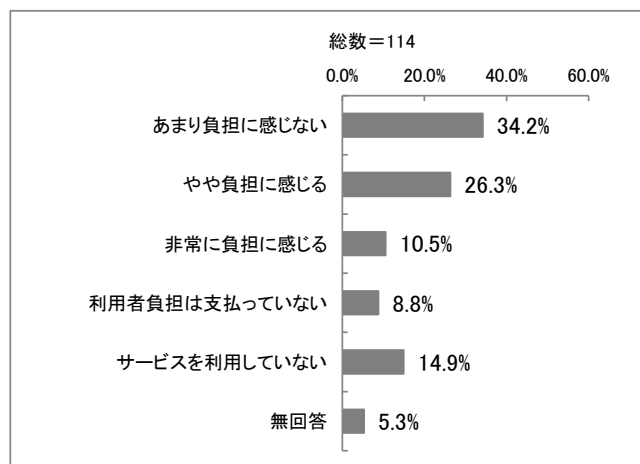
■全体



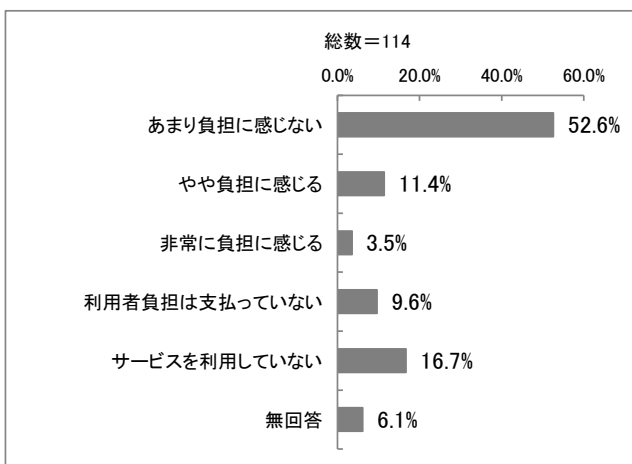
■身体障害



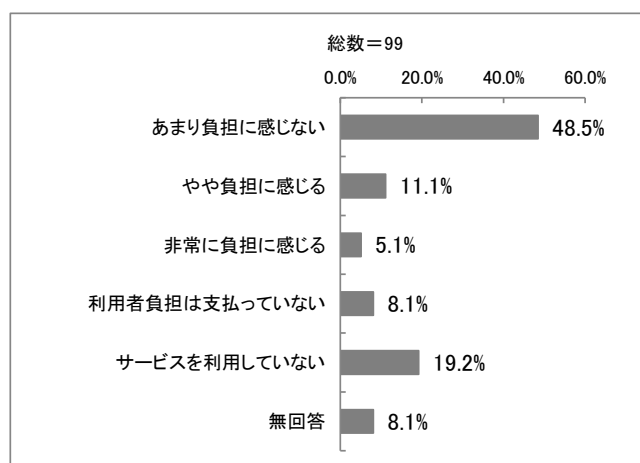
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



利用者負担の負担感と年齢

	非常に負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	利用者負担は支払っていない	サービスを利用していない	無回答
0～2歳	1 4.2%	7 29.2%	12 50.0%	0 0.0%	2 8.3%	2 8.3%
3～5歳	5 4.9%	12 11.8%	67 65.7%	8 7.8%	7 6.9%	3 2.9%
6歳以上	15 6.4%	50 21.3%	78 33.2%	25 10.6%	52 22.1%	15 6.4%
無回答	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%

利用者負担の負担感同居家族

	非常に負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	利用者負担は支払っていない	サービスを利用していない	無回答
両親を含む家族	17 4.6%	61 16.7%	148 40.4%	19 5.2%	55 15.0%	17 4.6%
母親のみ	3 7.9%	6 15.8%	8 21.1%	13 34.2%	6 15.8%	2 5.3%
父親のみ	0 0.0%	2 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%
その他親族	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%

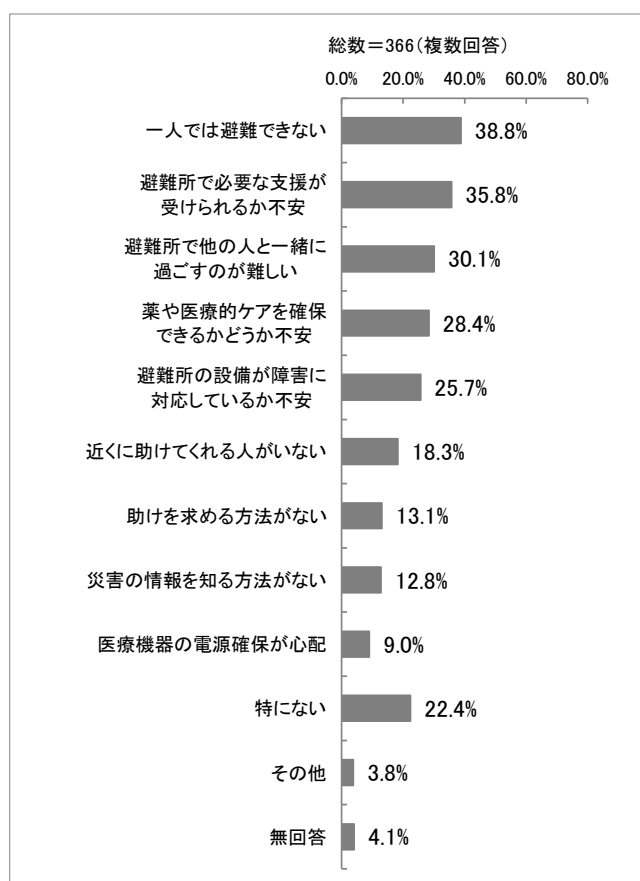
8) 災害対策について

(1) 災害時に困ること

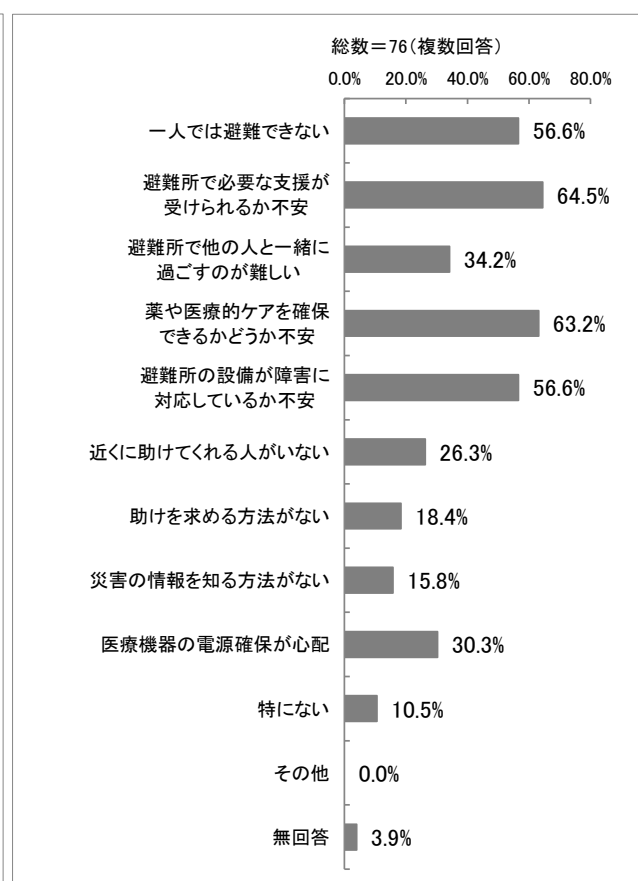
問 42 あなたやご家族の方が、地震などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。

全体では、「一人では避難できない」が38.8%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が35.8%、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が30.1%となっています。「特にない」と回答した方の割合は、22.4%となっています。障害別に見ると、身体障害では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が多くなっています。

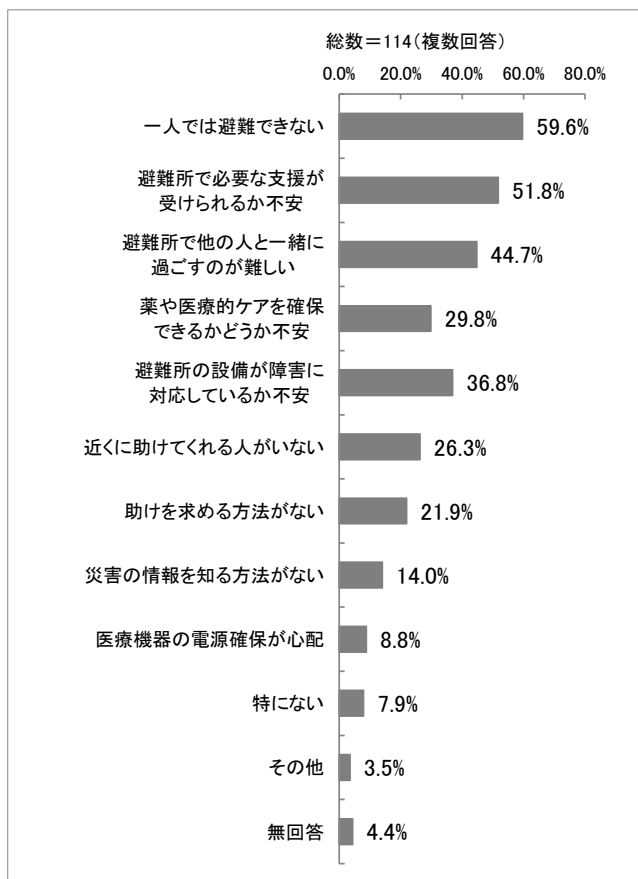
■全体



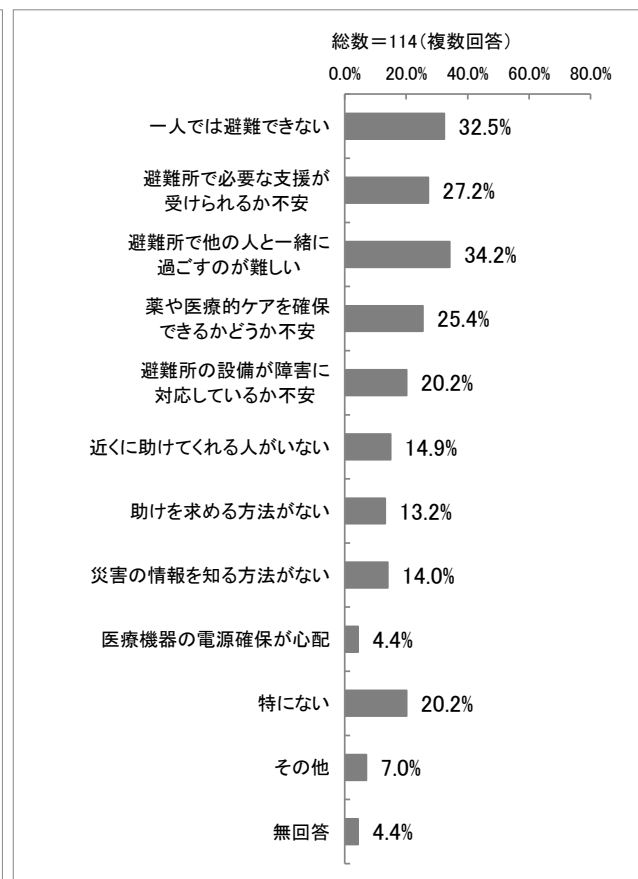
■身体障害



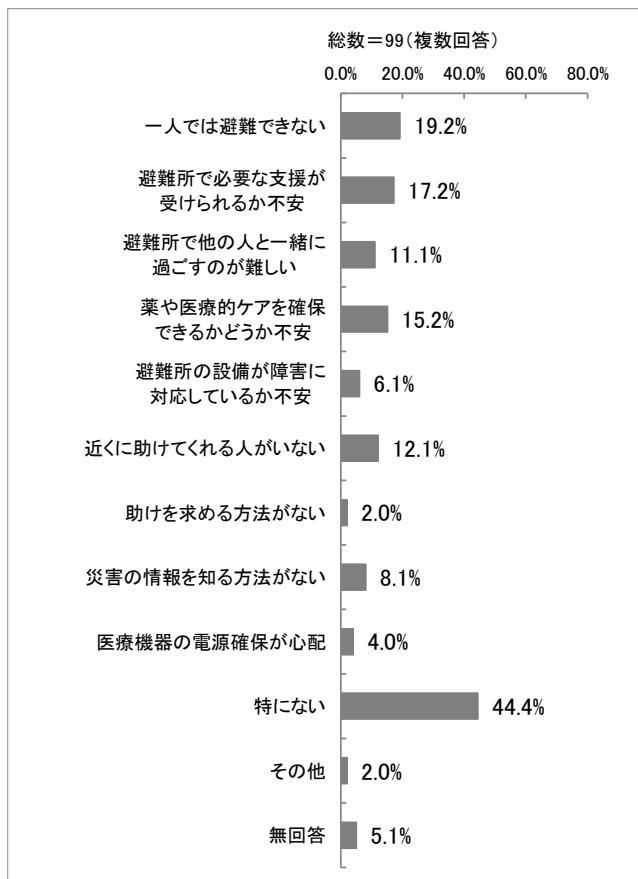
■知的障害



■発達障害



■その他の児童

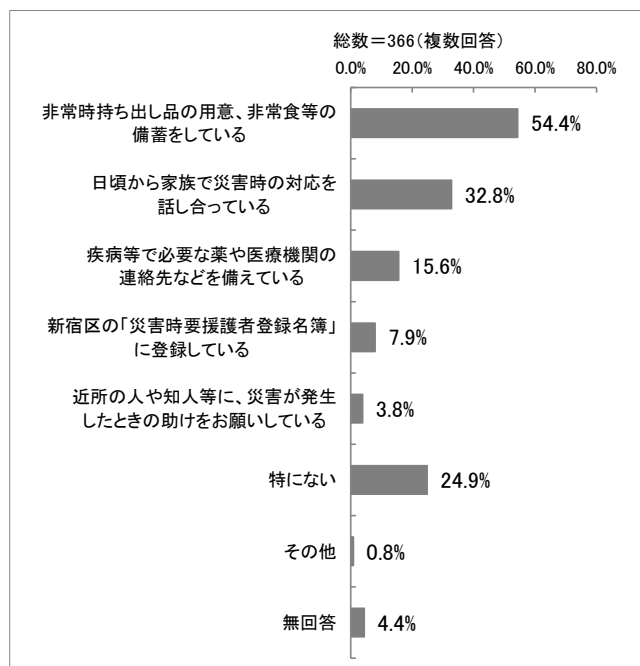


(2) 災害に対する備え

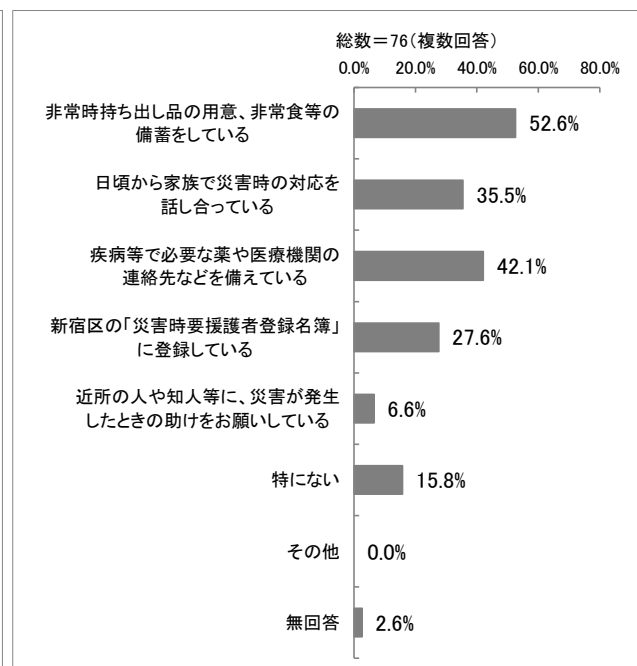
問 43 あなたやご家族の方は、災害に対してどのような備えをしていますか。

全体では、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が 54.4%と最も多く、次いで「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が 32.8%、「疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先等を備えている」が 15.6%となっています。

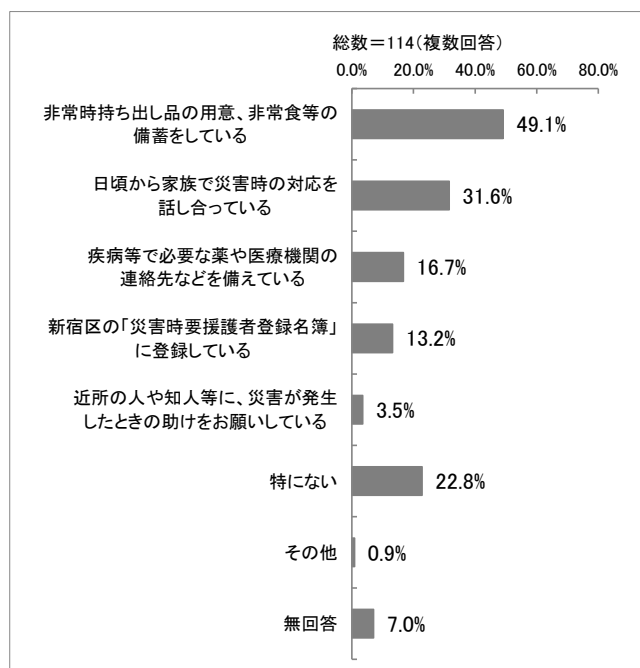
■全体



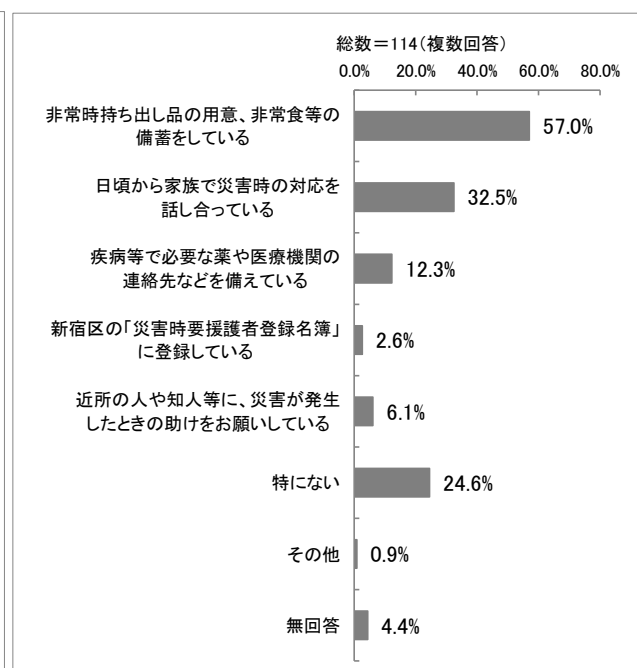
■身体障害



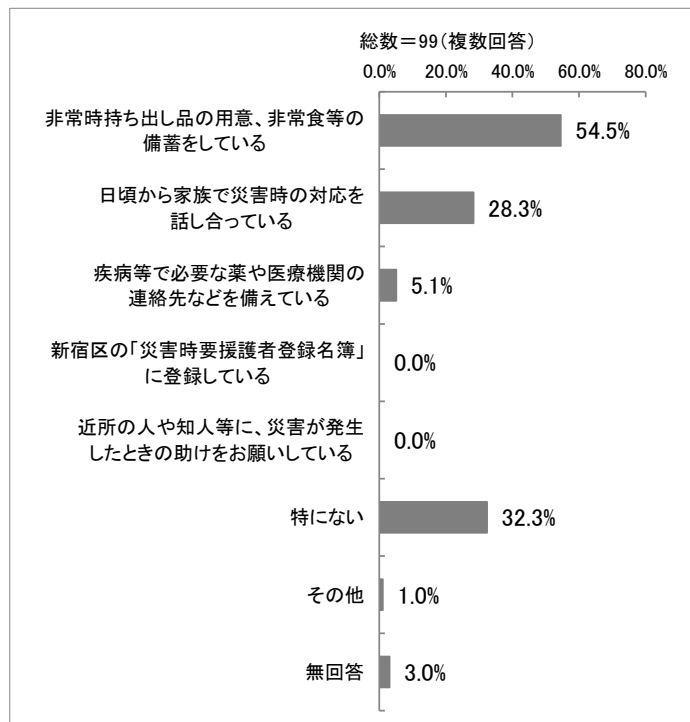
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



9) 将来について

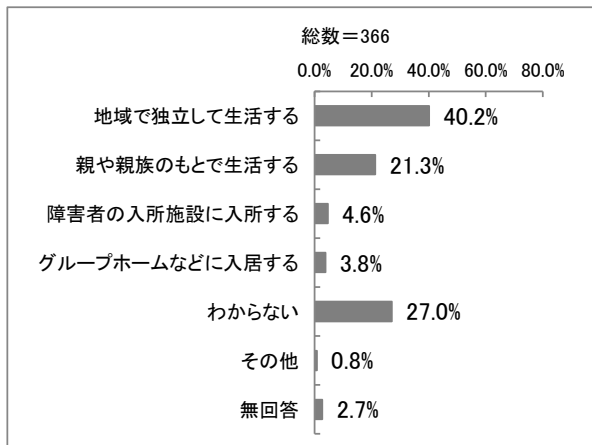
(1) 将来の生活の希望

問 44 あなたは将来、どのような生活を希望しますか。

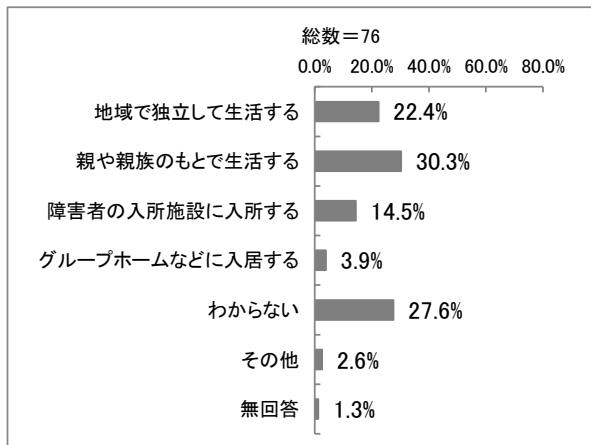
全体では、「地域で独立して生活する」が 40.2%、「親や親族のもとで生活する」が 21.3%となっています。身体障害、知的障害では「親や親族のもとで生活する」が最も多くなっています。

(※グラフは、一部重複回答を含みます)

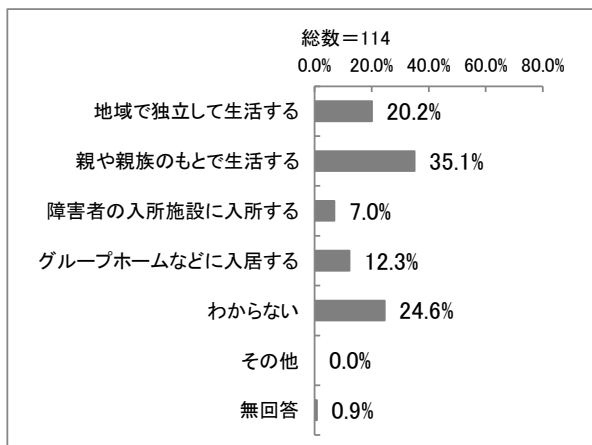
■全体



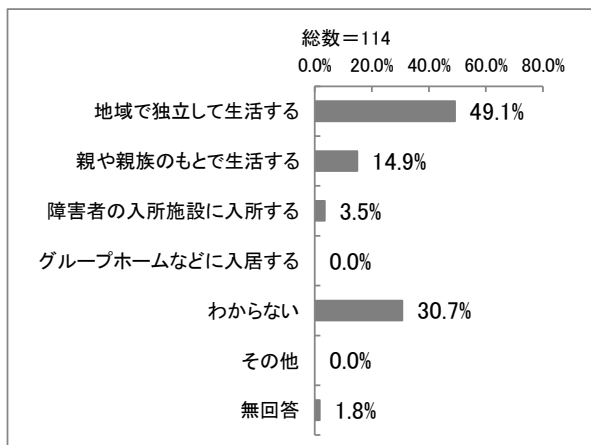
■身体障害



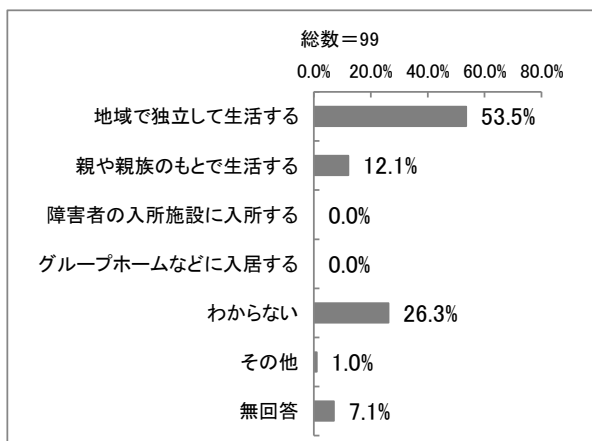
■知的障害



■発達障害



■その他の児童

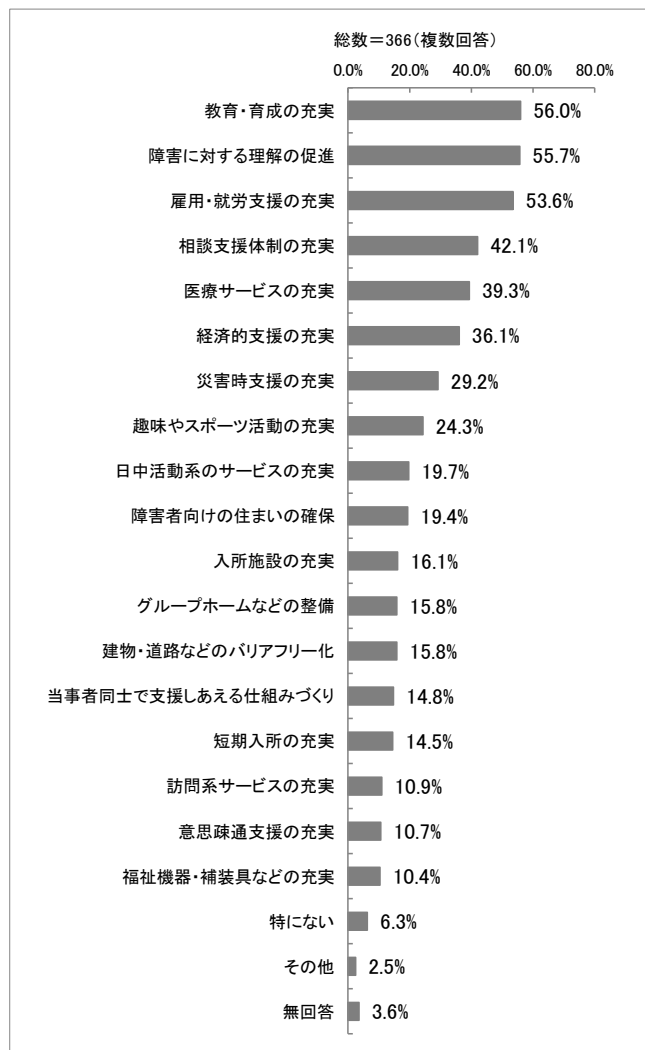


(2) 重要だと思う施策

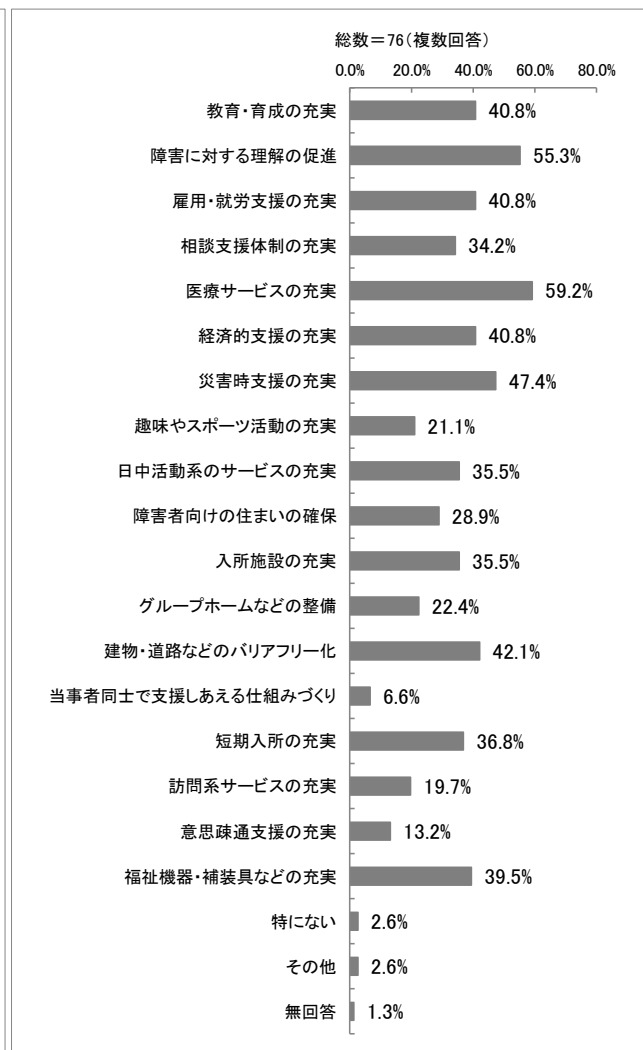
問 45 あなたが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。

全体では、「教育・育成の充実」が 56.0%、「障害に対する理解の促進」が 55.7%、「雇用・就労支援の充実」が 53.6%となっています。

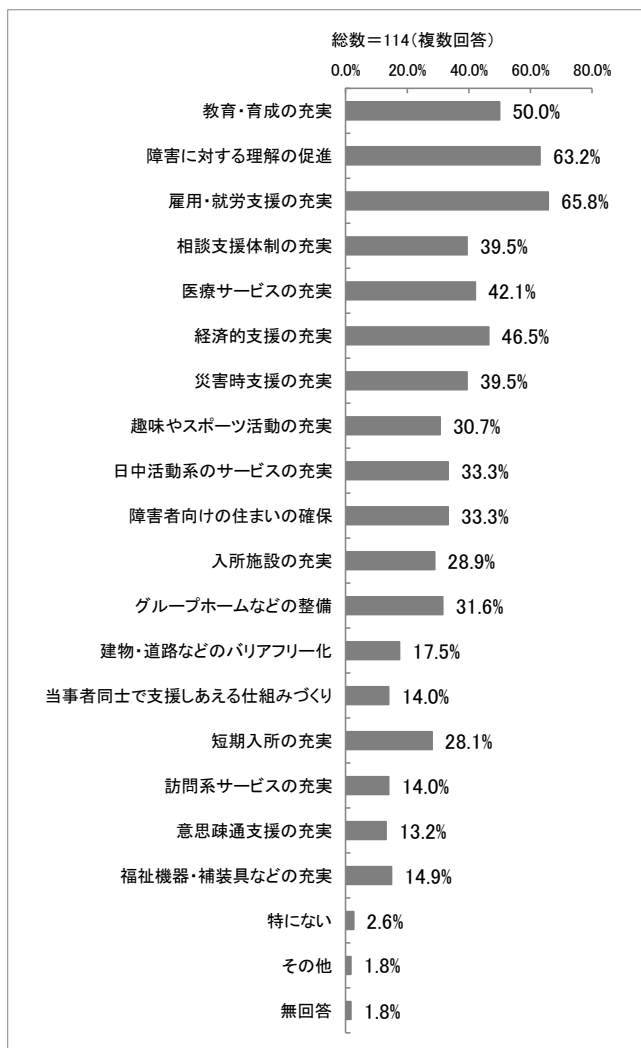
■全体



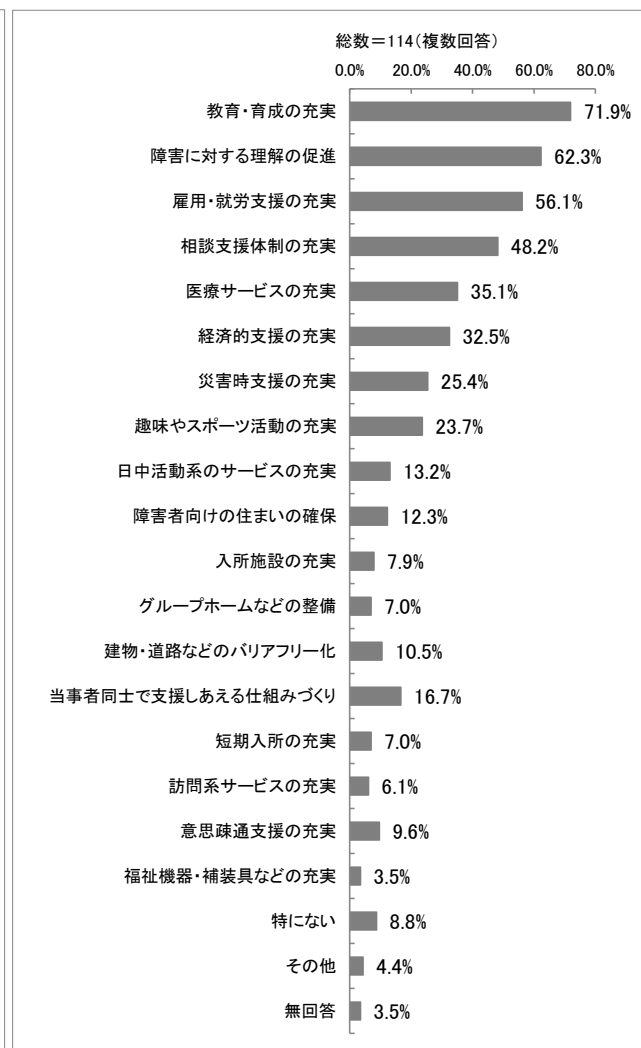
■身体障害



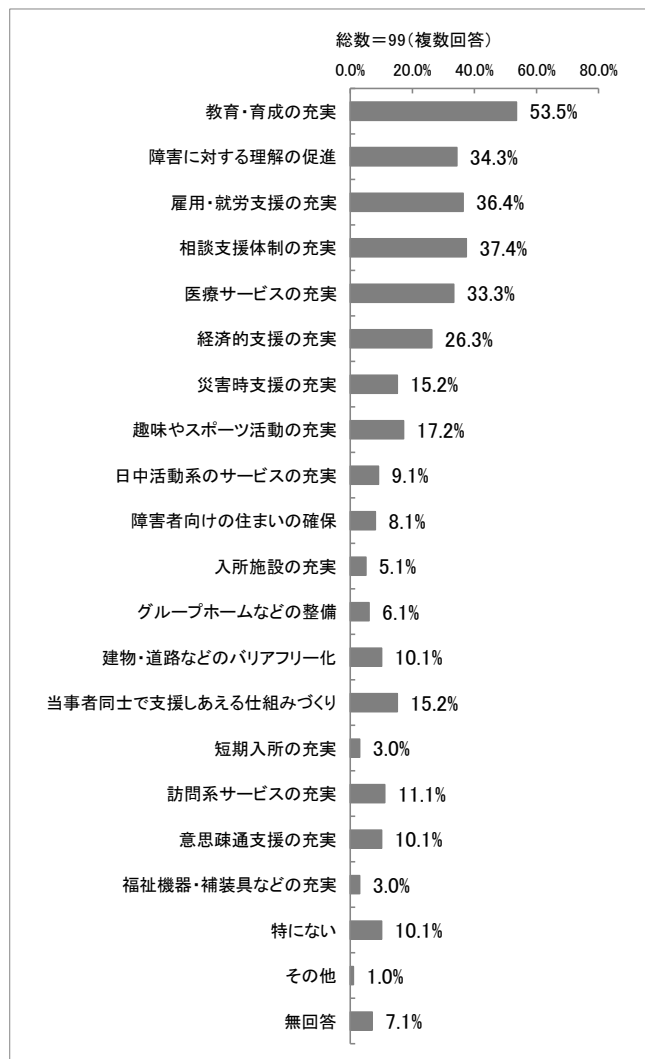
■知的障害



■発達障害



■その他の児童



10) 自由意見

問 46 区の障害児（者）施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

全体では、138 件の意見が寄せられています。「保育・療育・発達支援」についての意見が 25 件と最も多く、次いで「行政・制度」への意見が 24 件、「障害への理解」についての意見が 23 件となっています。

	全体	① 行政・ 制度	② 福祉サ ービス	③ 医療・ 健康	④ 保育・ 療育・ 発達支 援	⑤ 学校教 育・放 課後活 動	⑥ 将来や 学校の 進路	⑦ 障害へ の理解	⑧ 経済的 事情	⑨ 情報・ 相談	⑩ 生活環 境	⑪ アンケ ート
全体	138	24	20	4	25	11	7	23	5	12	5	10
	100%	17.4%	14.5%	2.9%	18.1%	8.0%	5.1%	16.7%	3.6%	8.7%	3.6%	7.2%

※複数の分野にまたがる回答については、それぞれの分野の集計数に含まれています。